
連続紙レーザープリンター

KEL CL65KM

取扱説明書 第7版



このマニュアルの取り扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品を使用する前に、このマニュアルを熟読してください。

特に、このマニュアルに記載されている『安全上の注意事項』を良く読み、理解された上で当製品を使用してください。また、このマニュアルは、当製品の使用中、いつでも参照できるように大切に保管してください。

兼松エレクトロニクス（株）は、製品の開発、提供にあたり、お客様の生命、身体や財産に被害をおよぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、マニュアルの説明にしたがってください。

ご使用条件

本装置で使用していますソフトウェアに関する著作権等は、兼松エレクトロニクス（株）またはその許諾者に帰属します。兼松エレクトロニクス（株）は、お客様の本ソフトウェアの使用に関し、本装置に関する非独占的使用権を許諾します。

お客様は、本ソフトウェアの全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等を行うことはできません。

兼松エレクトロニクス（株）は、本ソフトウェアがお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。

兼松エレクトロニクス（株）は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの利用、または使用不能に起因して生ずる逸失利益、データの喪失、業務の停止、その他の間接的な、特別な、偶発的な、また結果として発生したいかなる損害について、たとえそのような損害発生の可能性を知らされていたとしても、かかる損害を賠償する責任を負わないものとします。

はじめに

このたびは **KEL CL65KM** 連続紙レーザープリンター（以下、**KEL CL65KM** という）をご購入いただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書は、プリンターの取り付け方法や正しい操作方法などについて説明したものです。
ご使用いただく前に、必ず最後までお読みください。

警告表示について

このマニュアルではお客様の身体や財産に損害を与えないために以下の警告表示をしています。



「**▲警告**」は、正しく使用しない場合、死亡する、又は重傷を負うことがあり得ることを示しています。



「**▲注意**」は、正しく使用しない場合、軽傷、又は中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身又はその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

お願い

- 当製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売させていただいております。したがって、日本国外でのご使用はできません。万一ご使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当製品の分解・修理はお客様自身で行わないでください。そのような際は、必ず弊社保守員によるメンテナンスを受けてください。
- お客様が当製品に改造を加えたり、当製品の中古品を再生して使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当製品には弊社で指定したサプライ用品（消耗品）をご使用ください。指定以外のサプライ用品（消耗品）を使用した結果の影響につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

【ご注意】

- ・会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようにお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社担当保守員、技術員、営業までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、前項にかかわらず責任を負いかねます。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。

All Rights Reserved、 Copyright © 兼松エレクトロニクス株式会社

安全上の注意事項

警告事項一覧



正しく使用しない場合、重傷を負う危険性があることを示しています。

警告事項

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。
- 電源コードおよびインタフェースケーブルを傷つけたり、加工しないでください。
感電や火災のおそれがあります。
- 万一機器から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら、すぐにサーキットブレーカーを切断するか、電源コードを抜いてください。
感電や火災のおそれがあります。電源を切断（サーキットブレーカー切断、または電源コードをコンセントから抜く）した上で、担当保守員に連絡してください。
- 装置を分解したり、改造したりしないでください。
感電や火災のおそれがあります。また、内部に高電圧部分があります。
- 電源コードを抜くときはプラグ部分をもってコンセントから抜いてください。
プラグが傷んで感電や火災のおそれがあります。
- 電源プラグは電源コンセントに確実に奥まで差し込んでください。
火災のおそれがあります。
- コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。
感電や火災のおそれがあります。
- 直射日光の当たる所や暖房器の近く、湿気、ホコリの多い所には置かないでください。
感電や火災のおそれがあります。
- 装置内部が高温になるため、通気孔をふさがないでください。
火災のおそれがあります。
- 装置の高圧部には電源切断後も手を触れないでください。
感電のおそれがあります。
- ネジで止められているカバー類を外さないでください。
感電、火傷やケガのおそれがあります。



正しく使用しない場合、傷害を負う危険性があることと当製品や接続された機器が破壊されたり、データなどのソフトウェア資産やその他財産が破壊されたりする危険性があることを示しています。

注意事項

- トナー・現像剤を目や口に入れしないでください。
交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目や口に入れしないでください。トナー・現像剤をこぼした時などにこの粉塵を長い間、多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼす場合がありますので、ご注意ください。またこのようなときには、速やかに医師に相談してください。

- 使用済みのトナー・現像剤は絶対に火の中に入れてください。
異臭が発生します。廃却時は不燃物として処理いただくか、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 装置の電源を切断後でも、温度が下がるまで高温部には触れないようにしてください。
火傷のおそれがあります。
- 動作中にカバーを開けて、手、足や顔を入れないでください。
ケガ（指挟みなど）のおそれがあります。
- 消耗品の交換や用紙の補給時は、必ず手順を守って作業を行ってください。
ケガのおそれがあります。
- 用紙づまり発生時には、必ず操作手順を守って用紙を取り除いてください。
ケガのおそれがあります。
- 光源部を直接見ないでください。
目を傷めるおそれがあります。
- 装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に設置してください。
転倒、落下のおそれがあります。
- 歯車などの可動部に衣類やネクタイ、髪などを巻き込まれないようにしてください。
巻き込みやケガのおそれがあります。
- 装置の設置環境に関しては、取扱説明書に従ってください。
身体に影響する場合があります。

目次

安全な使用のために

はじめに

安全上の注意事項

目次

第1章 設置・使用上の注意

1. 1	設置を始める前に	1-2
1. 1. 1	電源条件	1-2
1. 1. 2	環境条件	1-2
1. 2	設置についての注意	1-2
1. 3	使用上の注意	1-3
1. 4	消耗品の取り扱い上の注意	1-4
1. 5	設置スペース	1-4

第2章 各部説明

2. 1	各部の名称	2-2
2. 2	サーキットブレーカー	2-3
2. 3	メインスイッチ	2-3
2. 4	操作パネルの機能	2-4
2. 4. 1	液晶カラータッチパネル	2-4
2. 4. 2	固定スイッチおよびランプ	2-4
2. 4. 3	サイドパネルスイッチ	2-5

第3章 操作手順

3. 1	電源オン・オフ	3-2
3. 1. 1	オン	3-2
3. 1. 2	オフ	3-4
3. 2	用紙のセット	3-5
3. 3	スタッカ使用上の注意	3-10
3. 4	スイングガイドの取り付け、取り外し	3-11
3. 4. 1	スイングガイドの取り付け	3-11
3. 4. 2	スイングガイドの取り外し	3-12
3. 5	印刷の開始・中断	3-13
3. 5. 1	印刷の開始	3-13
3. 5. 2	印刷の停止（中断）と再開	3-13
3. 5. 3	印刷の取消	3-13
3. 5. 4	用紙なしのときの操作	3-14
3. 6	動作モード	3-15
3. 6. 1	通常モード	3-15
3. 6. 2	選択モード	3-15
3. 7	スイングガイド	3-16
3. 8	TOF調整	3-16
3. 9	用紙設定	3-16
3. 10	パターン選択	3-17

3. 1 1	I P 設定と接続状態	3-18
3. 1 1. 1	I P アドレスの設定	3-18
3. 1 1. 2	接続状態 (I B M 接続オプション追加時)	3-20
3. 1 1. 3	P I N G	3-22
3. 1 2	テスト印刷	3-23
3. 1 3	消耗品状態	3-24
3. 1 3. 1	消耗品状態の詳細	3-25
3. 1 4	定期交換部品	3-26
3. 1 4. 1	定期交換部品の詳細	3-26
3. 1 5	エラー時の処置	3-28
3. 1 5. 1	回復可能なエラー	3-28
3. 1 5. 2	回復不可能なエラー	3-29
3. 1 6	通信関係のアラームとエラー	3-30
3. 1 6. 1	ポストスクリプト関係	3-30
3. 1 6. 2	5 2 5 0 エミュレーション関係 (I B M 接続オプション追加時)	3-30
3. 1 6. 3	T N 3 2 7 0 E 関係 (I B M 接続オプション追加時)	3-31
3. 1 7	紙づまりの処置	3-33
3. 1 7. 1	紙づまり (基本)	3-33
3. 1 7. 2	紙づまり (各部)	3-34
3. 1 8	画像障害	3-38
3. 1 9	清掃	3-41
3. 1 9. 1	トラクタユニットの清掃	3-41
3. 1 9. 2	定着ガラスの清掃	3-42
3. 1 9. 3	チャージャの清掃	3-42
3. 1 9. 4	A I D C センサの清掃	3-43

第 4 章 消耗品交換

4. 1	トナーボトルの交換	4-2
4. 2	廃棄トナーボトルの交換	4-4

第 5 章 W e b 設定

5. 1	初期画面	5-2
5. 2	印刷状況	5-3
5. 3	接続状況	5-3
5. 4	消耗品	5-4
5. 5	定期交換部品	5-5
5. 6	管理者	5-5
5. 7	共通/エミュレーション項目	5-6
5. 8	共通項目	5-7
5. 9	T N 5 2 5 0 E S e s s i o n (I B M 接続オプション追加時)	5-11
5. 1 0	T N 3 2 7 0 E S e s s i o n (I B M 接続オプション追加時)	5-13
5. 1 1	L P R 5 2 5 0 (I B M 接続オプション追加時)	5-17
5. 1 2	ネットワーク項目	5-18
5. 1 3	パスワード変更	5-19
5. 1 4	外字管理	5-20
5. 1 5	印刷管理	5-20
5. 1 6	保守項目	5-21
5. 1 7	電源管理	5-23

5. 1 8	オプション項目	5-24
5. 1 9	印刷ログ	5-25
5. 2 0	接続ログ	5-25
5. 2 1	イベントログ	5-25

第6章 TCP/IP接続

6. 1	TCP/IP接続の説明	6-2
6. 1. 1	TCP/IPの設定および確認	6-2
6. 2	Windowsからの印刷	6-3
6. 2. 1	Windowsの設定(プリンターサーバー)	6-3
6. 2. 2	Windowsの設定(スタンドアロン)	6-9
6. 2. 3	Windowsの設定(クライアント)	6-13
6. 2. 4	プリンタードライバの削除	6-15
6. 3	IBM iからのLPR接続印刷(IBM接続オプション追加時)	6-19
6. 3. 1	出力待ち行列作成	6-19
6. 3. 2	プリンターの起動	6-20
6. 3. 3	接続テスト	6-20
6. 4	IBM iからのTN5250E接続印刷(IBM接続オプション追加時)	6-21
6. 4. 1	IBM iの確認	6-21
6. 4. 2	プリンターの設定	6-22
6. 4. 3	接続	6-22
6. 5	IBM iからの外字印刷(IBM接続オプション追加時)	6-23
6. 5. 1	LODP PWコマンドを使用して外字を登録する方法	6-23
6. 5. 2	Windowsの外字エディタで外字を作成し登録する方法	6-25
6. 6	TN3270E接続の印刷(IBM接続オプション追加時)	6-28
6. 6. 1	SNAマネージャの設定	6-28
6. 6. 2	TN3270E接続の外字印刷	6-34
6. 7	SNMPの設定	6-37
6. 8	Keep-Alive機能の設定(IBM接続オプション追加時)	6-37

第7章 装置仕様

7. 1	装置仕様	7-2
7. 2	印刷保証範囲	7-3
7. 3	印字精度	7-3
7. 4	外形寸法・重量	7-3
7. 5	環境条件	7-4
7. 6	電源条件	7-4
7. 7	寿命	7-4
7. 8	外形寸法図	7-5

第8章 媒体・消耗品仕様

8. 1	用紙	8-2
8. 1. 1	用紙品質	8-2
8. 1. 2	用紙物性	8-2
8. 1. 3	用紙の保管	8-8
8. 1. 4	梱包	8-9
8. 2	消耗品・定期交換品	8-10

第9章 拡張コマンド（IBM接続オプション追加時）

9. 1	拡張コマンドの概要	9-2
9. 2	文字スケールの設定・解除	9-3
9. 3	バーコード印字の初期設定	9-4
9. 4	バーコード印字の設定	9-6
9. 5	OCR-Bフォントの設定・解除	9-9
9. 6	文字テーブル設定	9-9
9. 7	カスタマーバーコード（郵便バーコード）印字の設定	9-9
9. 8	QRコード印字の初期設定	9-10
9. 9	QRコード印字の設定	9-11
9. 10	CVSバーコード印刷	9-12

付録A LPRポート追加

A-1	Windows XP、Server 2003	A-1
A-2	Windows 7、VISTA	A-6
A-3	Windows Server 2008 R2	A-10

このページは、白紙となっています。

第1章

設置・使用上の注意

KEL CL65KM

1. 1	設置を始める前に.....	1-2
1. 1. 1	電源条件	1-2
1. 1. 2	環境条件	1-2
1. 2	設置についての注意	1-2
1. 3	使用上の注意	1-3
1. 4	消耗品の取り扱い上の注意	1-4
1. 5	設置スペース	1-4

第1章 設置・使用上の注意

1. 1 設置を始める前に

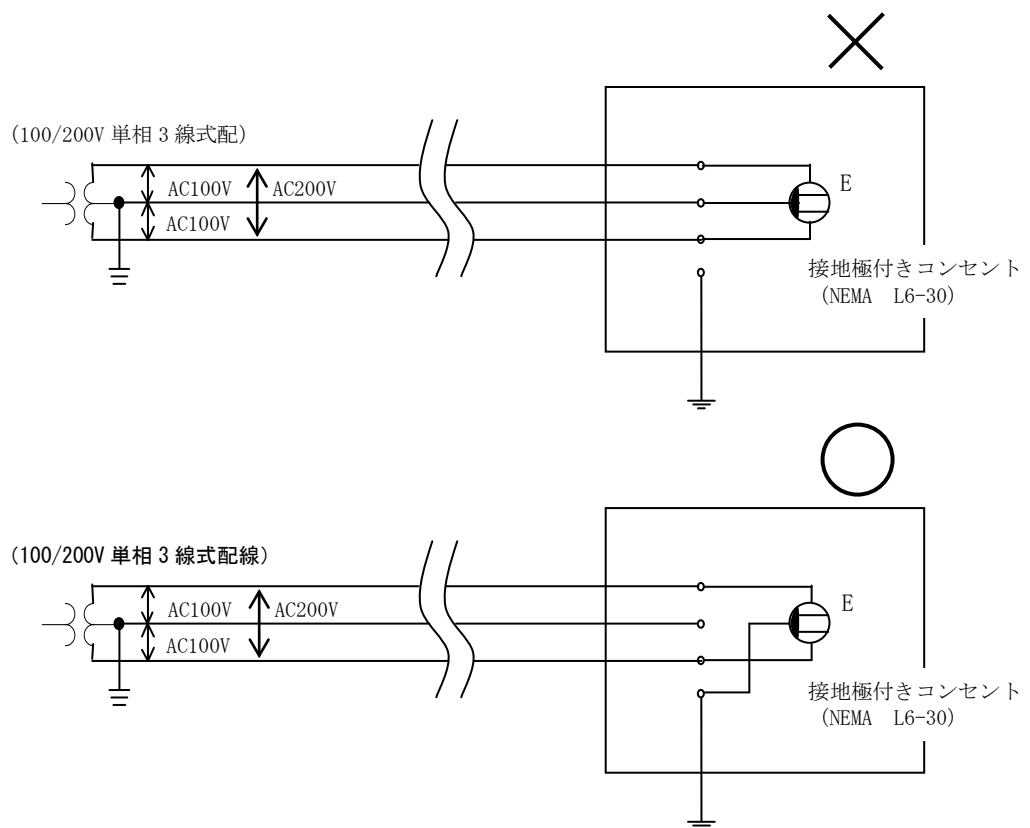
設置作業に入る前に設置場所が以下の環境を満たしていることを確認してください。

1. 1. 1 電源条件

- a. 電源電圧 200-240V ±10% 50/60Hz 単相
- b. 電源容量 4.8kVA
- c. 電源コンセント 250V 30A

以下の型番相当のものが使用可能です。(NEMA L6-30 準拠)

- ・ 埋め込み型 型番 3320-L6 アメリカン電機製
- ・ 露出型 型番 3321-L6 アメリカン電機製
(CL65KM側のプラグは、型番 3322N-L6 を使用)
- ・ 接地極は、建物の保安用接地に接続してください。



1. 1. 2 環境条件

- a. 温度 15°C~25°C 温度変化率 10°C/h
- b. 湿度 35%~70% 湿度変化率 20%/h

1. 2 設置についての注意

次のような場所は、安全上好ましくありません。故障の原因となりますので、避けて設置してください。

<設置環境>

- ・ 高温、高湿、低温、低湿の場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ クーラー、暖房器、換気口などの風が直接当たる場所
- ・ 機械の排気が直接身体に当たる場所

- ・換気の悪い場所
- ・アンモニアガスが発生する場所
- ・床が丈夫でなく、水平でない場所
- ・温・湿度が急激に変化する場所
冷え切った部屋を急激に暖めた場合、機械内部に水滴が付着し、部分的に写らなくなることがある。
- ・石油ストーブなどの発熱器具に近い場所
- ・水などが飛び散り、漏電を起こす可能性のある場所
- ・ほこりや振動の多い場所

<設置電源>

- ・同じ電源コンセントで他の電気製品を使用する場合は、電源容量を越さないように注意する。
- ・電圧変動の少ない場所で本装置を使用する。
- ・テーブルタップや分岐ソケット等を使用してタコ足配線は絶対にしない。
- ・時々次の項目を確認する。
 - a) 電源プラグが異常に熱くなっていないか。
 - b) 電源コードに亀裂、すり傷がないか。
 - c) 電源プラグが電源コンセントに確実に入っているか。
 - d) 電源コードに圧力がかかっていないか。
- ・機械が他の電気製品等の電源コードおよび通信ケーブルを踏んだり、挟んだりしないように注意する。

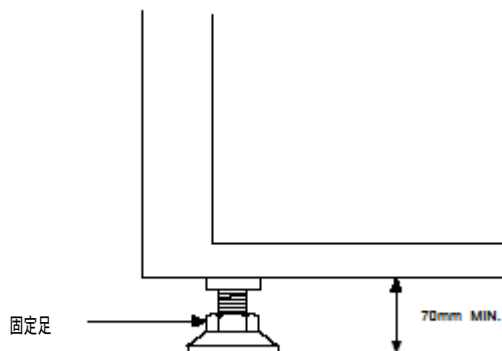
<アースの取り付け>

- ・万一漏電した場合の感電防止、および装置の静電誘導や電磁誘導対策として必ずアースを取り付ける。
- ・ガス管、電話線用アース、水道管には絶対に取り付けない。

1. 3 使用上の注意

KEL CL65KM を良好な状態で使用するために、次の点に注意してください。

- a. 印刷中に各種ドアを開けたり、メインスイッチをOFFにしたりしない。
- b. 磁石や燃えやすいガスまたは液体を装置に近づけない。
- c. 電源プラグはしっかり差し込んでください。
- d. 電源プラグを差し込んだコンセントが、装置の陰に隠れてしまわないようにしてください。
- e. 連続して多量の印刷をする場合には、部屋の換気を行ってください。
- f. 機械固定足のレベル調整は、床から底板（機械）の高さを70mmにする。



固定足の調整

【注意】使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、多量に印刷する場合には臭

第1章 設置・使用上の注意

気が気になることがありますので、快適な環境を保つために部屋の換気をする
ことをお勧めします。

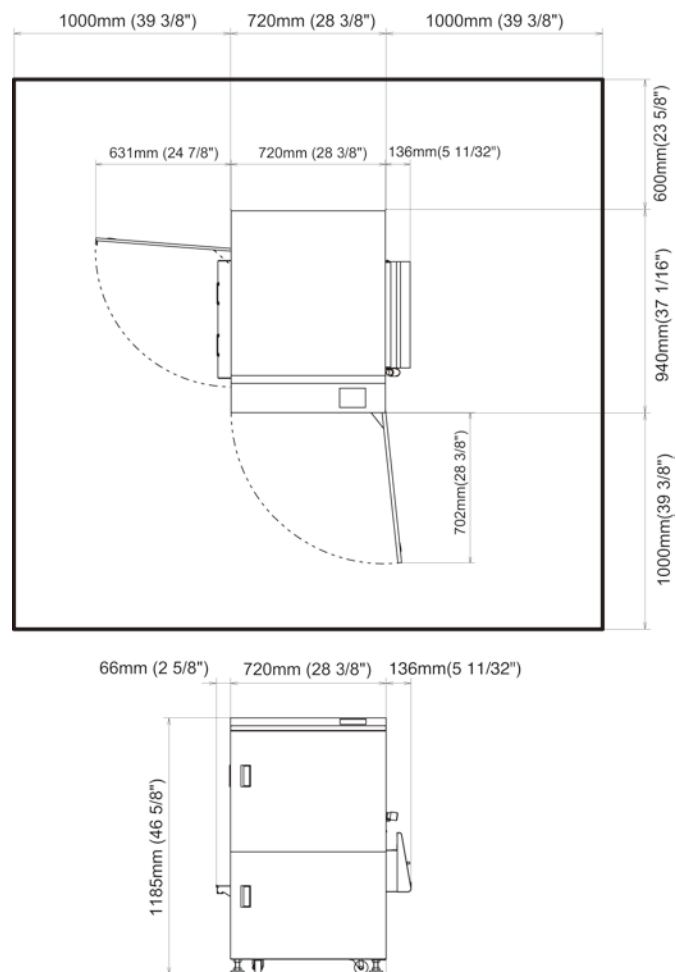
1. 4 消耗品の取り扱い上の注意

消耗品（トナー、用紙）の取り扱いには以下の点に注意してください。

- a. 消耗品を以下のような場所に保管しないでください。
 - ・ 直射日光のあたるところ
 - ・ 火気のある暑いところ
 - ・ 湿気の多いところ
 - ・ 埃の多いところ
- b. トナーは、専用のトナーを使用してください。他のトナーは絶対に使用しないでください。
- c. トナーが手に付着した場合は、セッケンなどを使用し水で洗い落としてください。

1. 5 設置スペース

装置の読み取り操作、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。



第 2 章

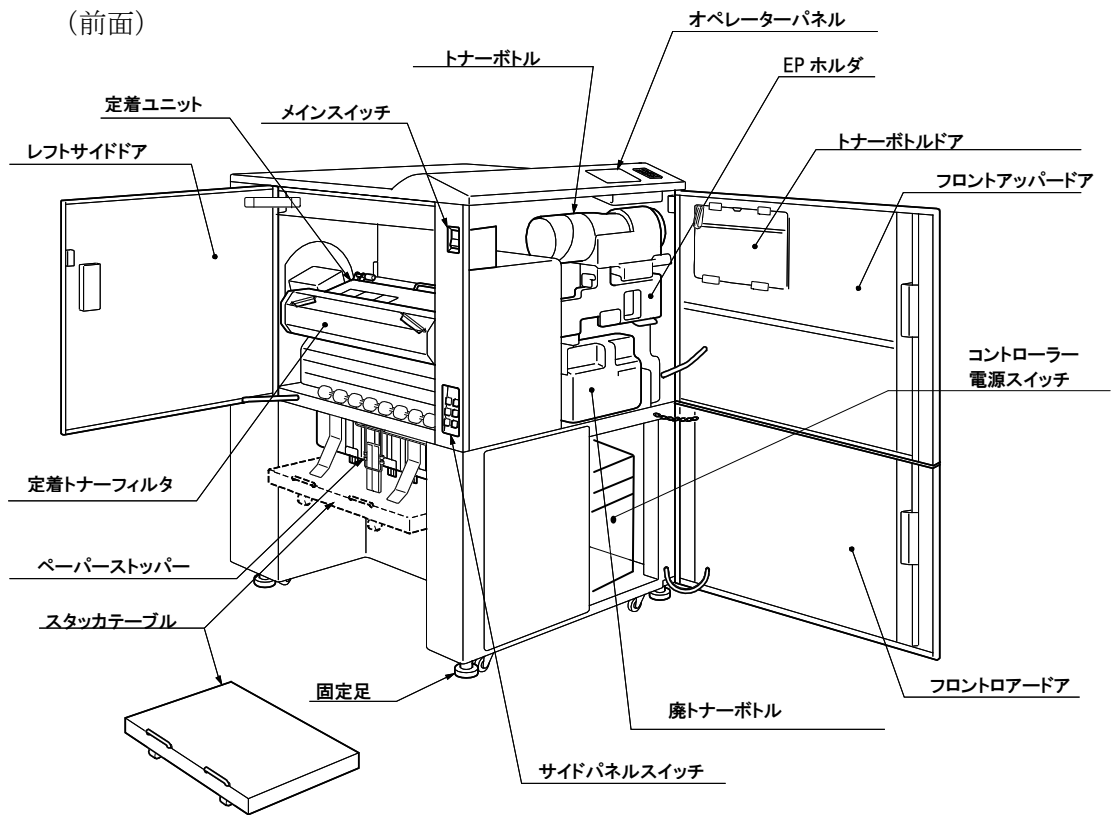
各 部 説 明

KEL CL65KM

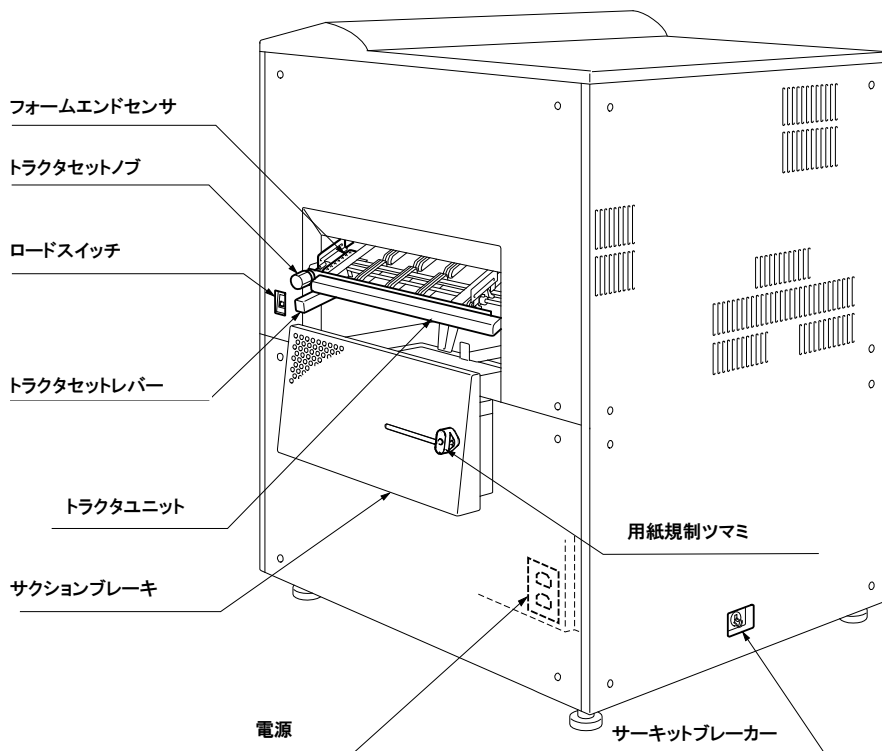
2. 1	各部の名称.....	2-2
2. 2	サーキットブレーカー.....	2-3
2. 3	メインスイッチ.....	2-3
2. 4	操作パネルの機能.....	2-4
2. 4. 1	液晶カラータッチパネル.....	2-4
2. 4. 2	固定スイッチおよびランプ.....	2-4
2. 4. 3	サイドパネルスイッチ.....	2-5

2. 1 各部の名称

以下に各部の名称を図で簡単に示します。



(背面)



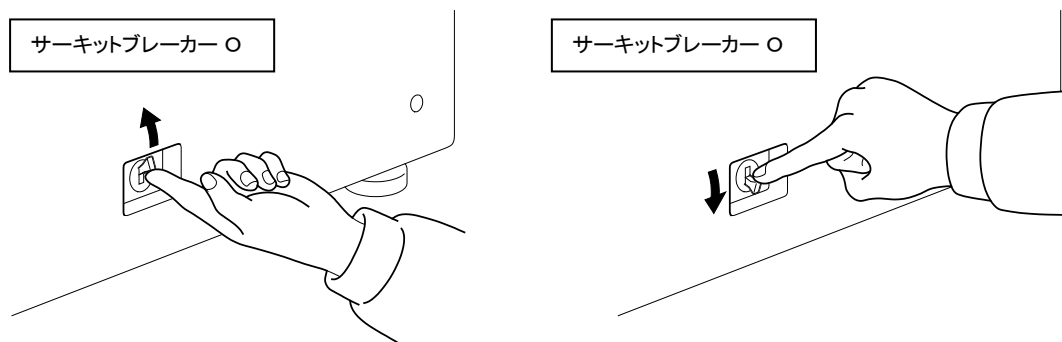
2. 2 サークットブレーカー

本装置にAC200Vの電源を供給するサーキットブレーカーです。このスイッチは常にON状態のままにしています。

通常の電源ON/OFFはメインスイッチで行います。

【注意】 装置の移動時や、長期間（1～2週間以上）使用しない時はサーキットブレーカーをOFFにしてください。

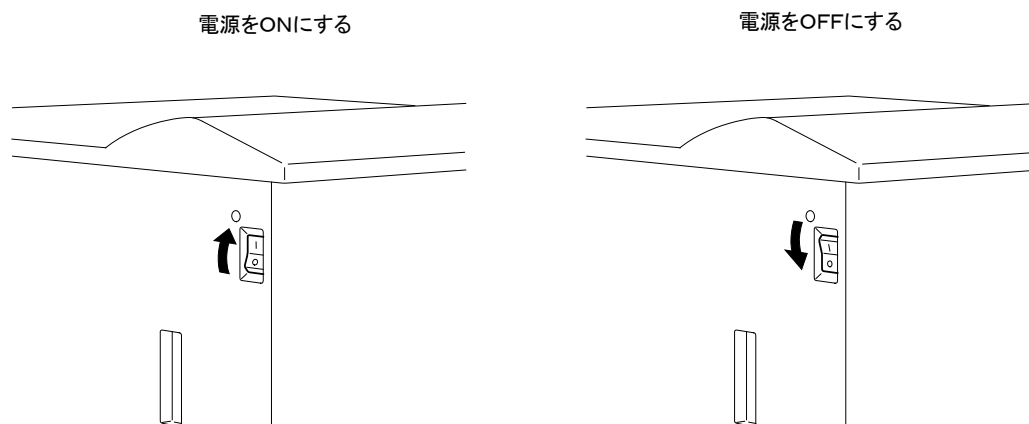
サーキットブレーカーをOFFにする時は、事前にコントローラーの電源を落としてください。トラブルの原因となります。



2. 3 メインスイッチ

KEL CL65KMの電源をON/OFFするためのスイッチです。このスイッチを「|」側にすると電源が入り、操作パネル上の「POWER」ランプが点灯します。

【注意】 印刷中は電源を切らないでください。トラブルの原因となります。

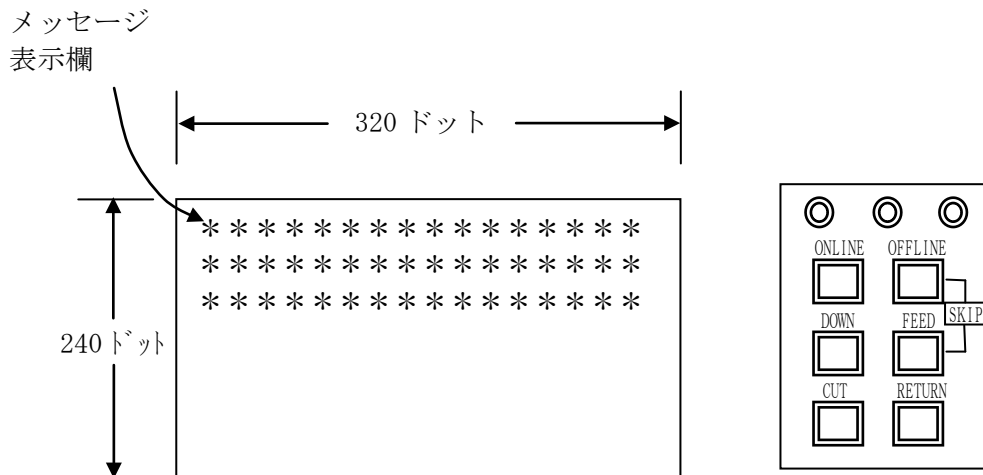


2. 4 操作部の機能

印刷に必要な操作は、操作部で行います。操作部には、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、およびディスプレイが取り付けられています。ディスプレイには、プリンターの状態やエラーが発生した時のメッセージなどを表示します。

スイッチは機能が固定しているスイッチ、およびタッチパネルにて固定化せずに、各動作モードによって表示するスイッチがあります。

ここでは、操作部の機能を説明します。



2. 4. 1 液晶カラータッチパネル

プリンターの状態やエラーが発生した時のメッセージなどが表示されます。このときパネルに有効なスイッチが表示されます

2. 4. 2 固定スイッチおよびランプ

- (1) 「ONLINE」スイッチ : 印刷を開始します。
- (2) 「OFFLINE」スイッチ : 印刷を停止します。
- (3) 「DOWN」スイッチ : スイッチを押している間、スタッカテーブルが降下します。
- (4) 「FEED」スイッチ : 用紙を1ページ分送ります。

【注意】 ページ途中で停止している場合、その位置から1ページ分送ります。そのためページ位置を合わせ直す必要が生じます。

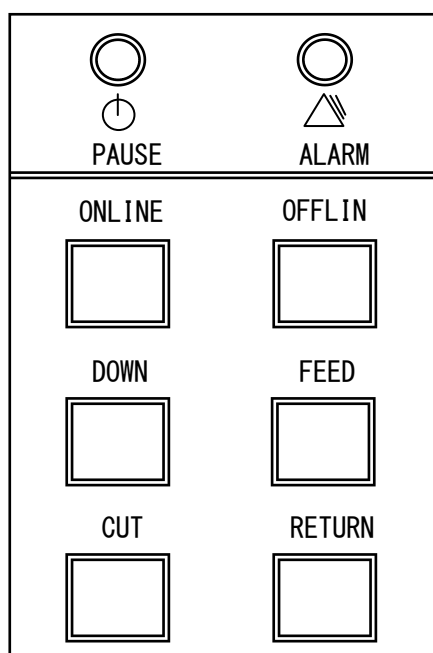
- (5) 「CUT」スイッチ : 用紙をカットします。
- (6) 「RETURN」スイッチ : 用紙を一度退避し、再び印刷開始位置まで送ります。(2秒以上押します。)
- (7) 「SKIP」スイッチ : 1/6インチ用紙送り。
(OFFLINEスイッチ+FEEDスイッチを押す。)
- (8) 「SLEW」スイッチ : 用紙送り。
(OFFLINEスイッチ+FEEDスイッチを2秒以上押している間)

- (9) 「POWER」ランプ (緑) : 電源が入っている間点灯します。
- (10) 「PAUSE」ランプ (黄) : オフライン状態にあるとき点灯します。
- (11) 「ALARM」ランプ (赤) : 異常が検出されたとき点灯します。

2.4.3 サイドパネルスイッチ

スタッカテーブル操作のため、サイドパネルスイッチがあります。

正面の操作部スイッチおよびランプと同等の機能です。



スイッチ

- ONLINE** : 印刷を再開します。
- OFFLINE** : 印刷を停止します。
- DOWN** : 押している間、スタッカテーブルが下降します。
- FEED** : 用紙を1ページ分送ります。
- CUT** : 用紙をカットします。
- RETURN** : 用紙を一度退避し、再び印刷開始位置まで送ります。
(2秒以上押します。)

ランプ

- PAUSE (黄)** : オフラインの間点灯します。
- ALARM (赤)** : 異常が検出されたとき点灯します。

このページは、白紙となっています。

第 3 章

操 作 手 順

KEL CL65KM

3. 1	電源オン・オフ	3-2
3. 1. 1	オン	3-2
3. 1. 2	オフ	3-4
3. 2	用紙のセット	3-5
3. 3	スタッカ使用上の注意	3-10
3. 4	スイングガイドの取り付け、取り外し	3-11
3. 4. 1	スイングガイドの取り付け	3-11
3. 4. 2	スイングガイドの取り外し	3-12
3. 5	印刷の開始・中断	3-13
3. 5. 1	印刷の開始	3-13
3. 5. 2	印刷の停止（中断）と再開	3-13
3. 5. 3	印刷の取消	3-13
3. 5. 4	用紙なしのときの操作	3-14
3. 6	動作モード	3-15
3. 6. 1	通常モード	3-15
3. 6. 2	選択モード	3-15
3. 7	スイングガイド	3-16
3. 8	TOF 調整	3-16
3. 9	用紙設定	3-16
3. 10	パターン選択	3-17
3. 11	IP 設定と接続状態	3-18
3. 11. 1	IP アドレスの設定	3-18
3. 11. 2	接続状態（IBM 接続オプション追加時）	3-20
3. 11. 3	PING	3-22
3. 12	テスト印刷	3-23
3. 13	消耗品状態	3-24
3. 13. 1	消耗品状態の詳細	3-25
3. 14	定期交換部品	3-26
3. 14. 1	定期交換部品の詳細	3-26
3. 15	エラー時の処置	3-28
3. 15. 1	回復可能なエラー	3-28
3. 15. 2	回復不可能なエラー	3-29
3. 16	通信関係のアラームとエラー	3-30
3. 16. 1	ポストスクリプト関係	3-30
3. 16. 2	5250 エミュレーション関係（IBM 接続オプション追加時）	3-30
3. 16. 3	TN3270E 関係（IBM 接続オプション追加時）	3-31
3. 17	紙づまりの処置	3-33
3. 17. 1	紙づまり（基本）	3-33
3. 17. 2	紙づまり（各部）	3-34
3. 18	画像障害	3-38
3. 19	清掃	3-41
3. 19. 1	トラクタユニットの清掃	3-41
3. 19. 2	定着ガラスの清掃	3-42
3. 19. 3	チャージャの清掃	3-42
3. 19. 4	AIDC センサの清掃	3-43

3. 1 電源オン・オフ

KEL CL65KM は左側面にある「メインスイッチ」にて電源を投入、切断します。
この時コントローラーを本体の電源オン・オフに連動させるか選択することができます。

設定項目に「電源管理」があります。

設定に”自動シャットダウン”があり、ON/OFF の選択があります。(デフォルト値 OFF)
IPアドレスが 0.0.0.0 に設定されていると、”自動シャットダウン”の設定にかかわらず ON を選択した時の動作となります。

ON/OFF の内容は、以下のようになります。設定手順については「第5章 Web 設定」を参照してください。

ON : 「メインスイッチ」による電源オフを検出すると、コントローラーが自身の電源をオフします。電源オン時は、コントローラーの電源スイッチをオンにする必要があります。

OFF : 「メインスイッチ」による電源オフを検出すると、コントローラーは電源オンのまま待機状態に入ります。(コントローラーの電源は、オフとなりません。) 電源オンを検出すると、コントローラーは初期化動作から再開します。

- 【注意】
- OFF 設定の場合でも初めの 1 回は、コントローラーの電源スイッチをオンにする必要があります。
 - 保守作業等で電源をオフにする必要が生じた場合、電源管理項目の終了オプションで「シャットダウン」をクリックします。
 - コントローラーに電源が入っている場合、緊急時以外電源スイッチを押さないようにしてください。

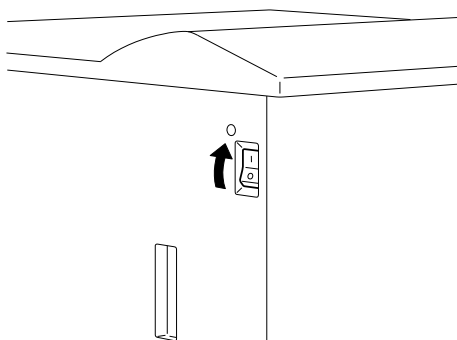


3. 1. 1 オン

- 自動シャットダウン設定が”ON”の場合、フロントロードアを開けコントローラーの電源スイッチを押してからフロントロードアを閉め、1) に進んでください。
- 自動シャットダウン設定が”OFF”の場合、1) に進んでください。

【注意】サーキットブレーカーをオンにした場合、またはコントローラーの電源を切断した場合は、フロントロードアを開けコントローラーの電源スイッチを押してからフロントロードアを閉めます。

- 1) 本体「メインスイッチ」を「|」側にします。電源が入ると「POWER」ランプが点灯します。



電源投入後の動作モードは、以下のように変化します。

- ・電源が投入されると「POWER」ランプが点灯します。
- ・自己診断が終わると消耗品、ドアオープン等プリンターチェック動作を行います。
- ・正常に終了すると、オンライン状態になります。
この状態で、印刷を開始することが可能です。



- 【注意】** ・自己診断中ドアを開けたりトラクタユニットを下げたりしないでください。
初期診断のまま停止したり、「エンジンノットレディ」エラーとなります。

3. 1. 2 オフ

印刷動作中または、オンライン状態でないことを確認してください。オンライン状態の場合は「OFFLINE」スイッチを押しオフライン状態にしてから「メインスイッチ」を \odot 側にします。電源が切れると「POWER」ランプが消灯します。

【注意】・オフライン状態の表示が下記にある時、電源をオフしてください。



- ・電源投入後、自己診断が終わるまで電源をオフにしないでください。
- ・緊急時は装置背面にあるサーキットブレーカーをOFFにしてください。
- ・電源オフ後の再投入は、60秒以上待ってから行ってください。コントローラーの初期化が正常に行われない場合があります。
- ・印刷中は電源をオフにしないでください。

3. 2 用紙のセット

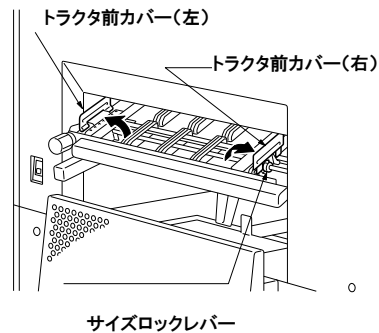
以下の手順にしたがって、用紙をセットしてください。

【注意】 用紙の総長さが、609mm（24インチ）以下の用紙は使用できません。使用した場合、分離ジャムエラーが発生します。
用紙切れで用紙を再セットする場合は、トラクタが停止してから20秒以上の間をおいてください。この間はプリンター内部で用紙切れの処理を行っていますので、用紙を再セットすると分離ジャムエラーが発生します。

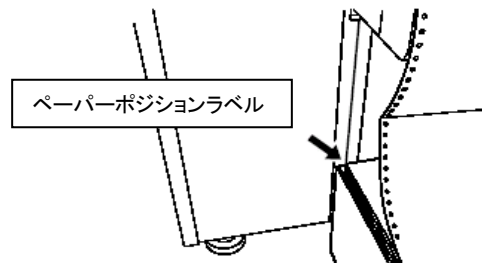
1) トラクタユニットを両手で押し下げます。

【注意】 用紙切れなどで同じサイズの用紙を再度セットする場合は、トラクタユニットを下げる必要はありません。

2) サイズロックレバー（手前、奥）のロックを解除し、トラクタ前カバー（右、左）を開きます。

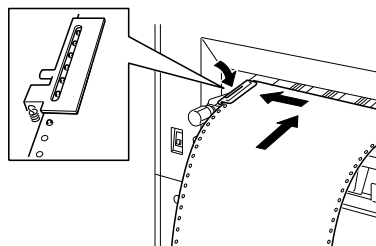


3) 用紙箱は、トラクタユニット下のペーパーポジションラベルと用紙端を合わせ、本体に付くように置いてください。



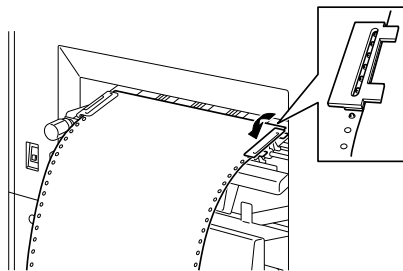
【注意】 用紙の厚さ・硬さなどによりセンサが誤動作する場合は、本体から用紙を離して置いてください。この場合、用紙を置く位置は十分にテストをして確認してください。

4) 左側トラクタに用紙を乗せ、トラクタカバーを閉めてください。

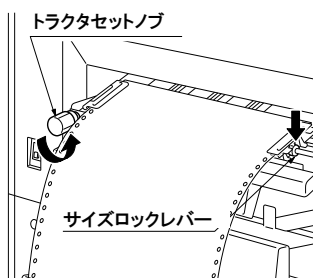


【注意】 用紙先端部はミシン目部からきれいにカットして、トラクタにセットしてください。紙づまりの原因となります。

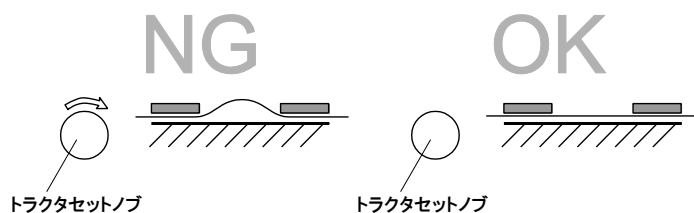
- 5) 右側トラクタに用紙をセットし、トラクタカバーを閉めます。



- 6) トラクタセットノブを回し右側トラクタ位置を調整し、サイズロックレバー（手前、奥）をロックします。



【注意】・用紙をセットする場合、強く張りすぎたり弱すぎたりすると紙づまりの原因となります。

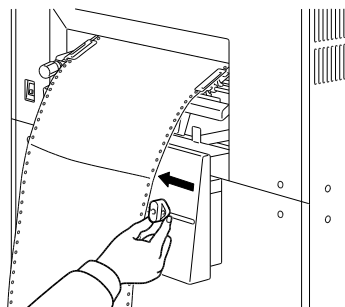


・印刷中に用紙の送り穴が変形する、トラクタから外れるような場合は再度サイズ調整を行ってください。

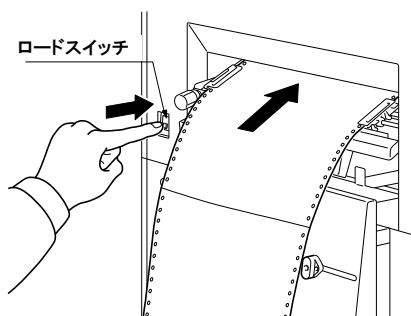
- 7) トラクタセットレバーを上げます。

【注意】トラクタ奥カバー（右、左）を開けたままトラクタセットレバーを上げると、トラクタ奥カバーが破損する可能性があります。必ずトラクタ奥カバー（右、左）を閉じてからトラクタセットレバーを上げてください。

- 8) 用紙の幅に合わせ、用紙規制つまみの位置を調整します。

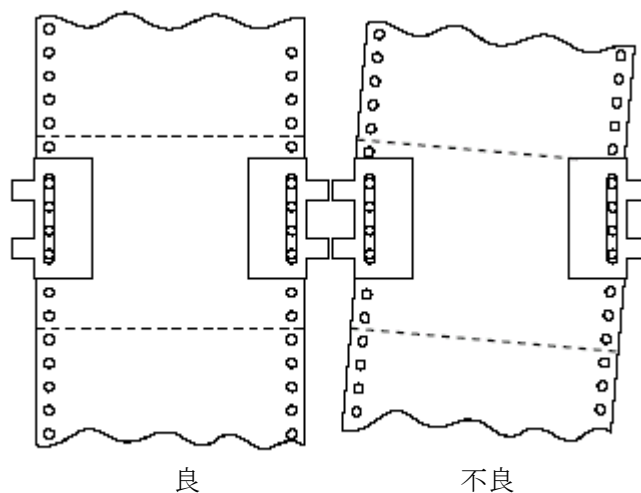


9) 「ロード」スイッチを押します。



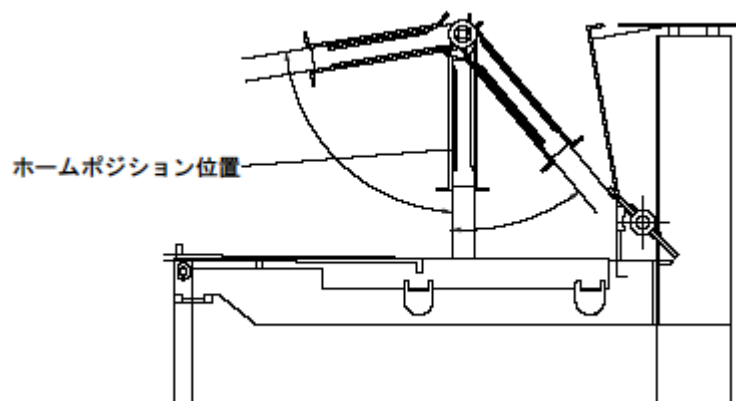
スイングガイドを使用している場合は、山折り/谷折りの設定画面が自動的に表示されます。画面の操作については、次項 10) を参照してください。

【注意】 用紙が正しくセットされていないと、正常に給紙できません。左右の穴位置が平行になるように用紙をセットしてください。



10) スイングガイドの設定を行います。

印刷済み用紙の折り畳みを補助するスイングガイド機構を装備しています。スイングガイドを左右に振り、用紙折り畳みの案内をします。

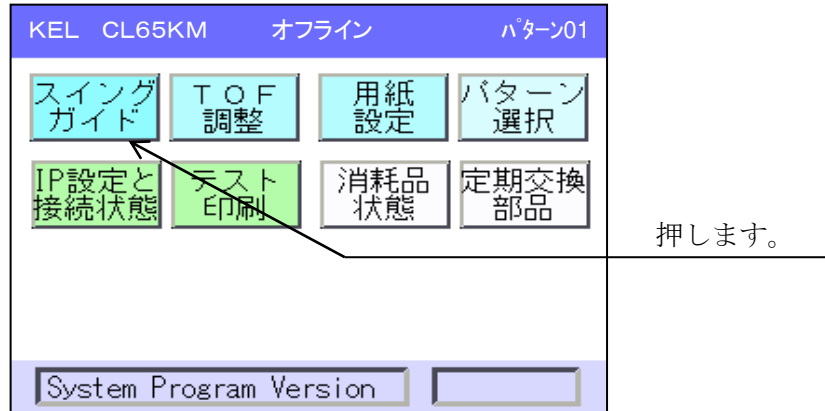


用紙を正しく折り畳むために、セットした用紙のはじめの折り目方向（山折り、谷折り）を設定する必要があります。

【注意】・スイングガイドは用紙仕様に下記の制限があります。

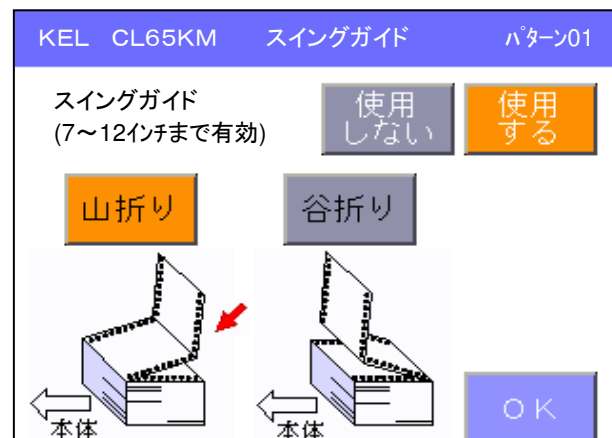
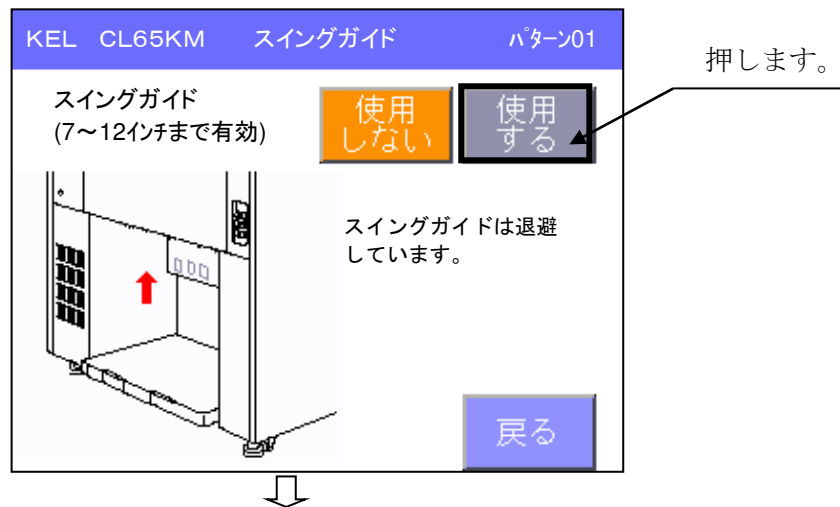
項	項目	仕 様
1	幅	1 5 2 . 4 m m ~ 4 5 7 . 2 m m (6 ~ 1 8 イ ン チ)
2	長さ	1 7 7 . 8 m m ~ 3 0 4 . 8 m m (7 ~ 1 2 イ ン チ)
3	連量	5 2 ~ 8 7 k g (薄 紙)
4	厚さ	0 . 0 7 7 7 ~ 0 . 0 9 7 1 m m

a) 操作パネル表示の「スイングガイド」を押します。



b) 用紙長さがスイングガイド仕様内の場合、「使用する」を押します。

【注意】用紙長さが仕様外の場合、スイングガイドを使用することができません。「使用しない」に設定し、スイングガイド（フロント）を「3.4.2 スイングガイドの取り外し」に従って外してください。



c) セットした用紙ミシン目が「山折り」または「谷折り」かを押します。

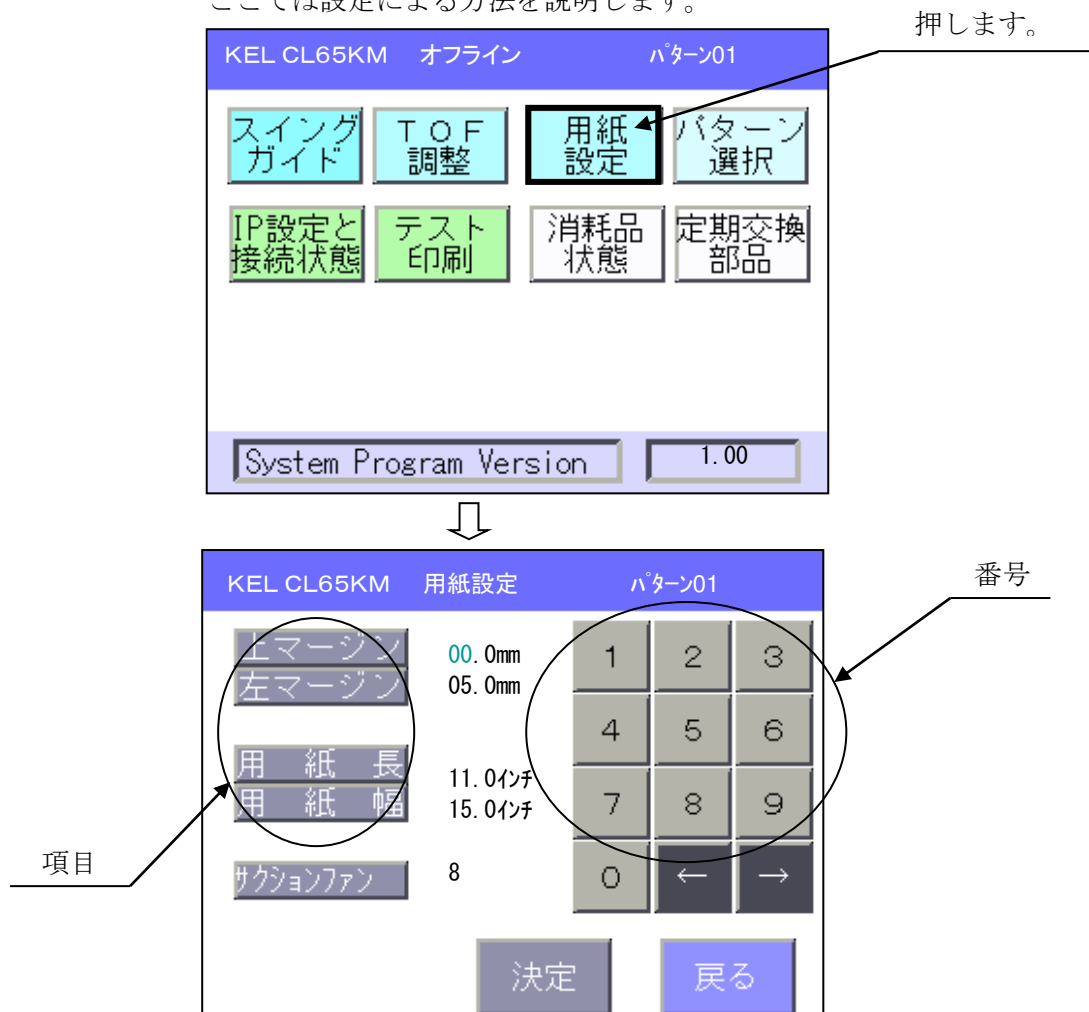
【注意】 セットした用紙先頭のページと2ページ目との境にあるミシン目の折れ方向を設定します。

d) **戻る**を押してオフライン表示に戻ります。

1 1) 使用する用紙サイズの設定を行います。

- 【注意】
- ・セットした用紙のサイズと設定されている用紙サイズが違っていると、紙づまりの原因となります。
 - ・パターンとして登録されている場合、**パターン選択**を押し登録されているパターンを選択する方法があります。

ここでは設定による方法を説明します。



- ・**番号** : 入力すると次の位置へ移動します。
- ・**→** : 右へ移動。右端まで移動すると次の行の左端へ移動します。
- ・**←** : 左へ移動。左端まで移動すると前の行の右端へ移動します。
- ・**決定** : 用紙情報を設定し、オフライン表示に戻ります。
- ・**戻る** : 用紙情報は設定されずにオフライン表示に戻ります。
- ・**項目** : 項目位置に移動します。

1 2) 用紙設定を行う**項目**を押し、**番号**キーで値を入力します。

1 3) 用紙の厚さによってサクシヨンファンの値を選択します。サクシヨンファンは、用紙送り時の張りを最適な状態にするための吸着力をこの値で調整します。

- 【注意】・用紙送り穴の排紙側が変形する時には、より小さい数値に変更します。
 ・用紙送り穴の給紙側が変形する時には、より大きい数値に変更します。

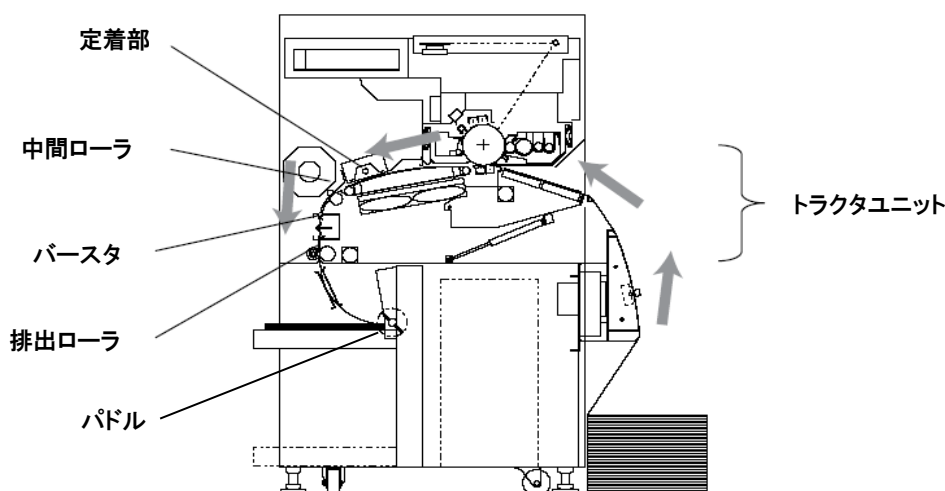
用紙幅 (mm) ミ (インチ)	152.4mm~254.0mm (6" ~ 10")	254.0mm~457.2mm (10" ~ 18")
連量(kg)		
52 ~ 100	1	1~8 で設定を選ぶ
100 ~ 152	1	1

・連量 52kg~100kg 用紙サイズ 254.0mm~457.2mm(10~18 インチ) 以外は 1 に固定してください。

(参考値)

種類	幅 × 長さ	連量(kg)	入力値
薄紙	457.2mm × 279.4mm (18" × 11")	55kg	4
	381.0mm × 279.4mm (15" × 11")	55kg	8
厚紙	457.2mm × 279.4mm (18" × 11")	135kg	1
タグ用紙	457.2mm × 279.4mm (18" × 11")	152kg	1
ラベル用紙	330.2mm × 304.8mm (13" × 12")		8

1 4) **決定** を押します。セットした印刷用紙は、下図の経路を通ります。



3. 3 スタッカ使用上の注意

印刷済み用紙は自動的にスタッカテーブルに積み重ねられ、重ねられた用紙の量に従って少しずつ下降します。

スタッカテーブルは55kgの用紙で3,000枚収容することができます。

- 【注意】・スタッカテーブル使用時の用紙サイズに注意してください。
 スタッカテーブル使用：長さ127~406mm (5~16インチ)
 ・16インチよりも大きい場合、スタッカテーブルをエラーの発生しない下限位置に固定してください。
 ・ストッパーセット時の用紙サイズに注意してください。
 ストッパー使用：254.0mm~304.8mm (10~12インチ)
 ・用紙サイズが12インチよりも大きい場合、ストッパーを持ち上げて固定してください。

- 1) スタッカテーブルを上限まで持ち上げ、ストッパーをセットします。
- 2) 印刷を開始します。
- 3) 印刷開始直後に、以下の項目を確認してください。
 - ・一枚目用紙の折れ方向
逆折れの場合は、印刷を停止させ折り目をあわせてセットし直してください。
 - ・パドルが用紙上面に接していること
接していない場合は、スタッカテーブルを下げ用紙位置を整え直し、スタッカテーブルをパドルに接するまで持ち上げます。
- 4) 印刷中に以下の項目を確認してください。
 - ・スタッカ、正面、両側面部の用紙がフラットであること。
 - ・用紙が傾いていないこと。
 - ・パドルが用紙上面に接していること。接していない時は、スタッカテーブルを下げ用紙位置を整え直し、スタッカテーブルをパドルに接するまで持ち上げます。
- 5) 印刷済み用紙は、サイドパネルにある「DOWN」スイッチを押し、スタッカテーブルを下降させ取り除いてください。

【注意】 スタッカフルなど印刷済み用紙が多量の場合、テーブルを下限まで下げてください。その後、スタッカテーブル中央の緑ラベル下部を握ることでロックレバーが解除され、テーブルを外しそのまま移動することができます。

3. 4 スイングガイドの取り付け、取り外し

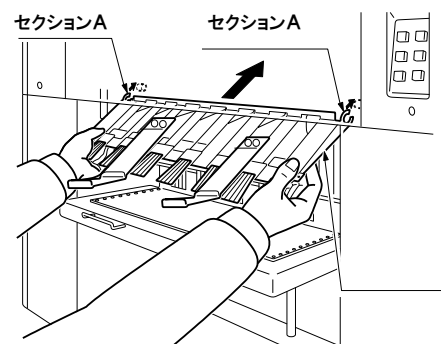
スイングガイドの取り付け、取り外し方法について説明します。

3. 4. 1 スイングガイドの取り付け

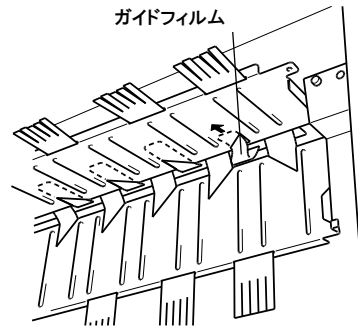
- 1) スイングガイドが退避位置にある場合、操作パネルのスイングガイド **使用する** を押します。

【注意】 スイングガイドがホームポジションへ移動します。

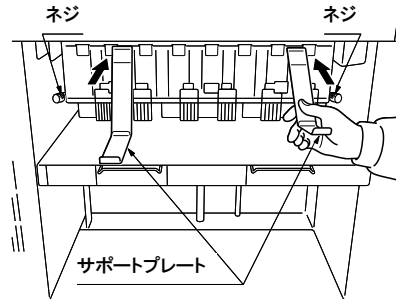
- 2) サイドパネルの「DOWN」スイッチを押してスタッカテーブルを下げます。
- 3) 30° ほど傾けながらスイングガイド（フロント）をA部に差し込みます。



- 4) ガイドフィルムを、スイングガイド上部の穴に差し込みます。



- 5) 飾りネジ（2本）を締めてスイングガイドを取り付け、サポートプレート（2つ）を装着します。（各ネジ2本）



- 6) スタッカテーブルを上限まで持ち上げ、ストッパーをセットします。

【注意】 ストッパー使用時の用紙長：254.0mm～304.8mm（10～12 インチ）

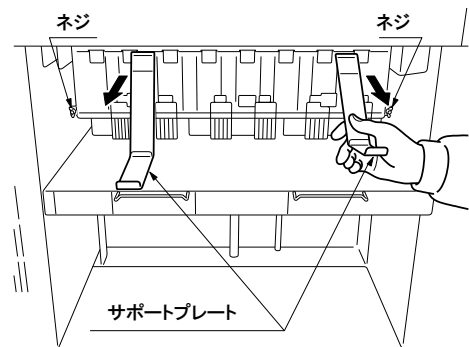
3. 4. 2 スイングガイドの取り外し

- 1) 操作パネルのスイングガイド「**使用しない**」を押します。

【注意】 スイングガイドがホームポジションへ移動します。

- 2) サイドパネルスイッチの「DOWN」スイッチを押してスタッカテーブルを下げます。

- 3) サポートプレート（2つ）を外し（各ネジ2本）、飾りネジ（2本）を外します。



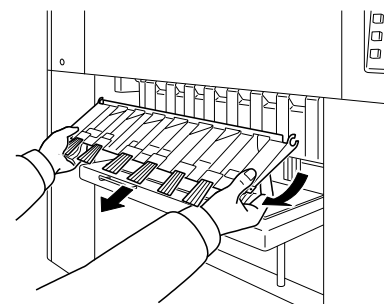
- 4) 30° 手前に傾けながら、スイングガイド（フロント）を取り外します。

- 5) 操作パネルのスイングガイド「**実行**」を押します。

【注意】 スイングガイドが退避位置へ移動します。

- 6) スタッカテーブルを上限まで持ち上げ、ストッパーをセットします。

【注意】 ストッパー使用時の用紙長：254.0mm～304.8mm（10～12 インチ）



3. 5 印刷の開始・中断

3. 5. 1 印刷の開始

- 1) 「PAUSE」ランプが点灯して、オフライン状態であることを確認してください。「ALARM」ランプが点灯している場合は「3. 15 エラー時の処置」にしたがってください。
- 2) 「ONLINE」スイッチを押してください。
「PAUSE」ランプが消灯し、オンライン状態であることを知らせます。この状態でホスト・コンピュータからの要求により印刷を始めることができます。

- 【注意】・消耗品（トナーボトル、廃棄トナーボトル、PCカートリッジ）の使用率が警告値を越えている場合、“**消耗品状態**”が表示されます。
- ・定期交換部品の使用率が100%を越えている場合、“**定期交換部品**”が表示されます。
 - ・印刷枚数が定期保守枚数の90%を越えている場合、“**保守点検**”が黄色文字表示されます。100%を越えると“**保守点検**”が赤色文字表示されます。担当保守員に連絡してください。

3. 5. 2 印刷の停止（中断）と再開

用紙の交換、消耗品の交換などを行う場合、また何らかの理由により印刷を中断する場合、オフライン状態にする必要があります。

- 1) 「OFFLINE」スイッチを押します。
現在印刷しているページを印刷し終えた後、オフライン移行中の状態となります。

- 【注意】・印刷停止後、印刷プロセス部が後処理を実行します。その間オフライン状態となるまで待ち状態となります。
- ・待ち状態時に「FEED」「CUT」などのスイッチを押すと、記憶されます。その後、オフライン状態となったとき実行します。

- 2) オフライン状態となり、「PAUSE」ランプが点灯します。
- 3) 印刷を再開する場合は「ONLINE」スイッチを押します。
エラーメッセージを表示している場合は、「3. 15 エラー時の処置」にしたがって原因を取り除いてください。

3. 5. 3 印刷の取消

ホスト・コンピュータに対して**取消**を押し、取消要求することができます。接続プロトコルによって、以下のような動作となります。

- ・LPR接続 : ホスト・コンピュータに切断要求を送ります。
- ・TN5250E接続 : 接続ホスト・コンピュータに取消要求を送ります。
(IBM接続オプション追加時)
- ・TN3270E接続 : 機能なし。**取消**が表示されません。
(IBM接続オプション追加時)

- 【注意】・TN3270E LU1接続での再印刷方法については、「3. 11. 2 接続状態」を参照してください。

- 【注意】・印刷の取消は、適用業務プログラムに無関係に実行されますので、必ずホスト・コンピュータの操作員に確認の上、実行してください。
- ・LPR接続時の切断処理は、ホスト・コンピュータ側で印刷を取り消すものではありません。ホスト・コンピュータに通信切断要求(FIN)を出し、受信済み印刷データを消去するだけです。印刷を取り消したいときはホスト・コンピュータ側で印刷を停止する必要があります。

- 1) オフライン状態にします。
- 2) 取消要求が有効な場合、**取消**が表示されます。**取消**を押してください。
- 3) 誤操作防止のため、確認のメッセージが表示されます。取消を実行する場合、**実行**を押します。取消を実行しない場合、**戻る**を押します。
- 4) オフライン表示に戻ります。

3. 5. 4 用紙なしのときの操作

用紙の最後のページまで印刷すると、エラーを表示してアラームが鳴ります。印刷用紙はスタッカテーブルに排出され、印刷を停止します。



- 1) **ON**を押し、アラームを止めます。
- 2) 新しい用紙をセットしてください。（「3. 2 用紙のセッ」を参照）
- 3) サイドパネルの「DOWN」スイッチを押し、スタッカテーブルを下降させ印刷済み用紙を取り除いてください。
- 4) 取り除いた後、スタッカテーブルを上限まで持ち上げストッパーをセットします。

3. 6 動作モード

装置の電源を入れると、プログラムが起動され、初期設定が終了すると通常モードになります。

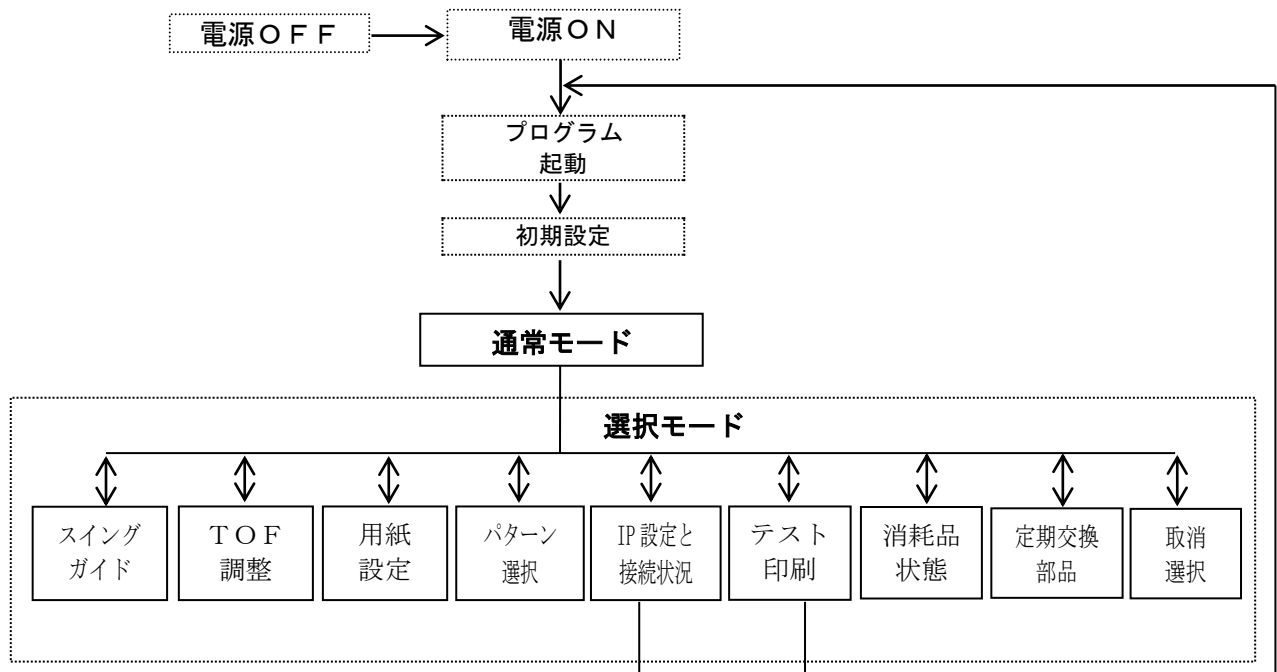
通常モードは、ホスト・コンピュータから送られてくる文字コードや制御コードに従って印字できる状態です。

このモードで通常の印刷業務を行うので通常モードと呼んでいます。

動作モードには、通常モードのほかに選択モードがあります。

選択モードでは使用する用紙の情報設定、消耗品の状態表示、IPアドレス設定などを行います。

以下に動作モードの遷移を示します。



3. 6. 1 通常モード

電源を入れるとプログラムが起動され、初期設定が終了するとこのモードになります。通常モードは、ホスト・コンピュータから送られてくる文字コードや制御コードにしたがって印字できる状態です。

3. 6. 2 選択モード

選択モードは、プリンターが印刷を開始するために必要な情報を設定するモードであり、またプリンターのテストなども行います。

ここで設定された項目はその時点から有効となり、次回の電源投入時以降も有効となります。

以下に選択モードの項目を示します。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. スイングガイド | 5. IP設定と接続状態 |
| 2. TOF調整 | 6. テスト印刷 |
| 3. 用紙設定 | 7. 消耗品状態 |
| 4. パターン選択 | 8. 定期交換部品 |

3. 7 スイニングガイド

印刷用紙を掛け替えた時、セットした用紙のミシン目方向（山谷）を設定します。設定は「3. 2 用紙のセット」を参照してください。


3. 8 TOF調整

以下のエラーが発生した場合、印字先頭位置を再調整する必要があります。このときの用紙先頭位置調整手順について説明します。

- 【注意】
- ・復旧後、緊急停止したページから用紙の長さ約5 1インチの範囲内でリカバリ印刷を行います。その後ホスト・コンピュータから送られてくるデータの印刷を継続します。但し、インターロックエラーの場合、表示前にインターロックが解除されるとインターロックエラー発生を認識できない場合があります。この場合、リカバリ印刷は行われません。
 - ・印刷後、「FEED」スイッチにて用紙送りを行わず**TOF調整**を押すと、未定着のまま用紙が排紙されます。

○再調整で継続可能なエラー

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ・ 3 4 3 0 : EPホルダインターロック | ・ 3 4 3 4 : 分離ジャム |
| ・ 3 4 3 1 : トラクタインターロック | ・ 3 4 3 5 : 定着ジャム |
| ・ 3 4 3 2 : 定着ハウジングインターロック | ・ 3 4 3 6 : スタッカジャム |
| ・ 3 4 3 3 : 左カバーインターロック | ・ 3 4 3 7 : トラクタジャム |
| ・ 3 5 3 0 : 前カバーインターロック | ・ 3 7 3 6 : スイニングガイドエラー |

- 1) 「FEED」スイッチを数回押し、用紙の未定着部分を定着させます。
- 2) 「OFFLINE」スイッチを押した状態で「FEED」スイッチを押します。「FEED」スイッチを押す毎に用紙が1/6インチ送られます。ミシン目を左トラクタカバー上にある ークに合わせます。
- 3) **TOF調整**を押します。用紙が印刷開始位置まで送られます。
- 4) 「ONLINE」スイッチを押し、オンライン状態にします。

3. 9 用紙設定

用紙を掛け替えた時、用紙長など用紙情報を設定します。設定は「3. 2 用紙のセット」を参照してください。

設定する項目は以下となります。

- ・ 上マージン
- ・ 左マージン
- ・ 用紙長
- ・ 用紙幅
- ・ サクシヨンプレーキ

【注意】 選択されているパターンの用紙長、幅、上マージン、左マージン値を書き変えます。

3. 10 パターン選択

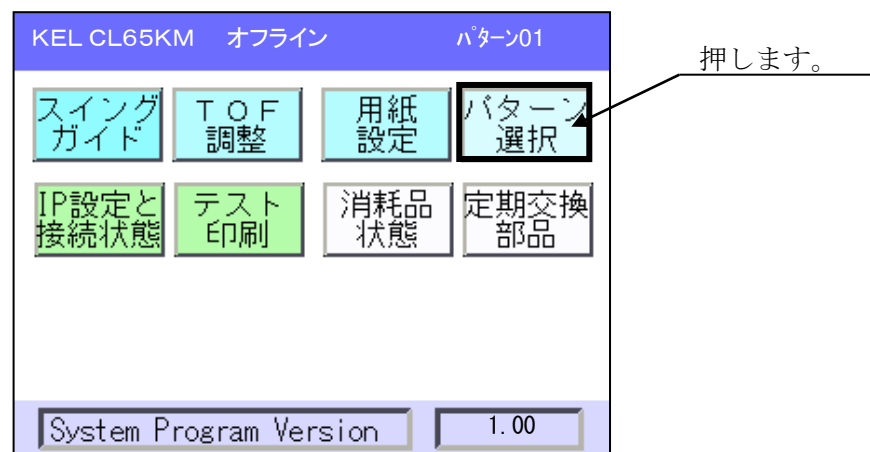
各設定をパターンとして登録することが可能です。登録は16パターン作成することが可能です。パターン選択によりパターンを切り換えます。

パターンとして登録可能な設定は、下記の項目です。設定値の登録はWebブラウザを使用して行います。（登録方法は「第5章 Web設定」を参照してください。）

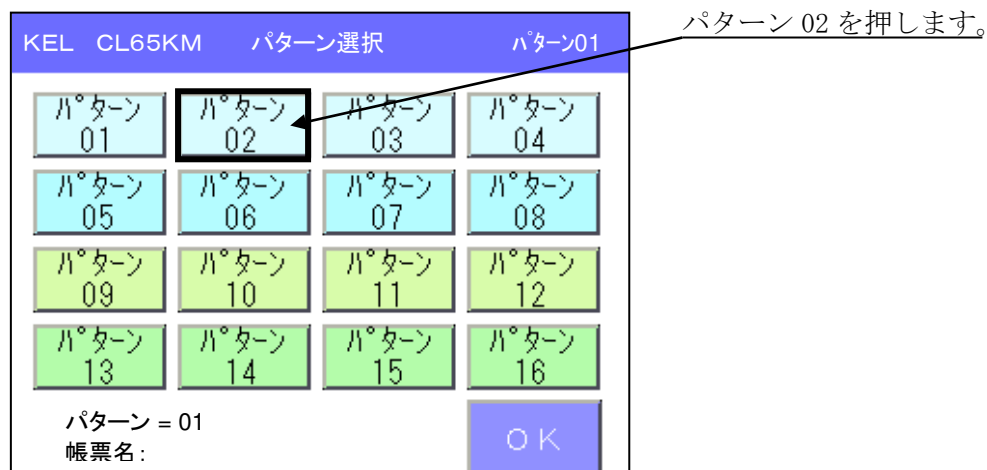
（5250、3270印刷項目は、IBM接続オプション追加時に設定可能です）

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>a) 共通項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帳票名 ・拡張コマンド ・用紙種類 ・用紙の回転 ・白紙節約 ・用紙長 ・用紙幅 ・上マージン ・左マージン ・バースタ ・用紙安定 ・ブザー ・サクシオンファン ・リバースモード ・分離チャージャ ・濃度 ・トナーマーク ・白紙付加 | <p>c) TN5250E印刷項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション番号 ・ANKフォント ・漢字フォント ・ANKテーブル ・SI/SO ・2UP ・外字 |
| <p>b) LPR5250印刷項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ANKフォント ・漢字フォント ・ANKテーブル ・SI/SO ・2UP ・外字 | <p>d) TN3270E印刷項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セッション番号 ・文字ピッチ ・最大文字数 ・行ピッチ ・最大行数 ・ANKフォント ・漢字フォント ・大文字小文字 ・ANKテーブル ・LU1オプション ・LU3オプション ・プリンタチェック ・プリンタ保留タイマ ・ジョブエンドタイマ ・ジョブリンクタイマ ・設定の優先 ・未定義文字の処理 ・2UP ・外字 |

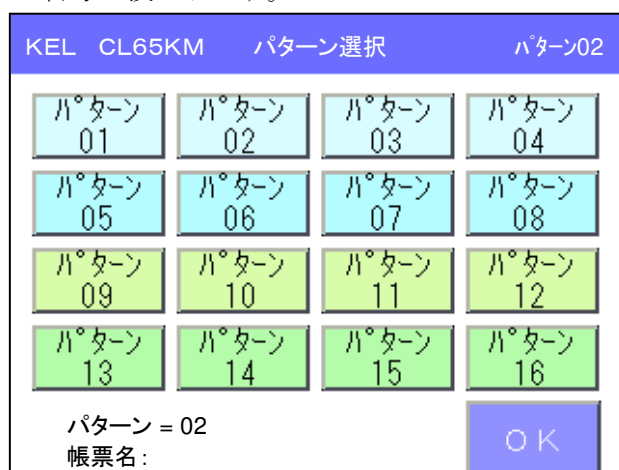
- 1) 「PAUSE」ランプが点灯し、オフライン状態であることを確認してください。オフライン状態にない場合、「OFFLINE」スイッチを押してください。
- 2) パターン選択を押します。



- 3) パターン選択表示となります。選択するパターンを押します。
 (以下の例ではパターン01からパターン02で設定している値に変更されます)



- 4) パターンが変更されると右上と左下に表示しているパターン番号および帳票名が選択された番号に換わります。



- 5) **OK**を押します。オフライン表示へ戻り、選択されたパターンで登録されている設定値が有効となります。

3. 1 1 I P 設定と接続状態

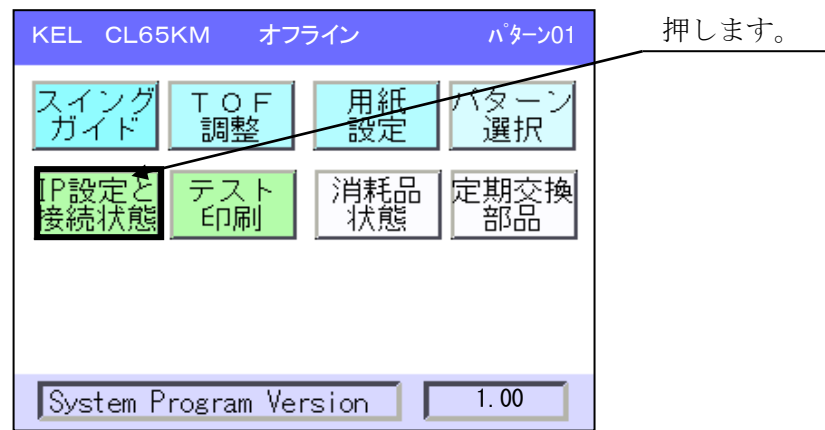
I P アドレスを設定または変更を行います。また、“ping”による接続確認、および各接続状態を表示します。

3. 1 1 . 1 I P アドレスの設定

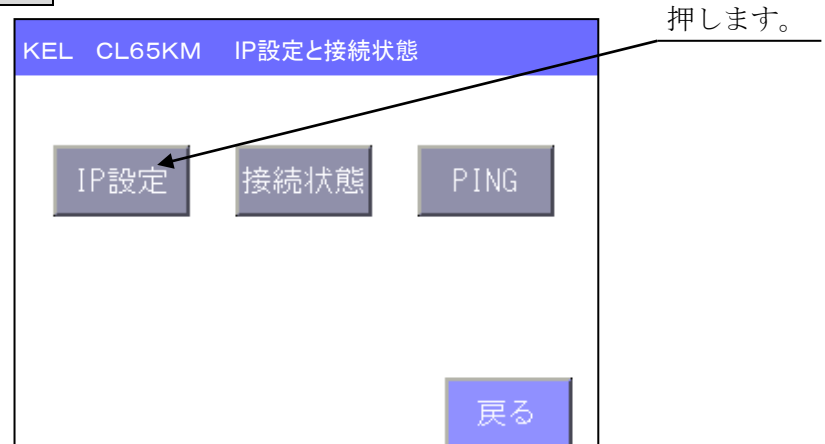
I P アドレスの設定方法について以下に説明します。

【注意】 I P アドレスを設定変更した場合、コントローラーが再立ち上げ動作を自動的にを行います。

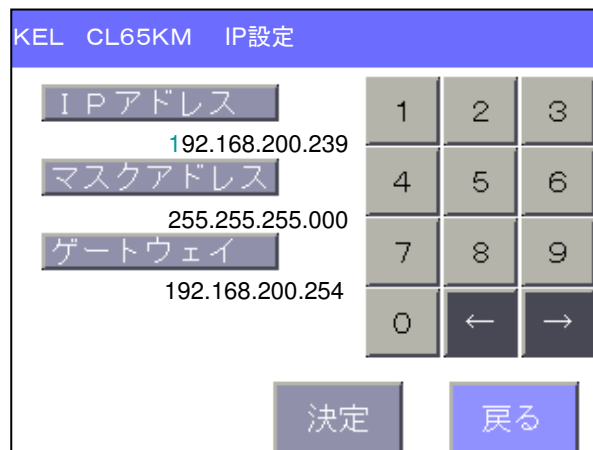
- 1) **I P 設定と接続状態**を押します。



2) IP設定を押します。



3) IPアドレス、マスクアドレス、ゲートウェイを順に設定します。

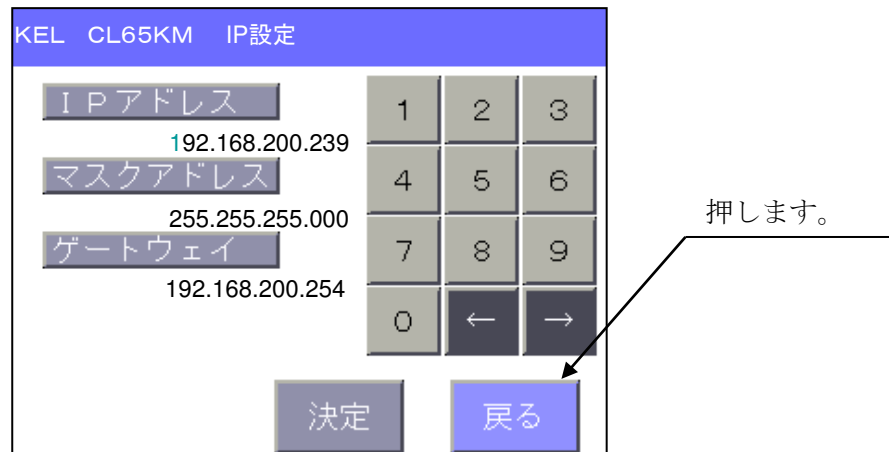


【注意】 ・ 点滅位置にテンキーから値を入力します。入力するとカーソルが桁移動します。
 ・ 各桁は3桁で入力してください。(例 011.002. . . .)

4) 全てのアドレス値を設定し、決定を押します。
 設定したアドレス値がチェックされ、登録されます。

【注意】 設定アドレスに無効な値がある場合、メッセージが表示されます。戻るを押し、無効なアドレス値を修正してください。

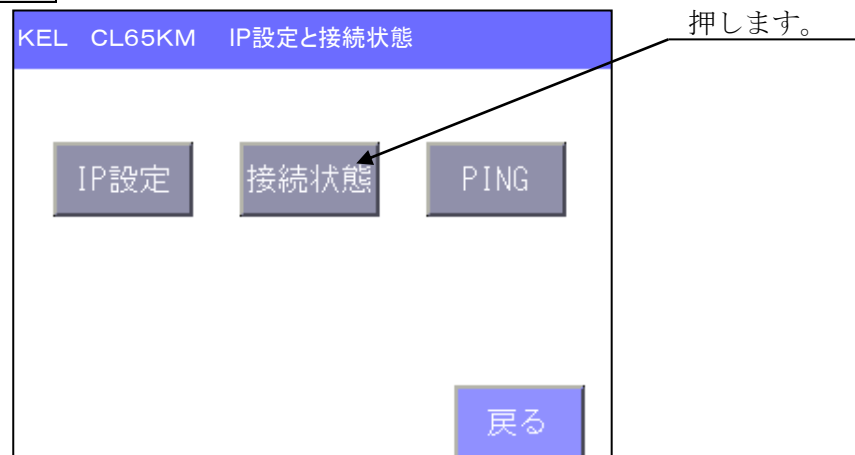
5) **戻る**を押します。自動的に再立ち上げが実行されます。



3. 1 1. 2 接続状態 (IBM接続オプション追加時)

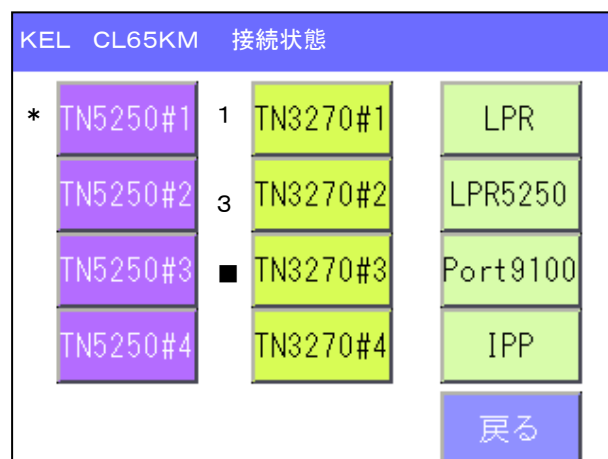
各接続プロトコルの接続状態を確認することができます。

1) **接続状態**を押します。



2) 各プロトコルが表示されます。

- 【注意】**
- ・接続状態にあるものには「*」を表示します。
 - ・TN3270EではBind状態にある接続には「1」、「3」を表示します。
「1」はLU1で、「3」はLU3で接続されていることを表します。
 - ・障害が発生している接続には「■」を表示します。

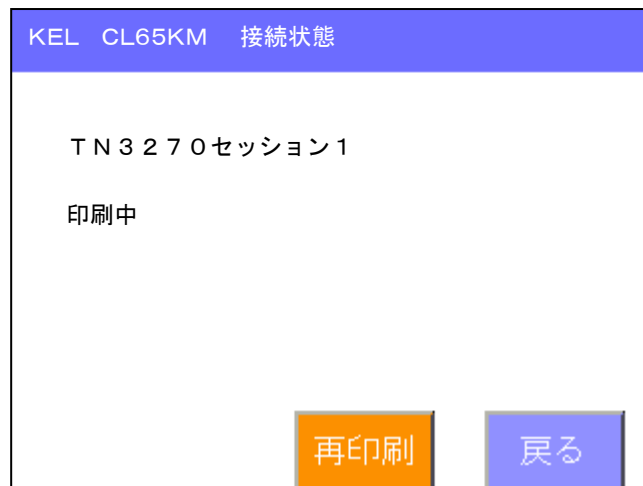


3) ' ■ ' が表示されているスイッチを押すことで、発生している障害の詳細情報を確認することができます。

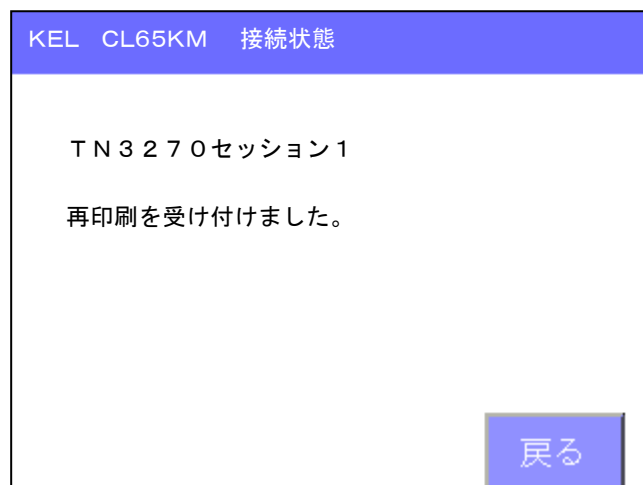
【注意】 ・ ' 1 ' , ' 3 ' , ' ■ ' 表示の無いスイッチを押しても詳細表示にはなりません。

・ ' 1 ' 表示のスイッチを押すと、**再印刷**スイッチを表示します。

再印刷を押すことで、ホスト・コンピュータにセンスコード” 0802” を送信します。



↓ **再印刷**を押します。



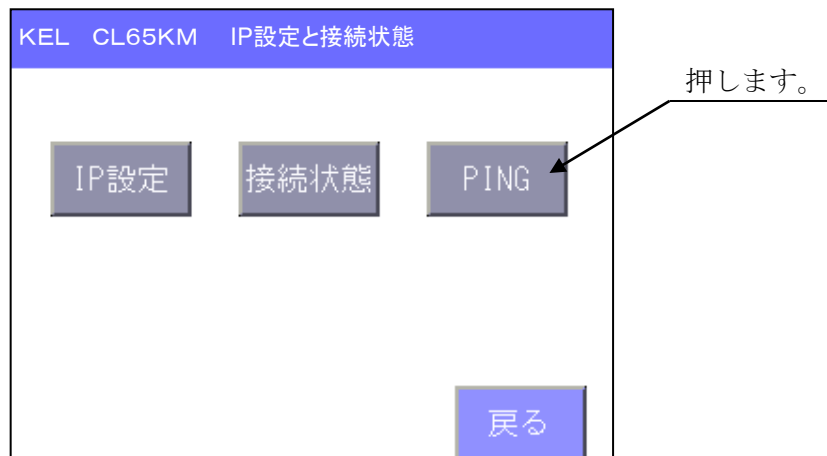
【注意】 送信できなかった場合、接続状態画面に戻ります。

4) **戻る**を押し、前の表示へ戻ります。

3. 1 1. 3 P I N G

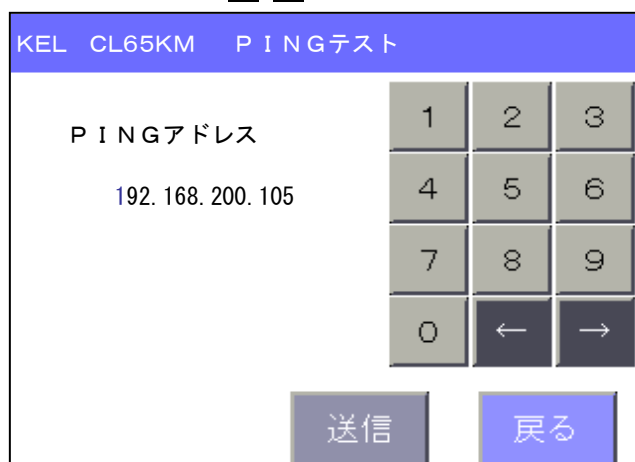
イーサネットに正しく接続されているか確認するために、“P I N G”を発行することができます。ここではその手順について説明します。

- 1) **P I N G**を押します。

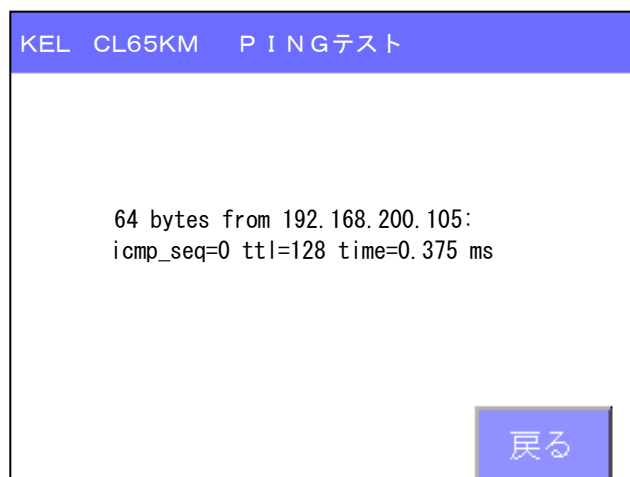


- 2) “P I N G”を発行する相手先IPアドレスを設定します。
カーソルが点滅している桁から入力します。入力すると桁を移動します。

【注意】・アドレス値は3桁にして入力してください。1～2桁の場合、頭に‘0’を付け3桁にして入力してください。
・修正する場合、**←** **→**キーを押し修正する位置へ **█**を移動し再度入力します

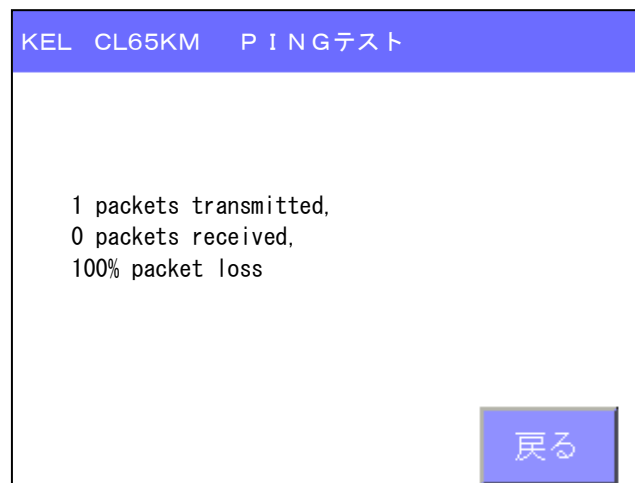


- 3) IPアドレスを設定したら、**送信**を押します。
a) 設定IPアドレス 192.168.200.105 から応答が戻ってきた場合



b) 設定 IP アドレスから応答がなく、タイムアウトした場合

【注意】 設定 IP アドレスに問題がある、或いは接続しているケーブルが HUB と正しくつながっていない等が推測されます。点検をしてください。



4) **戻る**を押します。

テスト先 IP アドレスの設定へ戻ります。他の IP アドレスとの確認をする場合、IP アドレスを設定し直してください。終了する場合、**戻る**を押してください。

3. 1 2 テスト印刷

各エミュレーションの全文字印刷、設定値、外字の印刷を行います。

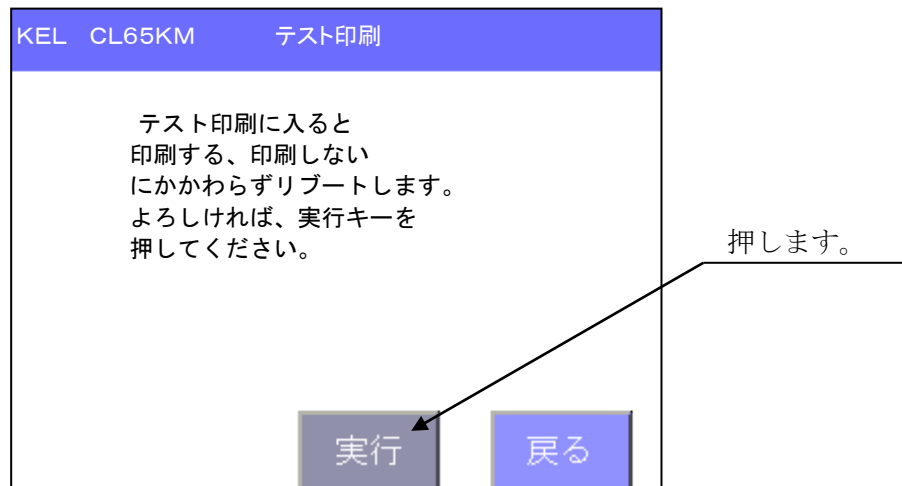
【注意】 テスト印刷を行った後、通常に戻る時プログラムが再立ち上げ動作を行います。

1) **テスト印刷**を押します。



押します。

- 2) **実行**を押します。



- 3) 印字テストするエミュレーションまたは**設定値**、**外字**を押します。印刷が開始されます。印刷が終了するか印刷中に**取消**を押すことで表示が戻ります。
(5250、3270、外字は、IBM接続オプション追加時に表示されます)



3. 1 3 消耗品状態

廃棄トナーボトル、トナーボトル、感光体が寿命に達し交換が必要になると、オフライン表示の**消耗品状態**の色が黄色表示に変わります。

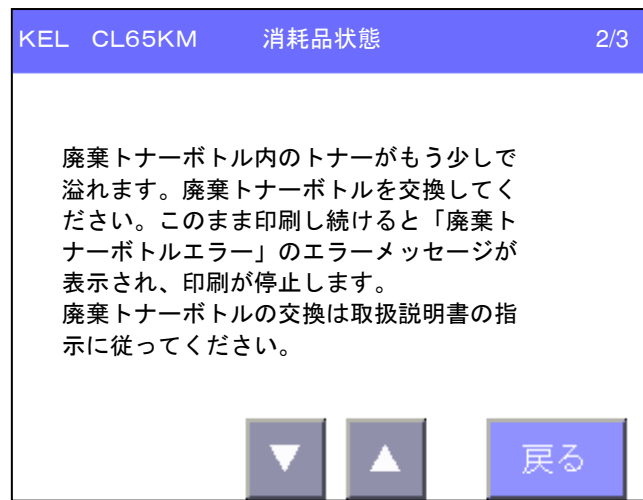


3. 1 3. 1 消耗品状態の詳細

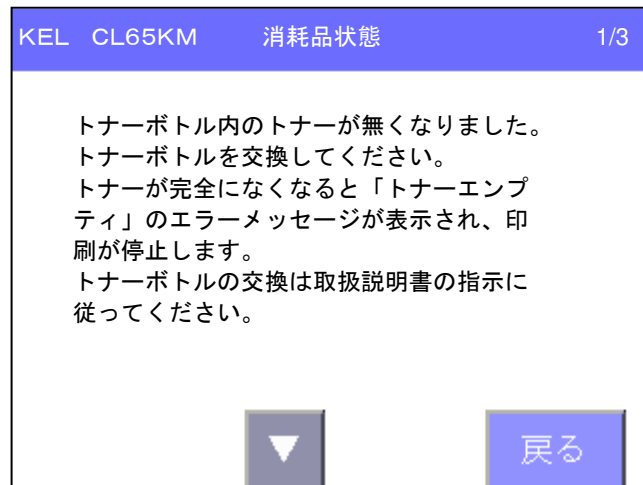
消耗品状態を押します。寿命に達している消耗品の詳細が表示されます。複数発生している場合、▼ ▲ を押し確認することができます。

- 【注意】
- ・寿命に達している物がない場合、ブランク表示となります。
 - ・寿命に達した廃棄トナーボトル、トナーボトル、感光体は、新しい物に交換することでメッセージは消えます。交換手順は「第4章 消耗品交換」を参照してください。

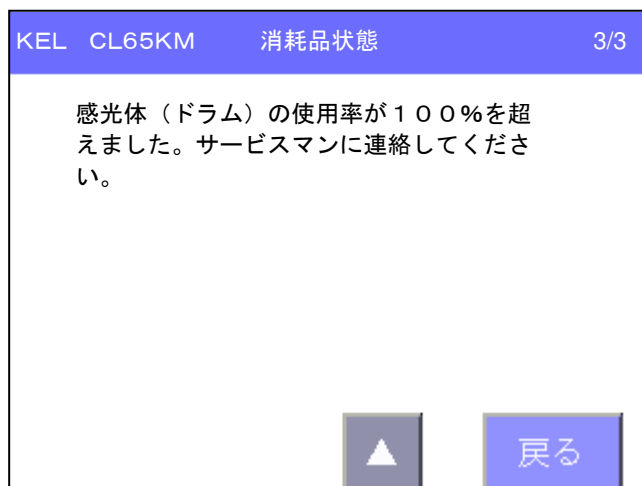
1) 廃棄トナーボトルの交換メッセージ



2) トナーボトルの交換メッセージ

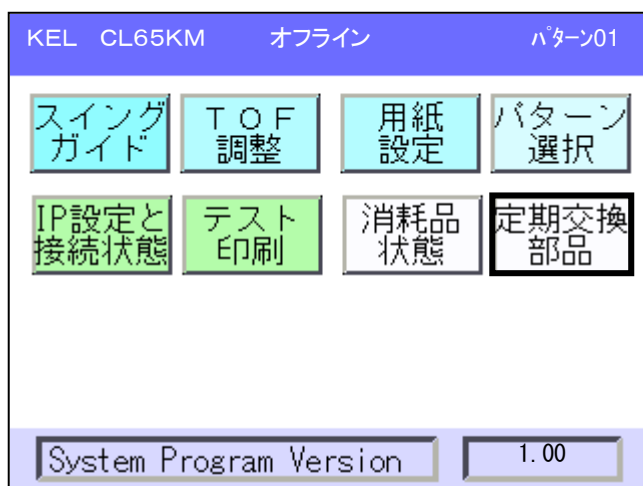


3) 感光体の交換メッセージ



3. 1 4 定期交換部品

定期交換部品で使用率100%を超えた部品が発生した場合、オフライン表示の定期交換部品の色が黄色表示に変わります。





3. 1 4. 1 定期交換部品の詳細

定期交換部品を押します。23品目の定期交換部品について、使用率を表示します。

- 【注意】
- ・使用率が100%を超えている物は黄色表示となります。
 - ・使用率が110%を超えている物は赤色表示となります。印刷が継続できなくなることはありません。

KEL CL65KM 定期交換部品 1/3	
部品名	使用率
転写/分離チャージワイヤ/クリーナ	10%
クリーニングプレート	90%
メインチャージ針電極	100%
メインチャージ針電極クリーナ	50%
現像剤	80%
オゾンフィルタ (メイン)	40%
オゾンフィルタ (転写)	30%
定着トナーフィルタ	20%






KEL CL65KM 定期交換部品 2/3	
部品名	使用率
スタックパドル	110%
PCフィルムアス板	70%
現像器ユニット	15%
メインチャージユニット	0%
転写/分離チャージユニット	90%
定着ランプ	50%
サクシヨンベルト	40%
押えローラ	30%





KEL CL65KM 定期交換部品 3/3	
部品名	使用率
トラクタベルトユニット	20%
トラクタ駆動ベルト	60%
サクシヨン駆動ギア	70%
搬送/排紙ローラ	10%
その他駆動ギア	90%
電磁クラッチ	50%
除電ブラシ	40%

3. 1 5 エラー時の処置

KEL CL65KM では、状態に応じて操作パネルにメッセージが表示されます。それぞれの内容にしたがって処置を行ってください。エラーには、回復可能なものと、回復不可能なものがあります。回復できないエラーが発生した場合は、担当保守員に連絡してください。

3. 1 5. 1 回復可能なエラー

インターロックエラー、およびジャムエラーについては復旧後、停止したページから用紙の長さ約5 1 インチの範囲内でリカバリー印刷を行い、その後ホスト・コンピューターから送られてくるデータの印刷を続けます。但し、インターロックエラーの場合、表示前にインターロックエラーを解除するとインターロックエラー発生を認識できない場合が発生します。この場合リカバリー印刷が行われません。

エラーNo.	エラー名	処置方法
3530	前カバーインターロック	・前カバーを閉めてください。
3736	スイングガイドジャム	・スイングガイドと用紙長/ミシン目位置を確認してください。合っていない場合、用紙情報の設定を使用している用紙に合わせてください。
3330	廃棄トナーボトルエラー	・廃棄トナーボトルをセットしてください。 ・廃棄トナーボトルを新しい廃棄トナーボトルと交換してください。
3331	トナーエンプティ	・トナーボトルを新しいトナーボトルと交換してください。
3332	スタッカフル	・スタッカテーブルから印刷済み用紙を取り除いてください。
3333	用紙なし	・新しい用紙をセットし、ロードしてください。
3334	用紙未ローディング	・新しい用紙をセットし、ロードしてください。
3336	PCドラム異常	・PCカートリッジを正しくセットしてください。 ・PCカートリッジが認識できていません。PCカートリッジを交換してください。
3337	排紙ローラ領域ジャム	・排紙ローラ部の用紙を取り除いてください。
3430	EPホルダインターロック	・EPホルダを閉めてください。
3431	トラクタインターロック	・トラクタユニットを閉めてください。
3432	定着ハウジング インターロック	・定着トナーフィルタをセットしてください。
3433	左カバーインターロック	・左カバーを閉めてください。
3434	分離ジャム	・トラクタユニットを下げ、装置内の用紙を排出してください。 ・分離チャージャユニットおよび分離センサを清掃してください。
3435	定着ジャム	・定着部を点検し、装置内の用紙を排出してください。
3436	スタッカジャム	・スタッカ部の用紙を取り除いてください。
3437	トラクタジャム	・トラクタユニットを下げ、装置内の用紙を排出してください。
3930	トナーボトル ポジション異常	・トナーボトルを点検してください。
3931	テーブル未装着	・スタッカテーブルを装着してください。

3. 1 5. 2 回復不可能なエラー

1) 機械系の障害

機械系の障害を検出すると以下のメッセージが表示され、印刷動作が停止します。さらに、アラームが鳴動します。

- a) **ON**を押して、アラーム音を止めます。
- b) 電源を入れ直してください。この障害が再発したときは担当保守員にご連絡ください。

エラーNo.	エラー一覧
3 2 3 0	ATDC High異常
3 2 3 1	ATDC Low異常
3 2 3 2	現像器異常
3 2 3 3	AIDC High異常
3 2 3 4	AIDC Low異常
3 2 3 5	AIDC Highテーブル外れ
3 2 3 6	AIDC Lowテーブル外れ
3 2 3 7	トナーマーク検出ミス
3 5 3 1	バースタ異常
3 5 3 2	イレーサランプ異常
3 5 3 3	スタッカ異常
3 5 3 4	SOS異常
3 5 3 5	PC駆動モータ異常
3 5 3 6	現像器モータ異常
3 5 3 7	プリンタヘッド異常
3 6 3 0	フラッシュ定着電源異常
3 6 3 1	フラッシュ充電異常
3 6 3 2	発光ミス
3 6 3 3	転写CH電源ショート
3 6 3 4	帯電CH電源ショート
3 6 3 5	分離CH電源ショート
3 6 3 6	位相センサ異常
3 6 3 7	リトラクション異常
3 7 3 0	トナーファン異常
3 7 3 1	オゾンファン異常
3 7 3 2	排気ファン異常
3 7 3 3	サクシオンモータ異常
3 7 3 4	サクシオンファン異常
3 7 3 5	定着部温度異常
3 7 3 6	電源を入れ直し、再度印刷してください *1
3 7 3 7	バイアス出力ショート
3 9 3 6	エンジンノットレディ
	データベースアクセス失敗
	何も表示されない。

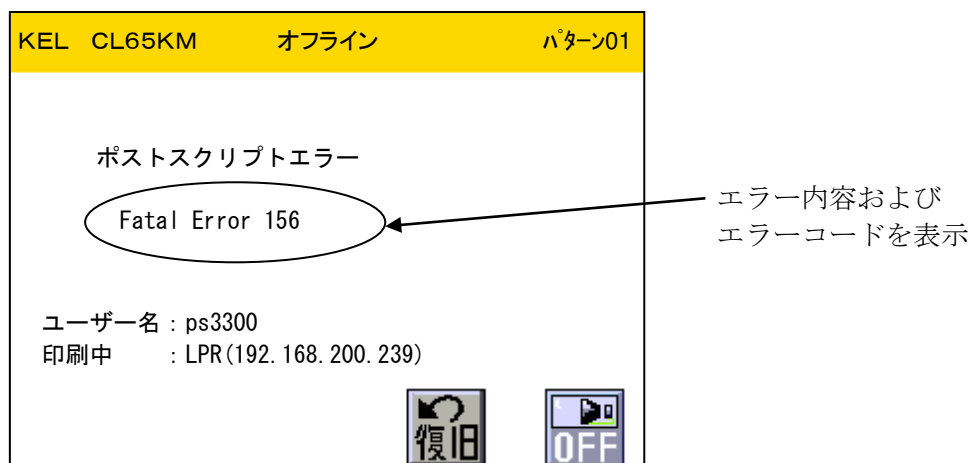
*1 プリンターエンジンとコントローラーのバージョンミスマッチ時に発生します。

3. 1 6 通信関係のアラームとエラー

通信関係にメッセージが発生した場合、表示部にその内容が表示されます。表示および内容について説明します。

3. 1 6 . 1 ポストスクリプト関係

印刷データ処理に問題が発生した時、メッセージが表示されます。

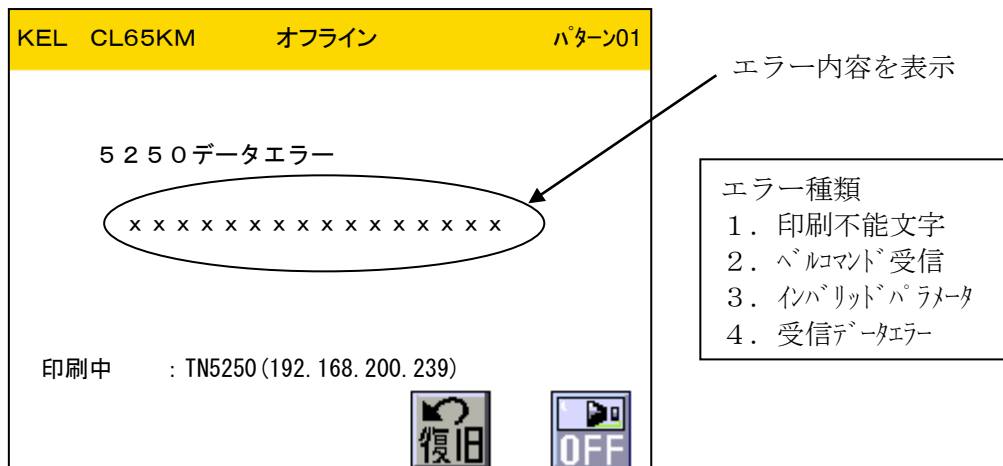


- 1) **ON** を押し、アラーム音を止めます。
- 2) **復旧** を押します。オフライン表示に戻ります。
- 3) 「ONLINE」スイッチを押します。問題が発生した部分を無効として印刷処理を続けます。

【注意】問題が発生した部分を無効としたことで以降の処理が正しく行えなくなり、期待した印刷結果とならない場合があります。

3. 1 6 . 2 5 2 5 0 エミュレーション関係 (IBM 接続オプション追加時)

5 2 5 0 データ処理に問題が発生した時、メッセージが表示されます。



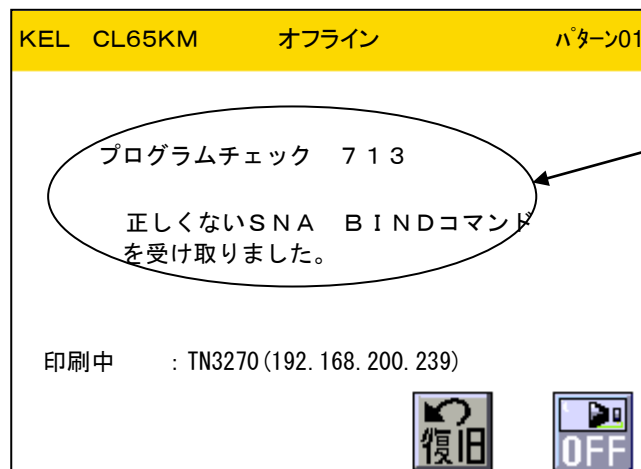
- 1) **ON** を押し、アラーム音を止めます。

発生したエラー内容で以降の操作が違います。表を参照してください。

項	エラー内容	処置
1	印刷不能文字	未定義の文字コードが検出されました。ホスト・コンピュータのプログラムにエラーがあるか、データが壊れているためにこの状態が発生しています。ホスト・コンピュータのプログラマーに相談してください。
2	ベルコマンド受信	転送データにベルコマンドを検出しました。ホスト・コンピュータの操作員に理由を問合わせてください。
3	インバリッドパラメータ	転送データに未定義の制御コードが検出されました。ホスト・コンピュータのプログラマーに相談してください。
4	受信データエラー	転送データ形式にエラーが検出されました。 復旧 を押してください。再発する場合は、担当保守員に連絡してください。

3. 16. 3 TN3270E関係 (IBM接続オプション追加時)

TN3270Eの処理上プログラムチェックが発生した時、メッセージが表示されます。



- 1) **OFF** を押し、アラーム音を止めます。

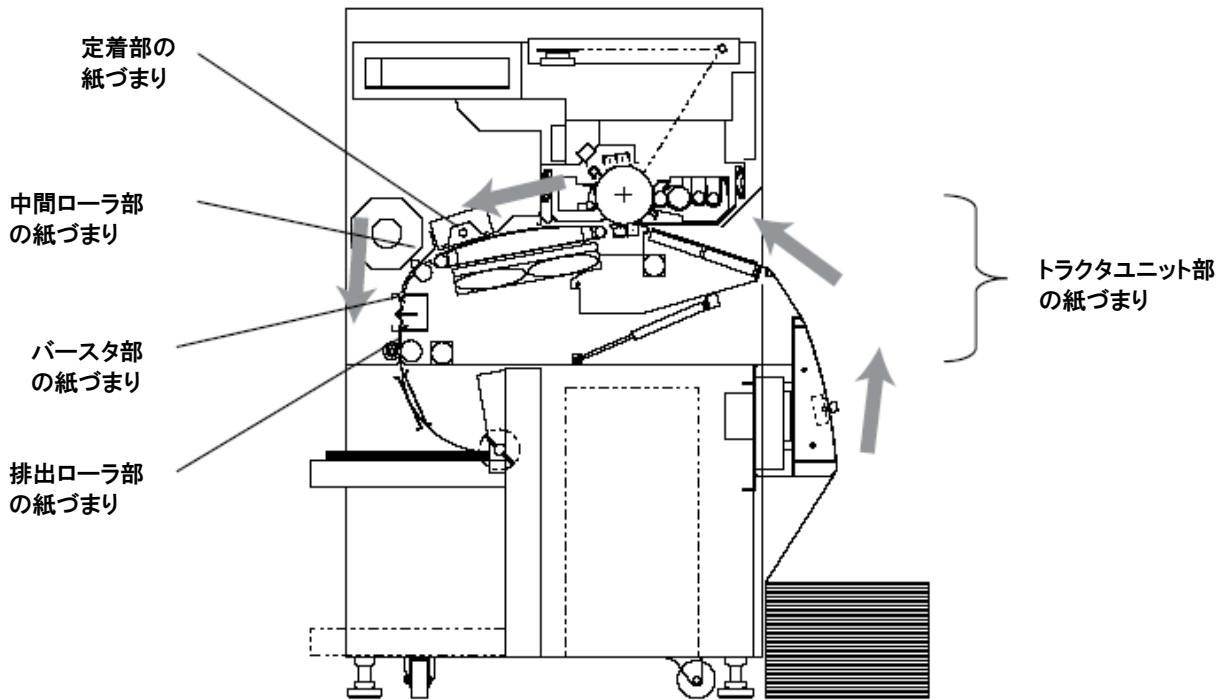
次ページのコード一覧の示す原因を訂正してください。再発する場合は、ホスト・コンピュータのプログラマーに連絡してください。

コード	主な原因
713	正しくないSNA BINDコマンドを受け取りました。
716	パラメータリストが不完全なSNA BINDコマンドを受け取りました。
723	正しくないLUタイプを指定したSNA BINDコマンドを受け取りました。
724	正しくないセッションサイズを指定したSNA BINDコマンドを受け取りました。
747	SCSデータ・ストリームのエラー
749	LUタイプ3で読み取り指令受信
750	正しくない3270コマンドを受け取りました。
752	SBA, RA, EUA副指令で無効なアドレスが指定されている。 MF副指令を属性以外のアドレスに対して受け取った。
753	読み取り指令、EUA指令のあとにデータを受け取った。 SFE, MF副指令で無効な属性または値が指定されている。 RA副指令で無効な反復文字が指定されている。 GEのあとに制御コードを受け取った。
754	SBA, RA, EUA, SF, SFE, GEまたは漢字コードの必要バイトを全部受け取る前にデータ・ストリームが終了した。
755	データ・ストリームに無効な副指令が受信された。
756	構造化フィールドにエラーがあった。
758	Set Reply Modeの指定が正しくない。
759	Set Reply Mode属性のタイプ指定が正しくない。 Read Partitionが最後の構造化フィールドではなかった。 構造化フィールドの長さの指定が正しくなかった。 構造化フィールドが完全に終了していない。 Read Partitionのタイプの指定が正しくない。
760	Set Reply Modeの属性バイトに誤りがある。
761	指定された区画が正しくない。
771	構造化フィールド内に無効な指令があります。
797	漢字サブフィールドにSOを受けた。SO/SIが対になっていない。
798	漢字フィールドの副指令または制御コードに誤りがあった。 漢字フィールドにSO/SIを書き込もうとした。
799	漢字フィールドまたは漢字サブフィールド内にデータを書き込もうとしたが、アドレス指定が正しくない。 漢字フィールドか漢字サブフィールドに停止アドレスがくるが、その指定が正しくない。 (上のいずれの場合も、アドレスが属性文字またはSOの直後から奇数番地目を指していない)

2) **復旧**を押します。オフライン表示に戻ります。

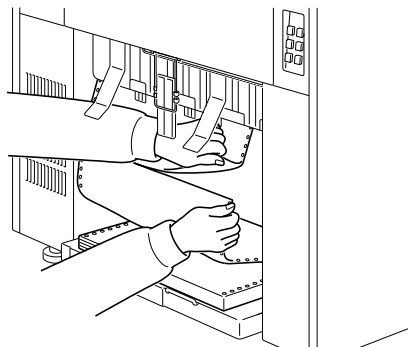
3. 1 7 紙づまりの処置

紙づまり（用紙ジャム）が検出されると、パネルに紙づまりの発生位置を示すメッセージおよび点検箇所が表示され、印刷が停止します。さらに、アラームが鳴動します。表示する各部（トラクタユニット部、定着部、中間ローラ部、バースタ部、排出ローラ部）を開き、確認してください。

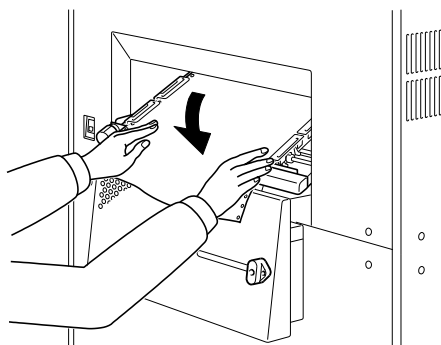


3. 1 7. 1 紙づまり（基本）

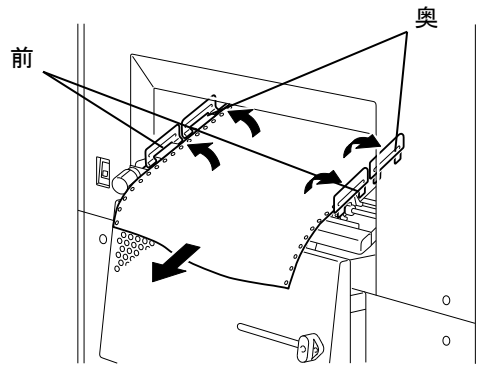
- 1) パネルの **ON** を押し、アラーム音を止めます。
- 2) 排紙部の直後にある用紙のミシン目を切って、排紙済みの用紙と装置内の用紙を切り離します。



- 3) トラクタユニットを両手で押し下げます。

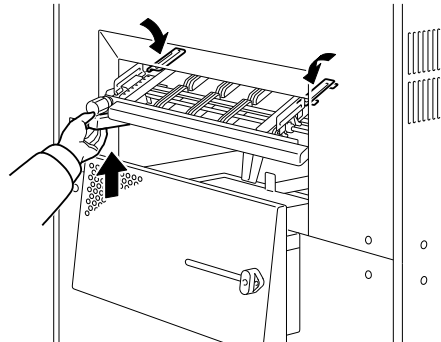


- 4) トラクタ前カバー（右、左）、トラクタ奥カバー（右、左）を開いて、詰まった用紙を引き抜きます。



- 5) トラクタ奥カバー（右、左）を閉じ、トラクタセットレバーを上げます。

【注意】・トラクタ奥カバー（右、左）を開けたままトラクタセットレバーを上げると、トラクタ奥カバーを破損する場合があります。必ずトラクタ奥カバー（右、左）を閉じてからトラクタセットレバーを上げてください。



- ・紙づまり処理後の再印刷で用紙汚れが発生した場合、EPホルダを引き出し、底板の清掃を行ってください。
- ・底板清掃時には、感光体分離爪に触らないようにしてください。

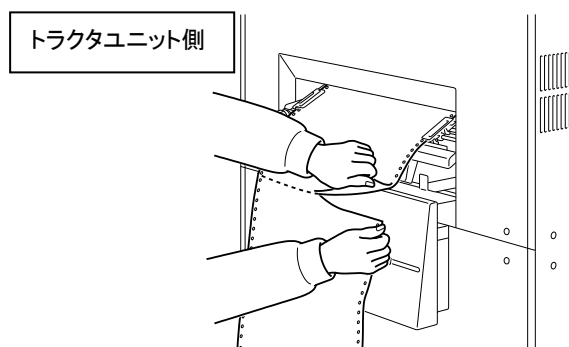
- 6) パネルの復旧を押します。

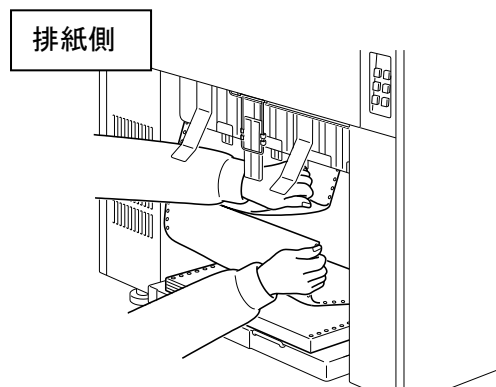
3. 17. 2 紙づまり（各部）

基本の対処で紙づまりを除去できない場合、以下の手順で対処してください。

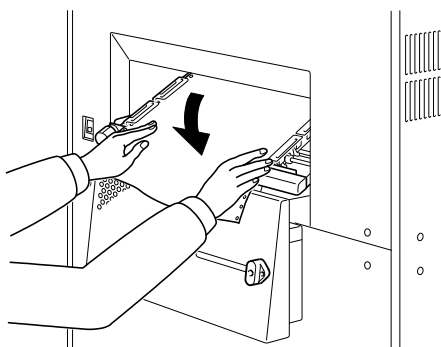
【注意】用紙上の未定着トナーによって、装置内を汚す恐れがありますので、詰まった用紙を取り除くときは必ず給紙される方向に引き抜くようにしてください。

- 1) トラクタユニットの直前にある用紙と、排紙部の直後にある用紙のミシン目を切って、未給紙の用紙、排紙済みの用紙と装置内の用紙を切り離します。

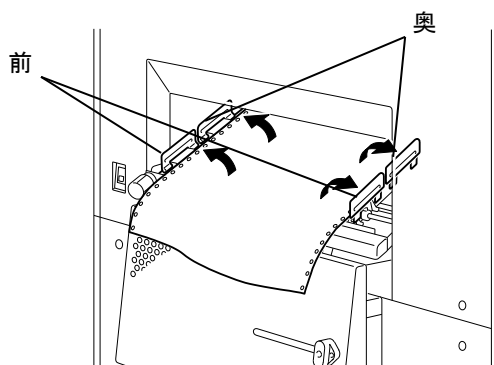




2) トラクタユニットを両手で押し下げます。

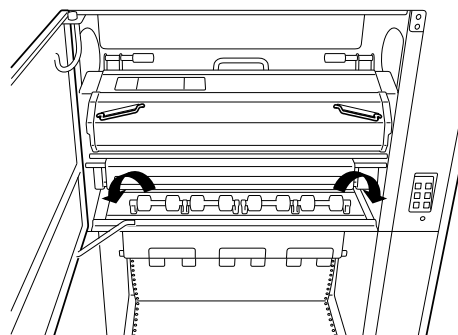


3) トラクタ前カバー（右、左）、トラクタ奥カバー（右、左）を開きます。

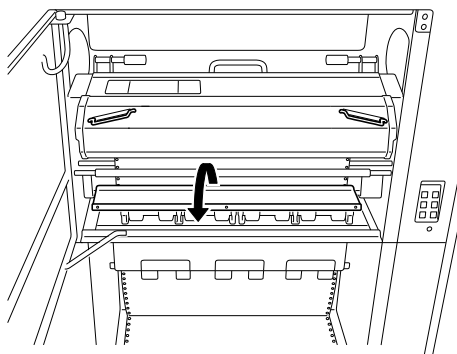


4) レフトサイドドアを開きます。

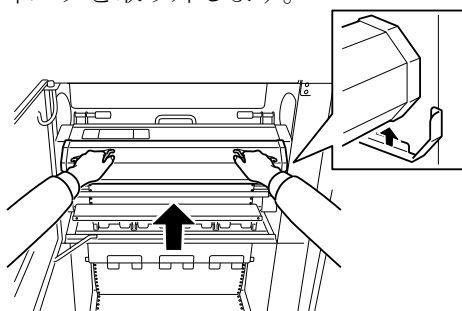
5) 排出ローラ部、両側握り（緑部）を持ち開きます。



6) バースタ部、中央の緑部分を摘み開きます。



7) 定着トナーフィルタを取り外します。



8) 中間ローラ部を開きます。

9) 定着ユニットを固定している左右のネジ（2本）を緩め、取っ手を持って定着ユニットを開きます。

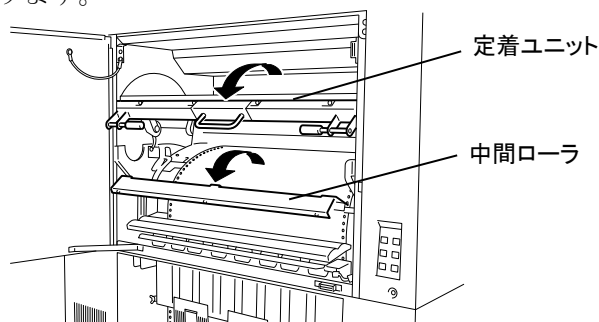


注意

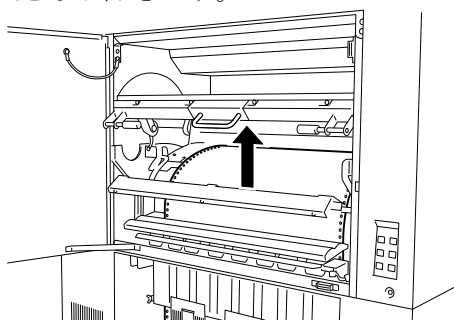


高温注意 装置の電源を切断後でも、温度が下がるまで高温部には触れないようにしてください。火傷のおそれがあります。

【注意】紙づまりを処理する際に定着ガラスをトナー等で汚さないようにしてください。汚れてしまったときは清掃してください。定着ガラスの清掃は温度が下がるまでお待ちください。火傷、ガラス破損のおそれがあります。

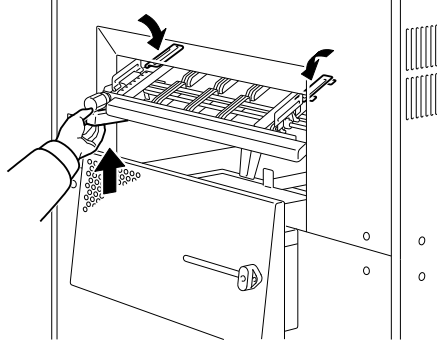


10) 詰まった用紙を取り除きます。



- 1 1) 各パーツを閉じ、定着トナーフィルタを取り付けます。
- 1 2) トラクタ奥カバー（右、左）を閉じ、トラクタセットレバーを上げます。

【注意】トラクタ奥カバー（右、左）を開けたままトラクタセットレバーを上げると、トラクタ奥カバーを破損する場合があります。必ずトラクタ奥カバー（右、左）を閉じてからトラクタセットレバーを上げてください。

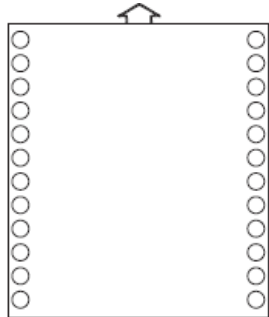


- 1 3) パネルの復旧を押します。

3. 1 8 画像障害

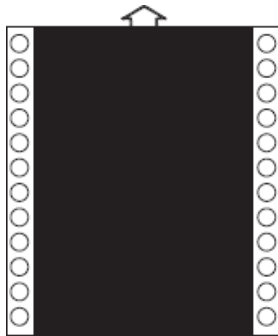
故障かな?と思えるような印刷画像が出てきた場合に以下の処置を行ってください。
ここに書かれた処置を行っても印刷画像が回復しないときは、担当保守員にご連絡ください。

1) 白紙印刷



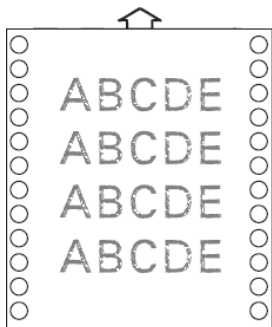
項	確認項目	結果	処置
1	感光体はセットされていますか	NO	セットします
2	現像剤はセットされていますか	NO	セットします
3	転写チャージャユニットはセットされていますか	NO	セットします

2) 黒ベタ印刷



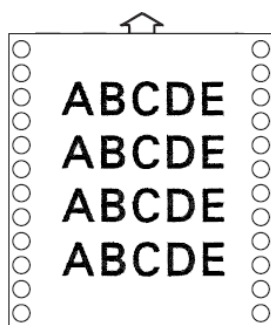
項	確認項目	結果	処置
1	メインチャージャユニットはセットされていますか	NO	セットします

3) 画像が薄い



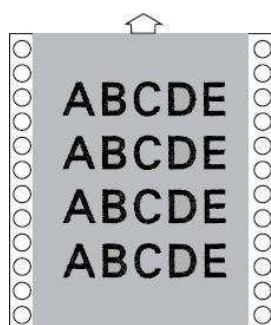
項	確認項目	結果	処置
1	用紙が吸湿していますか	YES	用紙を交換します
2	感光体は寿命ですか	YES	交換します
3	画像濃度設定は正しいですか	NO	正しく設定します
4	定着ガラスは汚れていますか	YES	清掃します
5	AIDCセンサは汚れていますか	YES	清掃します
6	定着ランプは寿命ですか	YES	交換します
7	転写チャージャユニットは汚れていますか	YES	清掃します

4) 画像が濃い



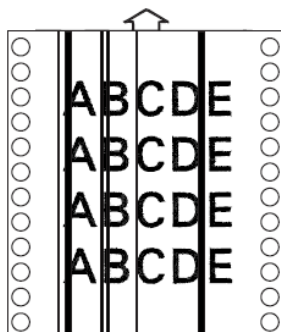
項	確認項目	結果	処置
1	感光体が寿命ですか	YES	交換します
2	画像濃度設定は正しいですか	NO	正しく設定します

5) 画像カブリ



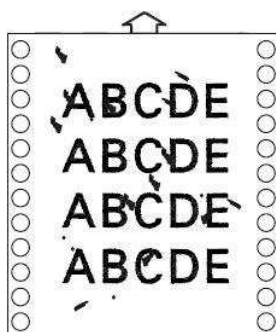
項	確認項目	結果	処置
1	装置内に直射日光等の外光が入っていませんか	YES	外光等が装置内に入らないようにします
2	感光体は寿命ですか	YES	交換します

6) 黒スジ、黒帯



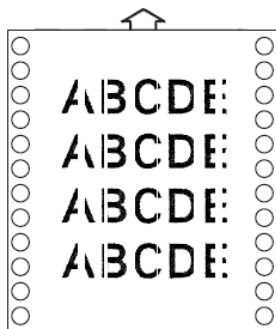
項	確認項目	結果	処置
1	メインチャージャは清掃しましたか	NO	チャージャ清掃レバー(上)で清掃します
2	感光体上に傷、汚れがありますか	YES	清掃または交換します
3	クリーナブレードのめくれ、劣化はありますか	YES	交換します

7) 黒点



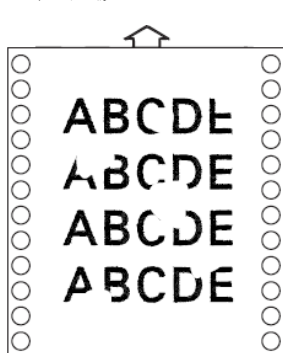
項	確認項目	結果	処置
1	感光体上に傷、汚れがありますか	YES	清掃または交換します
2	現像器内に、トナーの固まり等がありますか	YES	清掃または交換します

8) 白スジ、白帯



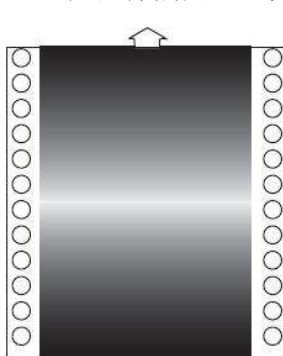
項	確認項目	結果	処置
1	転写チャージャは清掃しましたか	NO	チャージャ清掃レバー(下)で清掃します
2	感光体上に傷、汚れがありますか	YES	交換します

9) 白抜け



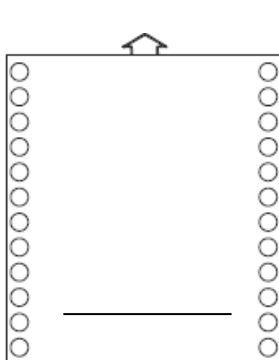
項	確認項目	結果	処置
1	トラクタの用紙設定がゆるすぎませんか	YES	トラクタの用紙幅を再調整します
2	用紙が吸湿していますか	YES	用紙を交換します
3	用紙種類設定は正しいですか	NO	正しく設定します
4	転写チャージャユニットは正しくセットされていますか	NO	正しくセットします

10) 画像濃度ムラ、傾斜



項	確認項目	結果	処置
1	用紙が吸湿していますか	YES	用紙を交換します
2	現像器は正しくセットされていますか	NO	正しくセットします
3	PCカートリッジは正しくセットされていますか	NO	正しくセットします

11) 汚れ



項	確認項目	結果	処置
1	用紙セット直後の印刷で、1枚目または2枚目ですか	YES	用紙セット後、排紙ローラまで(22インチ)FEEDキーで用紙を送ってから印刷してください。

3. 1 9 清掃

本装置を長時間使用していると、プリンター内部に紙粉が積もり、本体にトナーが付着します。常に最良の条件でご使用いただくために、定期的にプリンター内部の清掃を行ってください。

1) 清掃道具

清掃する際には、以下のものを用意します。

道具	使用法	備考
クリーニングブラシ	紙粉や少量のトナー汚れを払います。	付属品
クリーニングクロス	紙粉や少量のトナー汚れを拭き取ります。	付属品
ワイヤクリーナ	清掃用に本機に内蔵されています。	付属品

2) 清掃周期

名称	周期	使用工具
トラクタユニット	始業時	乾いた布、ブラシ
定着ガラス	始業時	水でぬらした布 乾いた布
メインチャージャ針電極	50,000枚	実装クリーナ（手動）
転写・分離・チャージャワイヤ	50,000枚	実装クリーナ（手動）
AIDCセンサ	50,000枚	乾いた綿棒

- 【注意】
- ・清掃作業前に、危険防止のため必ず電源を切断してください。
 - ・各帯電器の帯電線を切断しないように注意してください。
 - ・紙粉などのゴミを現像器に落とさないように注意してください。
 - ・感光体の表面を傷つけないように注意して下さい。

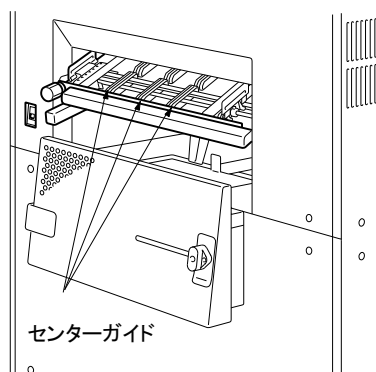
3) トナー汚れ

トナー汚れは、以下の方法で落とします。

場所	処置
プリンター内	乾いた布で拭き取ります。
手	乾いた布で軽く拭き取り、セッケンで洗います。
衣服	掃除機で吸い取り、洗濯をします。

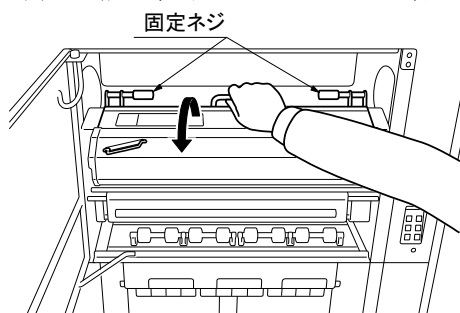
3. 1 9. 1 トラクタユニットの清掃

- ・トラクタユニットのセンターガイド側を乾いた布で清掃してください。
- ・トラクタユニットのまわりの紙粉をブラシで清掃してください。

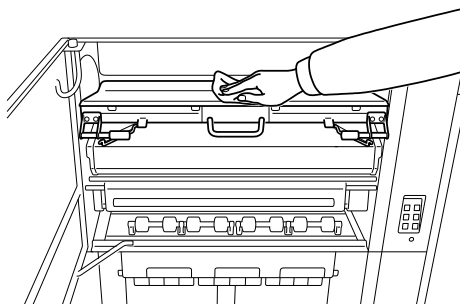


3. 1 9. 2 定着ガラスの清掃

- 1) レフトサイドドアを開けます。
- 2) 定着トナーフィルタを取り外します。
- 3) 固定ネジ（2本）を緩め、取っ手を持って定着ユニットを開きます。



- 4) 定着ガラスを水で濡らして固く絞った布で、汚れを拭き取ります。トナーが固まっている場合は、中性洗剤を使用します。

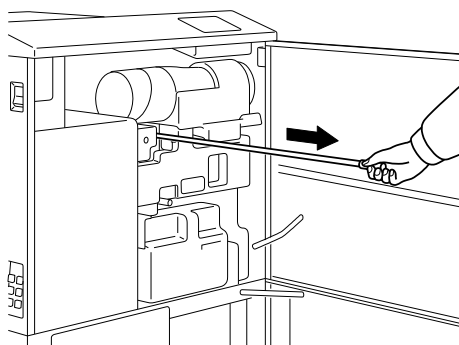


- 5) 定着ユニットを閉じ、固定ネジ（2本）を締め定着トナーフィルタを元の位置に戻します。
- 6) レフトサイドドアを閉めます。

3. 1 9. 3 チャージャの清掃

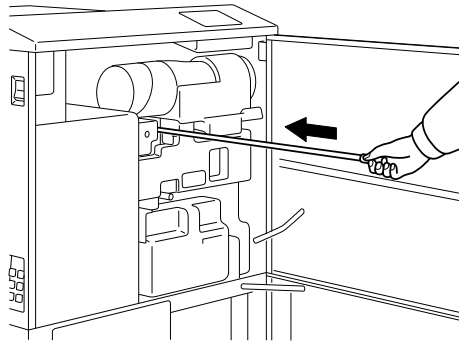
- 1) フロントアップパードアを開けます。
- 2) チャージャ清掃レバー（上）を引き出せるところまでゆっくり引き出します。

【注意】 チャージャ清掃レバーを引き出す時、または押し込む時は レバーが曲がらないようにしてください。

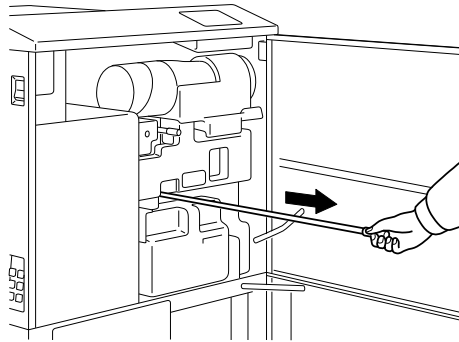


- 3) チャージャ清掃レバー（上）を元の位置まで押し込みます。

【注意】 チャージャ清掃レバー（上）の押し込みが不完全な場合、黒スジ等の画像不良が発生します。

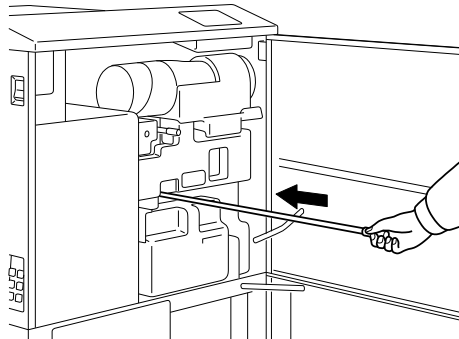


- 4) 2), 3)の動作を3回繰り返します。
 5) チャージヤ清掃レバー（下）を引き出せるところまでゆっくり引き出します。



- 6) チャージヤ清掃レバー（下）を元の位置まで押し込みます。

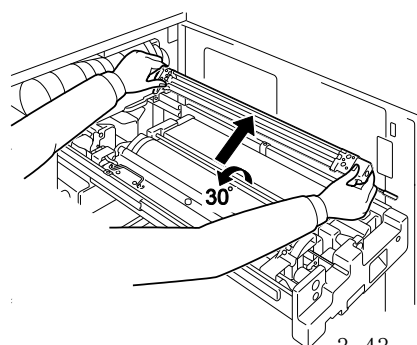
【注意】 チャージヤ清掃レバー（下）の押し込みが不完全な場合、印字カスレ等の画像不良が発生します。



- 7) 5), 6)の動作を3回繰り返します。
 8) フロントアップパードアを閉めます。

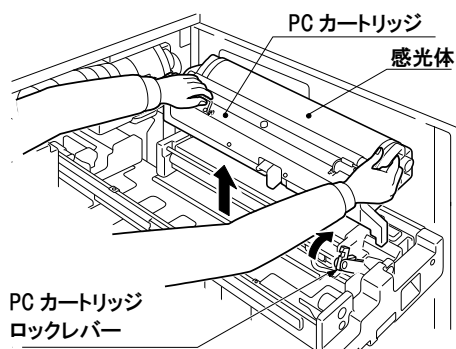
3. 1 9. 4 A I D Cセンサの清掃

- 1) フロントアップパードアを開けます。
 2) E Pホルダを引き出せるところまでゆっくり引き出します。
 3) メインチャージヤユニットを30°持ち上げ、現像器側に取り外します。



- 4) PCカートリッジロックレバーをはずします。(緑色部分を上にあげる)
次にPCカートリッジを取手とプラスチック部を持ち、取り外します。

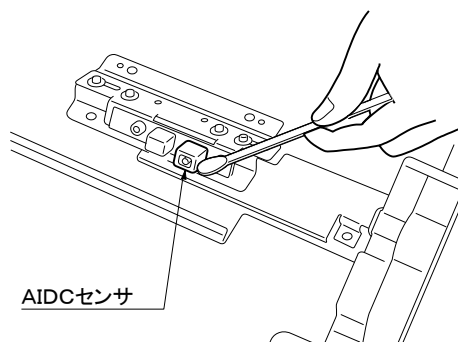
【注意】・感光体を傷つける恐れがありますので、感光部には触らないようにしてください。PCカートリッジは、平らな場所に置いてください。
・感光体が劣化しますので、長時間光にあてないように付属品のクリーニングクロス等で遮光してください。



- 5) 現像器を取り外します。

【注意】現像器内のトナーがこぼれないようにしてください。

- 6) AIDCセンサの汚れを乾いた綿棒等でふきとります。



- 7) 現像器をもとの位置に戻します。

【注意】現像器内のトナーがこぼれないようにしてください。

- 8) PCカートリッジをもとの位置に戻し、PCカートリッジロックレバーを確実にロックします。

【注意】感光体を傷つける恐れがありますので、必ず現像器→PCカートリッジの順番で取り付けてください。

- 9) メインチャージャユニットをもとの位置に戻します。

【注意】・PCカートリッジ前後の位置決めピンにチャージャユニットが入っていることを確認してください。

- 10) 接触がないことを確認しながら、EPホルダをもとの位置までゆっくり差し込みます。

【注意】・PCカートリッジロックレバーがロックされているか確認してください。ロックせずにEPホルダを差し込むと、PCカートリッジロックレバーが破損する恐れがあります。

1 1) フロントアッパードアを閉めます。

このページは、白紙となっています。

第 4 章

消 耗 品 交 換

KEL CL65KM

4. 1	トナーボトルの交換.....	2
4. 2	廃棄トナーボトルの交換.....	4

4. 1 トナーボトルの交換

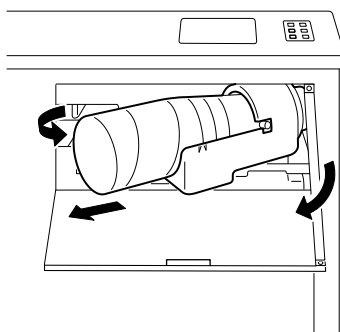
以下の手順にてトナーボトルを交換します。

- 1) フロントアップパードアにあるトナーボトルドアの中央付近を軽く押して開けます。

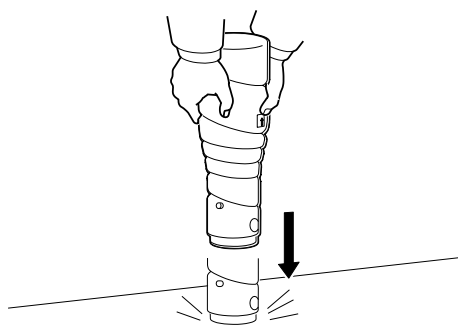
【注意】 フロントアップパードアを開けても同様にトナーボトル交換ができますが、こちらを開けるとエラー扱いとなり、印刷障害の原因となる場合があります。トナーボトルの交換は、トナーボトルドアの使用を推奨します。

- 2) トナーボトルが回転していないことを確認し、トナーカートリッジを手前に開き、トナーボトルを引き抜きます。

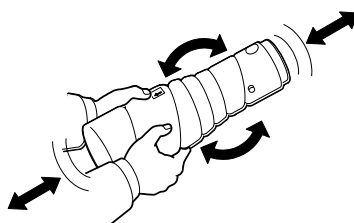
【注意】 トナーボトルが引き抜けない場合、トナーボトルホルダの□印が合っていない位置で止まっています。フロントアップパードアを開けて作業している場合は、フロントアップパードアを一度閉じ、正しい位置にしてからトナーボトルを引き抜きます。



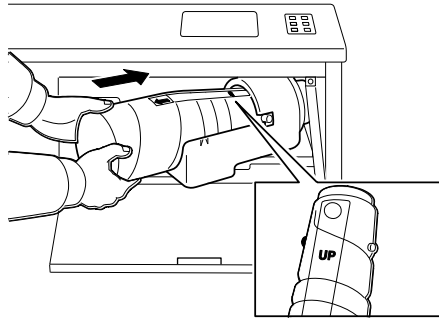
- 3) 新しいトナーボトルを、矢印を上向きにして5～10cmの高さから、机などの堅いものの上に落とします。次に、矢印を下向きにして5～10cmの高さから机などの堅いものの上に落とします。



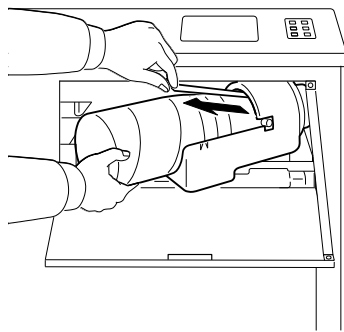
- 4) トナーボトルの上下を5回ひっくり返します。



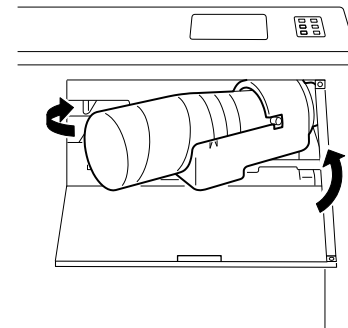
- 5) トナーボトルのUP表示を上に向け、トナーボトルホルダに差し込みます。トナーボトルにある縦ラインと、トナーボトルホルダの△印が合っていることを確認します。



- 6) トナーボトル上面のシールをゆっくりと引き抜きます。



- 7) トナーカートリッジを元の位置に戻します。



- 8) トナーボトルドアの中央付近を軽く押してトナーボトルドアを閉めます。

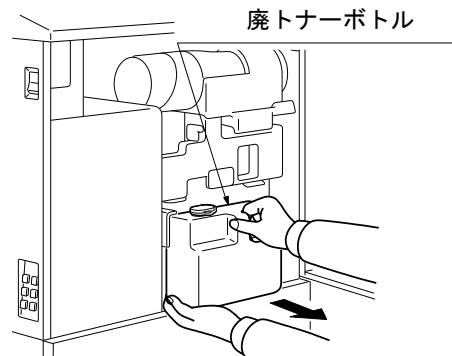
4. 2 廃棄トナーボトルの交換



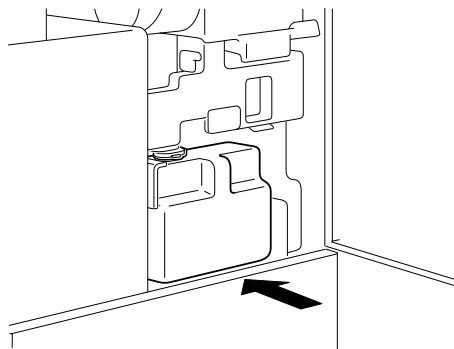
破 裂 使用済みのトナーは絶対に火の中に入れてください。破裂するおそれがあります。廃却時は不燃物の扱いにしてください。

以下の手順に従い廃棄トナーボトルを交換します。

- 1) フロントアッパードアを開けます。
- 2) 廃棄トナーボトルを取り外し、中のトナーがこぼれないようにキャップを締めます。



- 3) 新しい廃棄トナーボトルを取り付けます。



- 4) フロントアッパードアを閉めます。

第 5 章

W e b 設 定

KEL CL65KM

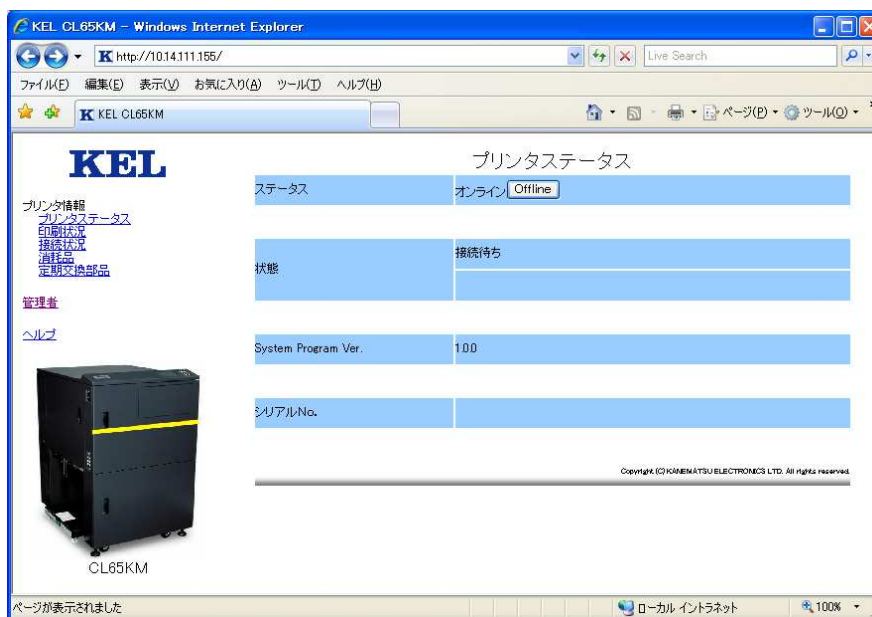
5. 1	初期画面.....	5-2
5. 2	印刷状況.....	5-3
5. 3	接続状況.....	5-4
5. 4	消耗品.....	5-4
5. 5	定期交換部品.....	5-5
5. 6	管理者.....	5-5
5. 7	共通/エミュレーション項目.....	5-6
5. 8	共通項目.....	5-7
5. 9	TN5250E Session (IBM接続オプション追加時).....	5-11
5. 10	TN3270E Session (IBM接続オプション追加時).....	5-13
5. 11	LPR5250 (IBM接続オプション追加時).....	5-17
5. 12	ネットワーク項目.....	5-18
5. 13	パスワード変更.....	5-19
5. 14	外字管理.....	5-19
5. 15	印刷管理.....	5-20
5. 16	保守項目.....	5-21
5. 17	電源管理.....	5-23
5. 18	オプション項目.....	5-24
5. 19	印刷ログ.....	5-25
5. 20	接続ログ.....	5-25
5. 21	イベントログ.....	5-25

5. 1 初期画面

Webブラウザを起動し、アドレスにKEL CL65KMのIPアドレスを入力します。
 (DNSサーバーやhostsファイルに登録されている場合は、その名前を入力してください。)

初期画面では、現在のプリンターの状態を表示します。

【注意】 この画面はプリンターの最新状態を表示するために、10秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。



【プリンタステータス】

項目	解説
ステータス	現在のプリンターのステータスを表示します。 ステータスには以下の種類があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期化中 ・ オンライン ・ オフライン ・ 復旧可能エラー ・ 復旧不能エラー ・ シャットダウン また、オンライン、オフライン時は Offline、Online 操作を行う事ができます。
状態	現在のプリンターの状態を表示します。 上段には、プリンターの状態、下段には現在接続中のセッション名が表示されます。
System Program Ver.	System Program Version を表示します。
シリアル No.	CL65KM のシリアル No. を表示します。

5. 2 印刷状況

Web画面上の「印刷状況」をクリックすると、プリンターの印刷状況を表示します。印刷中のセッション、印刷待ちのセッション名、状況、送信元IPアドレス、ユーザー名、ファイル名等を表示します。

【注意】この画面は最新状況を表示するために、10秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。

クリックします



The screenshot shows the web interface for the KEL CL65KM printer. The browser window title is 'KEL CL65KM - Windows Internet Explorer'. The address bar shows 'http://10.14.111.155/'. The page content includes the KEL logo, a navigation menu on the left, and a main section titled '印刷状況' (Print Status). The '印刷状況' section contains a table with the following data:

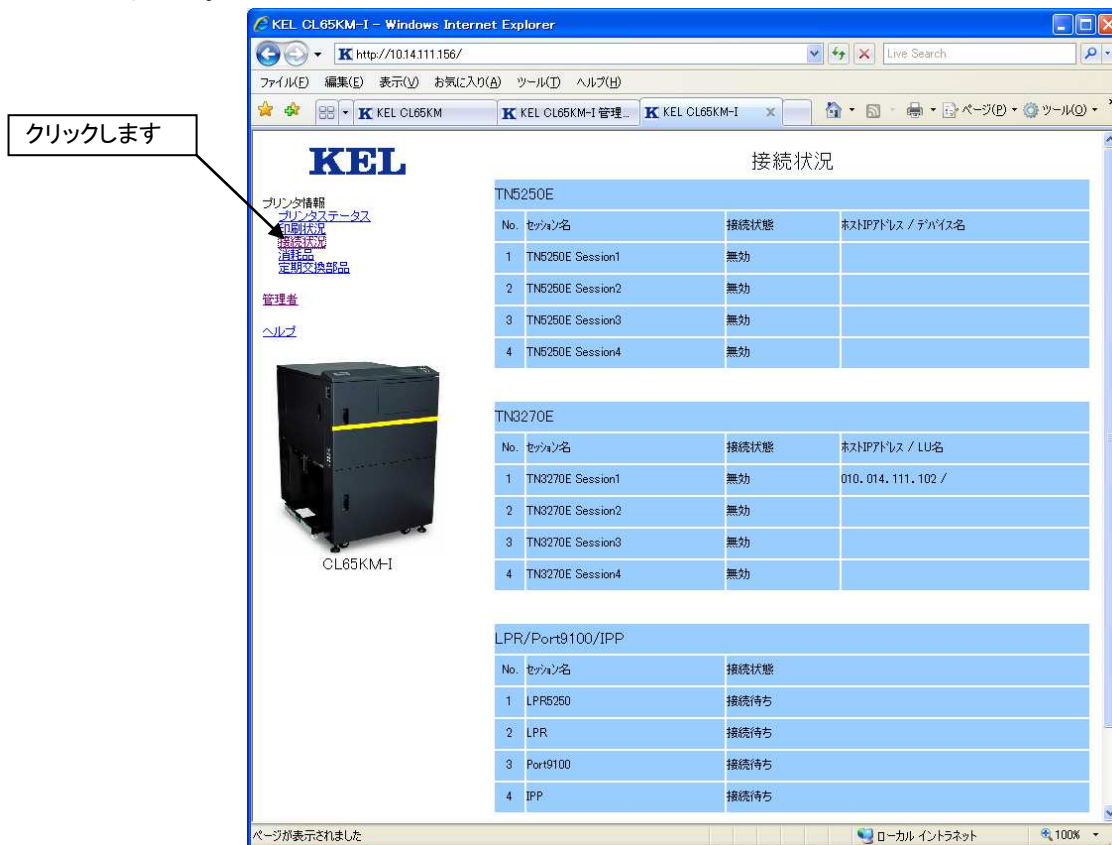
セッション	状況	IPアドレス/ユーザー名/ファイル名
1	LPR	印刷中
2	LPR	印刷待ち

The table also includes columns for IP address, user name, and file name, with values like '1014.111.102 / knagai / toropicalcard.ps' and '1014.111.102 / knagai / flower.ps'. A callout box labeled 'クリックします' points to the '印刷状況' link in the left navigation menu. The printer model 'CL65KM' is shown at the bottom of the page.

5.3 接続状況

Web画面上の「接続状況」をクリックすると、プリンターの接続状況を表示します。各エミュレーション、各セッションの接続状況を表示します。

「通信チェック」等の通信上のエラーが発生している場合にはシステム管理者にお問合せ下さい。



5.4 消耗品

Web画面上の「消耗品」をクリックすると、プリンターの消耗品の使用率を表示します。

寿命間近な消耗品は早めに準備して下さい。また、寿命に達している消耗品は「第4章 消耗品交換」に従い交換して下さい。



5. 5 定期交換部品

Web画面上の「定期交換部品」をクリックすると、プリンターの定期交換部品使用率を表示します。定期交換部品が寿命に達している場合は、担当技術員に連絡してください。



5. 6 管理者

プリンターの各種設定を行う場合、「管理者」をクリックします。管理者にはパスワードが必要となります。パスワードを入力し「ログイン」を押してください。

- 【注意】
- ・パスワードは出荷時、“kanematsu”となっています。
 - ・この機能を使用する場合は、クッキーを有効にしてください。クッキーを無効の設定もしくはクッキーに対応していないブラウザではログインすることはできません。



5.7 共通/エミュレーション項目

設定値をパターンとして16パターン設定することができます。そのパターンの選択、および設定されているパターンの初期化、全パターンの初期化等を行うことができます。また、各セッションの状態を表示します。

ここでセッションを選択（クリック）することで設定へ進むことができます。

【注意】各セッションの状態表示は最新ではありません。最新の状態を確認する場合、ブラウザの「再読込」をクリックして最新の状態を再読込してください。



【共通/エミュレーション項目】

項目	解説
設定パターン	<ul style="list-style-type: none"> パターンの選択および表示します。ここで選択したパターンに各設定値が登録されます。また、操作パネルで行うパターン選択のパターンと関連しています。 選択したパターンを パターン初期化 で初期化します。 16パターン全てを 全パターン初期化 で初期化します。 デフォルト値：パターン1 【注意】印刷中に設定変更は行わないでください。
TN5250E	TN5250E 4セッションの状態を表示します。 各セッションにリンクし、ネットワーク項目/印刷項目の設定を行います。（「5.9 TN5250E Session」を参照）
TN3270E	TN3270E 4セッションの状態を表示します。 各セッションにリンクし、ネットワーク項目/印刷項目の設定を行います。（「5.10 TN3270E Session」を参照）

項目	解説
LPR/Port 9100/IPP	LPR5250, LPR, Port 9100, IPPの状態を表示します。LPR5250にリンクし、印刷項目の設定を行います。 (「5.11 LPR5250」を参照)

5.8 共通項目

共通/エミュレーション項目の[共通項目]をクリックすると、全般的な印刷や動作に関する共通項目設定に移動します。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、**実行** をクリックして設定を反映してください。
 - ・**初期化の実行** をクリックすると、現在設定されているパターンの共通項目をデフォルト値の設定に戻します。

【印刷項目】

項目	解説								
設定パターン	現在選択されている設定パターンを表示します。 ここからの設定パターン変更は行えません。共通/エミュレーション項目の画面から行ってください。								
帳票名	各設定パターンに帳票名を登録することができます。 ANKで20文字、漢字で10文字以内で名前を登録してください。								
拡張コマンド	5250, 3270接続時、拡張コマンドの使用を指定します。 ・OFF：拡張コマンドは無効 ・!#%：文字列!#%をESCとして扱います。 ・!@&：文字列!@&をESCとして扱います。 デフォルト値：OFF								
用紙種類	使用する用紙の種類を設定します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>薄紙</td> <td>52～70 Kg</td> </tr> <tr> <td>普通紙</td> <td>70～125 Kg</td> </tr> <tr> <td>タグ紙</td> <td>125～180 Kg</td> </tr> <tr> <td>特殊紙</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイングガイド使用時は、薄紙に設定してください。 薄紙以外を設定した場合、スイングガイドの故障の原因になります。 	薄紙	52～70 Kg	普通紙	70～125 Kg	タグ紙	125～180 Kg	特殊紙	-
薄紙	52～70 Kg								
普通紙	70～125 Kg								
タグ紙	125～180 Kg								
特殊紙	-								
用紙の回転	アプリケーション側で印刷の向きが優先される場合、プリンター側で印刷の向きを変更します。 ・OFF：アプリケーションの設定を優先します。 ・右に90°：用紙を右に90°回転して印刷します。 ・左に90°：用紙を左に90°回転して印刷します。 デフォルト値：OFF 【注意】								

項目	解説
白紙節約	<p>白紙ページの印刷データを印刷しないようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ON : 白紙節約機能を使用します。 ・OFF : 白紙節約機能を使用しません。 <p>デフォルト値 : OFF</p> <p>【注意】 以下の、設定で白紙を付加する機能は白紙節約の対象外です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バースタ ON (2枚目カット) ・用紙安定 ON ・白紙付加設定 0以外
用紙長	<p>使用する用紙の長さを設定します。</p> <p>有効値 : 5~24 インチ (0.5 インチ単位) デフォルト値 : 11 インチ</p>
用紙幅	<p>使用する用紙の幅を設定します。</p> <p>有効値 : 6~18 インチ (0.1 インチ単位) デフォルト値 : 15 インチ</p> <p>【注意】 用紙送り用トラクタ穴の部分も含んだサイズを設定してください。</p>
上マージン	<p>上マージンを設定します。</p> <p>設定範囲 : 0~99 mm (0.2mm 単位) デフォルト値 : 0 mm</p> <p>【注意】 ミシン目の前後 4.2 mm の範囲は印刷品質保証されません。</p>
左マージン	<p>左マージンを設定します。</p> <p>設定範囲 : 0~99 mm (0.2mm 単位) デフォルト値 : 5 mm</p>

【動作項目】

項目	解説
バースタ	<p>印刷終了 (JOB の終了) 後、自動で用紙カットを行うか設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ON : 用紙カットを行う。 ・ON (2枚目カット) : ジョブの内容が1ページで、スイングガイドを使用する場合、用紙ジャムを避けるために白紙を1ページ追加して2ページ目をカットします。 ・OFF : 用紙カットしません。 <p>デフォルト値 : OFF</p>
用紙安定	<p>用紙をロードした直後の印刷で、1ページ目と2ページ目以降において、用紙が安定しない場合があります。その場合、この設定をONにしてください。用紙をロードした直後のみ、印刷する前に1ページ白紙ページを印刷し、以降の用紙が安定するようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ON : 用紙安定機能を使用します。 ・OFF : 用紙安定機能を使用しません。 <p>デフォルト値 : OFF</p> <p>【補足】 ON設定で以下の条件の時、白紙ページを印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源を投入したとき ・用紙をロードしたとき (印刷の途中で用紙切れや用紙ジャムが発生し、用紙を再ロードしたときも含む) ・バースタ (用紙カット) 設定でジョブ完了後、自動的に用紙をカットしたとき <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・装置の構造上、ON設定でも用紙が安定しない場合があります。 ・印刷完了後、パネルスイッチでFEEDやCUTスイッチを押したときは、白紙ページは追加されません。

項目	解説																						
ブザー	<p>異常発生時にブザーを鳴らすか設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ON : 鳴らす。 ・OFF : 鳴らさない。 <p>デフォルト値：ON</p> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OFF設定でもタッチパネルのキー確認音は止まりません。 																						
サクシオンファン	<p>サクシオンファンの強度を設定します。下記の表を参考に設定をして下さい。</p> <table border="1" data-bbox="507 533 1385 779"> <thead> <tr> <th>サクシオンファン</th> <th>用紙</th> <th>サイズ</th> <th>重さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>厚紙</td> <td>18" x 11"</td> <td>135Kg</td> </tr> <tr> <td>タグ紙</td> <td>18" x 11"</td> <td>152Kg</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>薄紙</td> <td>18" x 11"</td> <td>55Kg</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">8</td> <td>薄紙</td> <td>15" x 11"</td> <td>55Kg</td> </tr> <tr> <td>ラベル紙</td> <td>13" x 12"</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>デフォルト値：4</p>	サクシオンファン	用紙	サイズ	重さ	1	厚紙	18" x 11"	135Kg	タグ紙	18" x 11"	152Kg	4	薄紙	18" x 11"	55Kg	8	薄紙	15" x 11"	55Kg	ラベル紙	13" x 12"	-
サクシオンファン	用紙	サイズ	重さ																				
1	厚紙	18" x 11"	135Kg																				
	タグ紙	18" x 11"	152Kg																				
4	薄紙	18" x 11"	55Kg																				
8	薄紙	15" x 11"	55Kg																				
	ラベル紙	13" x 12"	-																				
リバースモード	<p>通常では、印刷済みのページをカットした後、無駄な（白紙）ページが出るのを防ぐ為、用紙先端が印字開始位置に来るまで、用紙を逆方向にフィードします。特殊なラベル紙の場合、このリバース動作が紙づまりを引起す場合があります。このリバース動作を止めるかどうかの設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ON : 用紙カット後、用紙を逆方向にフィードします。 ・OFF : 用紙カット後、用紙の逆方向のフィードをしません。 <p>デフォルト値：ON</p> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙がかかっている状態でこの設定を変更すると、用紙ジャム等のエラーの原因になります。設定の変更は、用紙の掛け替え時等、用紙のかかっていない時に行ってください。 																						
分離チャージャ	<p>RFID タグ紙を印刷する場合（IC を破壊する恐れがある為）分離チャージャの電源のオン/オフを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ON : 分離チャージャを使用します。 ・OFF : 分離チャージャを使用しません。 <p>デフォルト値：ON</p>																						
濃度	<p>印刷濃度を5段階で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0.8 とても薄い ・0.9 薄い ・1.0 普通 ・1.1 濃い ・1.2 とても濃い <p>デフォルト値：1.0 普通</p>																						
トナーマーク	<p>印字濃度確認の為に、トナーマークを印刷するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ON : トナーマークを印刷します。（推奨設定） ・OFF : トナーマークを印刷しません。 <p>デフォルト値：ON</p> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OFF に設定した場合、印刷中は濃度をチェックしていないため、印刷物によっては濃度のばらつきが発生します。事前に十分なテストを行い、確認してください。また、濃度は用紙ロード時にチェックしますので、用紙ロード直後は印刷開始まで数十秒待たされます。 ・コンビニバーコードのように、濃度に影響があると不都合のある印刷をする場合にはON にする必要があります。 																						

項目	解説
白紙付加	<p>印刷を開始する前に白紙用紙を付加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙先頭時（0～9枚） デフォルト値：0枚 ・印刷再開時（0～9枚） デフォルト値：0枚 <p>【補足】 用紙先頭時に1～9を設定した時の動作 以下の操作および動作で白紙用紙を指定枚数付加して印刷を開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙をロードしたとき ・バースタ設定 ON（自動用紙カット）で用紙カットしたとき ・電源を投入したとき <p>印刷再開時に1～9を設定した時の動作 以下の操作および動作後、次に印刷するとき、白紙用紙を指定枚数付加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブの印刷が終了し停止したとき ・印刷終了後、パネルスイッチで用紙をカットしたとき ・印刷中にオフラインしたとき <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用紙の条件（長さ、幅、連量等）により、白紙用紙を付加する条件が異なります。十分なテストを行い、適切な設定を選択してください。 ・用紙の条件により白紙付加機能を設定しても、印字位置がずれる場合があります。 ・印刷中にオフラインで印刷を停止させた場合は、白紙付加の為リセット処理を行うため、白紙付加前のページが欠ける場合があります。 ・白紙用紙は、トータル（メカ）カウンタとしてカウントされます。

5. 9 TN5250E Session (IBM接続オプション追加時)

TN5250Eは、4セッション可能です。各セッションの設定は、共通/エミュレーション項目の[TN5250E Session]をクリックし、選択したセッションのネットワーク項目、印刷項目の設定を行います。

【注意】印刷項目は、パターンごとに設定する必要があります。

【ネットワーク項目】

項目	解説
有効/無効	<p>選択している TN5250E セッションを有効にする設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効：有効にします。 ・無効：無効にします。 <p>デフォルト値：無効</p> <p>【注意】無効を設定している場合、パラメータの設定がされていても使用できません。</p>
HOST IP アドレス	接続するホスト・コンピュータの IP アドレスを設定します。
ポート番号	<p>TCP/IP のポート番号を指定します。</p> <p>設定範囲：1 ～ 65, 535</p> <p>デフォルト値：23</p>
デバイス名	<p>印刷装置のデバイス名を定義します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。</p> <p>【使用可能文字】</p> <p>1 文字目 : A～Z、@、#、\$</p> <p>2 文字目以降 : A～Z、0～9、@、#、\$、_、.</p>
メッセージ待ち行列	<p>プリンターのメッセージが送られる待ち行列名を定義します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。</p> <p>メッセージ待ち行列はディスプレイ装置ごとに存在します。ディスプレイ装置自身と同じ名前が割り当てられます。</p> <p>ここで、ディスプレイ・セッションの名前を設定した場合には、このプリンターと関連したメッセージは、デフォルト待ち行列ではなく、設定したディスプレイ・セッションに送られます。</p> <p>メッセージ待ち行列は、メッセージキューとも呼称されます。</p> <p>デフォルト値：QSYSOPR</p> <p>【使用可能文字】</p> <p>1 文字目 : A～Z、@、#、\$</p> <p>2 文字目以降 : A～Z、0～9、@、#、\$、_、.</p>
メッセージ ライブラリ	<p>メッセージ待ち行列が入っているライブラリー名を定義します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。</p> <p>デフォルト値：*LIBL</p> <p>【使用可能文字】</p> <p>1 文字目 : A～Z、@、#、\$</p> <p>2 文字目以降 : A～Z、0～9、@、#、\$、_、.</p>
自動接続	<p>ホスト・コンピュータから切断要求がきて一度切断した場合、プリンター側から自動的に接続要求を発行するように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・する : 接続要求を発行する ・しない : 接続要求を発行しない <p>デフォルト値：しない</p>
Keep-Alive 周期	<p>Keep-Alive パケットを発行する周期を設定します。</p> <p>設定範囲：0～60 分</p> <p>デフォルト値：0 (発行しない)</p>

項目	解説
Keep-Alive タイムアウト	<p>設定した値により以下の動作を行います。</p> <p>0 : Keep-Alive パケットとして Nop を発行します。発行後 60 秒経過しても応答がないときセッションを切断します。その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。</p> <p>1～3600 秒 : Keep-alive パケットとして Timing-Mark を発行します。発行後、設定時間(秒)経過しても応答がないとセッションを切断します。その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。</p> <p>デフォルト値 : 0</p>

【印刷項目】

項目	解説
設定パターン	<p>現在選択されている設定パターンを表示します。 ここからの設定パターン変更は行えません。共通/エミュレーション項目の画面に戻り、行ってください。</p>
ANK フォント	<p>ANK フォントを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明朝 ・ゴシック ・OCR-B ・エリート ・クーリエ <p>デフォルト値 : 明朝</p>
漢字フォント	<p>漢字フォントを選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明朝 ・ゴシック <p>デフォルト値 : 明朝</p>
ANK テーブル	<p>ANK テーブルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英数カタカナ ・英数英小文字 ・英数カナ拡張 ・英小文字拡張 <p>デフォルト値 : 英数カタカナ</p>
SI/SO	<p>漢字モードを表す SI/SO 制御コードが、文字拡大指定範囲に含まれた場合、SI/SO 制御コードを拡大修飾するか選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大する ・拡大しない <p>デフォルト値 : 拡大する</p>
2UP	<p>用紙の進行方向に対して縦に分割し、1 枚の用紙に 2 ページを印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・ON <p>デフォルト値 : OFF</p> <p>【注意】 最大文字数設定がプリンターの印刷幅設定の 1 / 2 を超える場合、エラーメッセージが表示されます。 プリンターの印刷幅設定の 1 / 2 を超える部分は印刷されません。 マージンは右側のページにも反映されます。</p>
外字	<p>使用する外字ファイルを選択します。</p> <p>デフォルト値 : なし</p> <p>【注意】 外字ファイルの UP LOAD は外字管理より行います。</p>

5. 10 TN3270E Session (IBM接続オプション追加時)

TN3270Eは、4セッション可能です。各セッションの設定は、共通/エミュレーション項目の[TN3270E Session]をクリックし、選択したセッションのネットワーク項目、印刷項目の設定を行います。

- 【注意】
- ・下部の**リセット**をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、**実行**をクリックして設定を反映してください。
 - ・**初期化の実行**をクリックすると、現在設定されているパターンの共通項目をデフォルト値の設定に戻します。
 - ・印刷項目は、パターンごとに設定する必要があります。

【ネットワーク項目】

項目	解説
有効/無効	<p>選択している TN3270E セッションを有効にする設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有効：有効にします ・無効：無効にします <p>デフォルト値：無効</p> <p>【注意】 無効を設定している場合、パラメータの設定がされていても使用できません。</p>
HOST IP アドレス	接続するホスト・コンピュータの IP アドレスを設定します。
ポート番号	<p>TCP/IP のポート番号を指定します。</p> <p>設定範囲：1 ～ 65, 535</p> <p>デフォルト値：23</p>
LU 名	<p>印刷装置の LU 名を定義します。半角英数字で最大 10 文字まで指定できます。</p> <p>【使用可能文字】</p> <p>1 文字目 : A～Z, 0～9, @、#、\$、¥</p> <p>2 文字目以降 : A～Z, 0～9, @、#、\$、¥、_</p>
自動接続	<p>ホスト・コンピュータから切断要求がきて一度切断した場合、プリンター側から自動的に接続要求を発行するように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・する : 接続要求を発行する ・しない : 接続要求を発行しない <p>デフォルト値：しない</p>
Keep-Alive 周期	<p>Keep-Alive パケットを発行する周期を設定します。</p> <p>設定範囲：0～60 分</p> <p>デフォルト値：0 (発行しない)</p>
Keep-Alive タイムアウト	<p>設定した値により以下の動作を行います。</p> <p>0 : Keep-Alive パケットとして Nop を発行します。発行後 60 秒経過しても応答がないときセッションを切断します。その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。</p> <p>1～3600 秒 : Keep-alive パケットとして Timing-Mark を発行します。発行後、設定時間(秒)経過しても応答がないとセッションを切断します。その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。</p> <p>デフォルト値：0</p>

【印刷項目】

項目	解説														
設定パターン	現在選択されている設定パターンを表示します。 ここからの設定パターン変更は行えません。共通/エミュレーション項目の画面に戻り、行ってください。														
文字ピッチ	半角文字単位での文字ピッチを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 CPI ・ 12 CPI ・ 13.4 CPI ・ 15 CPI デフォルト値：10 CPI														
最大文字数	1行あたりの最大文字数を指定します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>文字ピッチ</th> <th>最大文字数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 CPI</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>12 CPI</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>13.5 CPI</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>15 CPI</td> <td>255</td> </tr> </tbody> </table> デフォルト値：136文字	文字ピッチ	最大文字数	10 CPI	170	12 CPI	240	13.5 CPI	229	15 CPI	255				
文字ピッチ	最大文字数														
10 CPI	170														
12 CPI	240														
13.5 CPI	229														
15 CPI	255														
行ピッチ	1インチ当たりの行数を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 LPI ・ 3 LPI ・ 4 LPI ・ 6 LPI ・ 7.5 LPI ・ 8 LPI デフォルト値：6 LPI														
最大行数	1ページ当たりの最大行数を選択します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>行ピッチ</th> <th>最大行数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 LPI</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>3 LPI</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>4 LPI</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>6 LPI</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>7.5 LPI</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>8 LPI</td> <td>192</td> </tr> </tbody> </table> デフォルト値：66行	行ピッチ	最大行数	2 LPI	48	3 LPI	72	4 LPI	96	6 LPI	144	7.5 LPI	180	8 LPI	192
行ピッチ	最大行数														
2 LPI	48														
3 LPI	72														
4 LPI	96														
6 LPI	144														
7.5 LPI	180														
8 LPI	192														
ANKフォント	ANKフォントの選択をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明朝 ・ ゴシック ・ OCR-B ・ エリート ・ クーリエ デフォルト値：明朝														
漢字フォント	漢字フォントの選択をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明朝 ・ ゴシック デフォルト値：明朝														
大文字/小文字	“ANKテーブル”の設定で「英数英小文字」もしくは「英数英小文字拡張」を選択している場合に、大文字小文字混在か大文字のみかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 混在 ・ 大文字のみ デフォルト値：混在														

項 目	解 説	
ANKテーブル	ANKテーブルを選択します。 ・英数カタカナ ・英数英小文字 ・英数カナ拡張 ・英小文字拡張 デフォルト値：英数カタカナ	
LU1 オプション	LU1 で使用する場合、特別処理を行うか選択します。この機能は、LU3 用に作られたユーザ・データのうち、ある限られたデータに関してのみ LU1 (SCS) の環境下において同じ印刷結果とするものです。 ・OFF ・OPTION1：SI/SO に囲まれた漢字データを漢字として印字し、SI/SO をスペースとして印刷します。 ・OPTION2：オプション1に加えて、最大印字桁数の次にくる行のはじめの制御コードのうち下記のを有効にする。 ・CR、FF、VT、LF、BS、EM、NL デフォルト値：OFF	
LU3 オプション	空白行の削除	このオプションをONにすると、印刷不能文字だけが入っている行を削除します。印刷不能文字には空白文字、非印刷フィールド文字、およびフィールドの属性です。 ・ON ・OFF (デフォルト値) 【注意】 スペース (X'40') は文字とみなされます。
	NULL 制御コードを空白文字	このオプションをONにすると、空白文字はスペース (X'40') として印刷されます。 ・ON (デフォルト値) ・OFF
	CR MPP+1 の制御	このオプションをONにすると CR が最大印刷位置+1 にある場合、自動改行は行われません。 ・ON ・OFF (デフォルト値)
	NL MPP+1 の制御	このオプションをONにすると、NL が最大印刷位置+1 にある場合、最大印字位置+1 で行われ自動改行は行われません。 ・ON ・OFF (デフォルト値)
	FF オプション	このオプションをONにすると、FF が実行されて印刷位置を占め、次のページの最初の行の最初の桁にblankとして印刷されます。従って、次のページの印刷位置はその行の2桁目となります。 ・ON ・OFF (デフォルト値)

項 目	解 説
プリンタチェックタイマ	<p>用紙詰りや用紙切れなどが発生すると、操作員介入要求がホスト・コンピュータに返されます。ここで設定する時間以内に問題を解除しなければ、プリンター・タイムアウトとなりメッセージが表示されます。</p> <p>設定範囲：0(タイムアウトなし) ～ 99 分 デフォルト値：99 分</p>
プリンタ保留タイマ	<p>印刷中に「オフライン」スイッチを押してオフライン状態に入り、印刷を保留できる時間を設定します。ここで設定したプリンター保留時間を過ぎると、プリンター・タイムアウトとなりメッセージが表示されます。</p> <p>設定範囲：0(タイムアウトなし) ～ 99 分 デフォルト値：99 分</p> <p>【注意】用紙づまりや用紙切れ状態なども含みます。</p>
ジョブエンドタイマ	<p>SNA ブラケット処理を正しく使用していないアプリケーションのために、ジョブの終了を監視します。ジョブ終了コマンドが受信されなくても、データ途切れが設定した時間が経過した場合はジョブの終了として処理します。</p> <p>設定範囲：0 (タイムアウトなし) ～ 3600 秒 デフォルト値：0 秒</p>
ジョブリンクタイマ	<p>SNA ブラケット処理を正しく使用していないアプリケーションのためにジョブの終了を監視します。ジョブの終了コマンドを受信しても、監視時間が経過しないかぎり、同一ジョブとして処理します。</p> <p>設定範囲：0 (タイムアウトなし) ～ 3600 秒 デフォルト値：0 秒</p>
設定の優先	<p>ホスト・コンピュータから設定コマンドを受信した場合、設定コマンドを優先するか選択された設定値を優先するかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマンド優先：コマンドを優先する ・設定値優先：設定値を優先する <p>デフォルト値：コマンド優先</p>
未定義文字の処理	<p>未定義文字コードを検出した時、印字する代替え文字を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒四角：' ■ ' を印字 ・スペース：' ' を印字 <p>デフォルト値：黒四角</p>
2UP	<p>用紙の進行方向に対して縦に分割し、1枚の用紙に2ページを印刷します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・ON <p>デフォルト値：OFF</p> <p>【注意】最大文字数設定がプリンターの印刷幅設定の1/2を超える場合、エラーメッセージが表示されます。プリンターの印刷幅設定の1/2を超える部分は印刷されません。マージンは右側のページにも反映されます。</p>
外字	<p>使用する外字ファイルを選択します。</p> <p>デフォルト値：なし</p> <p>【注意】外字ファイルのUP LOADは外字管理より行います。</p>

5. 1.1 LPR5250 (IBM接続オプション追加時)

共通/エミュレーション項目の [LPR5250] をクリックすると、LPR5250の印刷項目に移動します。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、**実行** をクリックして設定を反映してください。
 - ・**初期化の実行** をクリックすると、現在設定されているパターンの共通項目をデフォルト値の設定に戻します。
 - ・印刷項目は、パターンごとに設定する必要があります。

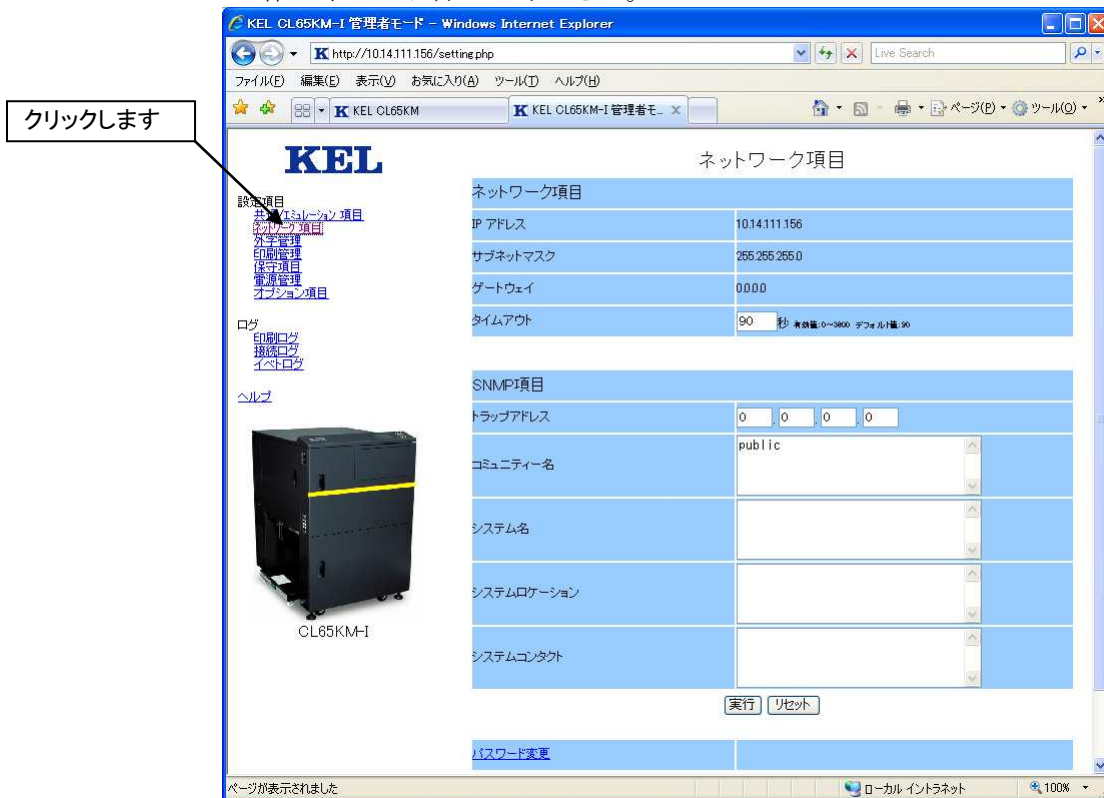
【印刷項目】

項 目	解 説
設定パターン	現在選択されている設定パターンを表示します。 ここからの設定パターン変更は行えません。共通/エミュレーション項目の画面に戻り、行ってください。
ANKフォント	ANKフォントを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・明朝 ・ゴシック ・OCR-B ・エリート ・クーリエ デフォルト値：明朝
漢字フォント	漢字フォントを選択します <ul style="list-style-type: none"> ・明朝 ・ゴシック デフォルト値：明朝
ANKテーブル	ANKテーブルを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・英数カタカナ ・英数英小文字 ・英数カナ拡張 ・英小文字拡張 デフォルト値：英数カタカナ
SI/SO	漢字モードを表す SI/SO 制御コードが、文字拡大指定範囲に含まれた場合、SI/SO 制御コードを拡大修飾するか選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・拡大する ・拡大しない デフォルト値：拡大する
2UP	用紙の進行方向に対して縦に分割し、1枚の用紙に2ページを印刷します。 <ul style="list-style-type: none"> ・OFF ・ON デフォルト値：OFF 【注意】 最大文字数設定がプリンターの印刷幅設定の1/2を超える場合、エラーメッセージが表示されます。 プリンターの印刷幅設定の1/2を超える部分は印刷されません。 マージンは右側のページにも反映されます。
外字	使用する外字ファイルを選択します。 デフォルト値：なし 【注意】 外字ファイルのUP LOADは外字管理より行います。

5. 1 2 ネットワーク項目

【ネットワーク項目】をクリックすると、プリンターのネットワーク項目の設定に移動します。

- 【注意】
- ・ 下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・ 設定が完了後、 **実行** をクリックして設定を反映してください。
 - ・ IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの設定は、プリンターの操作パネルより行ってください。



【ネットワーク項目】

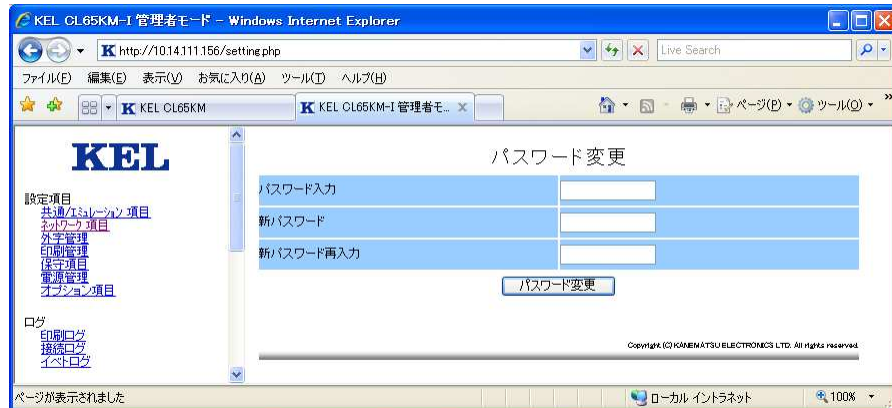
項目	解説
IP アドレス	プリンターに設定されたIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	プリンターに設定されたサブネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	プリンターに設定されたゲートウェイアドレスを表示します。
タイムアウト	印刷中のデータ途切れを時間監視します。 データが途切れて設定時間を経過した場合、通信を切断します。 設定範囲：0(タイムアウトなし)～3600秒 デフォルト値：90秒

【SNMP項目】

項目	解説
トラップアドレス	イベント通知をするアドレスを設定します。
コミュニティ名	管理用コミュニティ名です。(Read-Only)
システム名	この被管理ノードに付けられた管理上の名前です。
システムロケーション	このノードの物理的な位置です。
システムコンタクト	この被管理ノードの担当者の識別情報や連絡先に関する情報です。

5. 1.3 パスワード変更

[パスワード変更] をクリックすると、管理者でログインする時のパスワードの設定・変更を行います。



【パスワード変更】

パスワード入力	現在設定されているパスワードを入力してください
新パスワード	新しいパスワードを入力してください。 【使用可能文字】 a～z、A～Z、0～9、_ 【有効文字数】 4 ～ 16文字
新パスワード再入力	確認の為、もう一度新しいパスワードを入力してください。

5. 1.4 外字管理

[外字管理] をクリックすると、外字管理に移動します。外字管理では、登録されている外字ファイルを一覧表示します。

新規に外字ファイルを登録する場合は、**参照...** をクリックし、作成した外字ファイルを選択し、その後**送信** をクリックすることでプリンターに外字ファイルを登録することができます。

外字ファイルを削除する時は、ファイル名に右側にある**削除** をクリックすることでファイルを削除することができます。

【注意】 外字ファイル名には、英数文字以外使用できません。



5. 1 5 印刷管理

[印刷管理] をクリックすると、印刷中あるいは印刷待ち状態の表示に移動します。印刷をキャンセルしたい場合、表示しているエミュレーションの右側にある**取消**をクリックしてください。取消を受け付けた画面へ移動しますので、**戻る**をクリックすることで取り消すことができます。

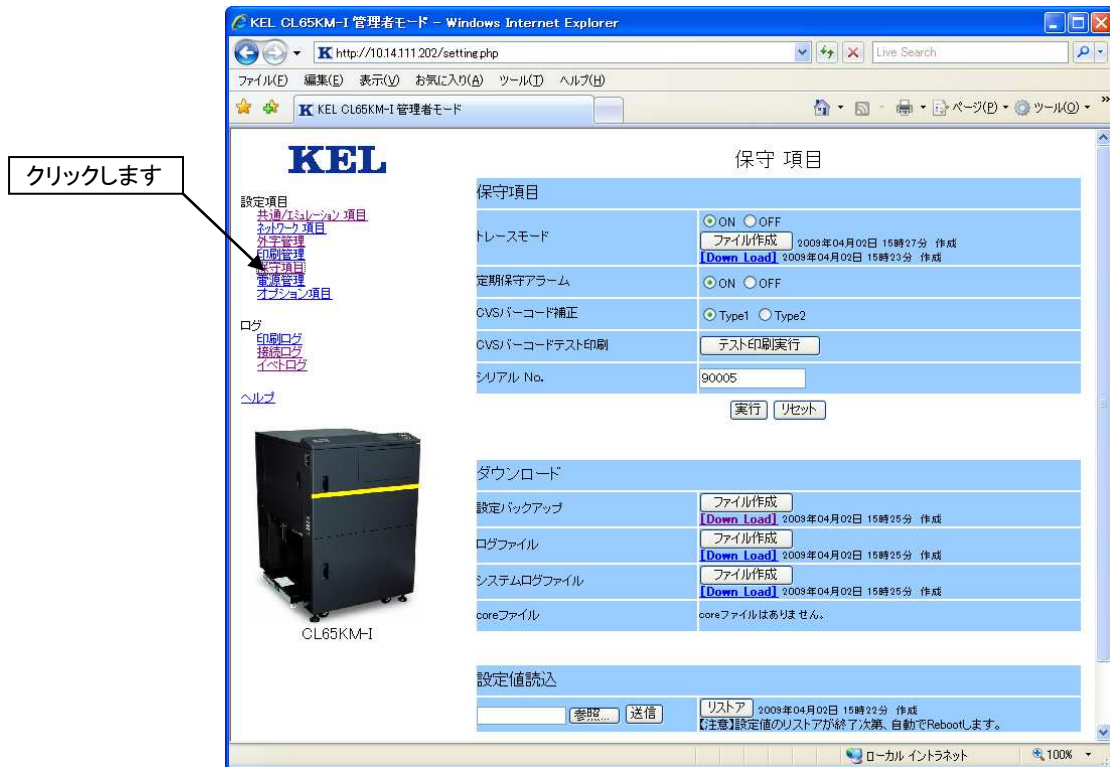
【注意】 この画面表示は最新の状態表示をするため、10秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。
印刷中のTN5250E接続はオフライン時のみ取消可能です。



5. 1 6 保守項目

【保守項目】をクリックすると、プリンターの保守を行うための設定へ移動します。印刷に障害が発生したときの調査のための各種データの採取設定やデータの Download、設定値のバックアップ/リストアを行います。

- 【注意】
- ・下部の **リセット** をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・設定が完了後、 **実行** をクリックして設定を反映してください。



【保守項目】

項目	解説
トレースモード	<p>障害が発生した時、調査するためにホスト・コンピュータから送られてくるデータを採取する場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ON : 採取します。 ・ OFF : 採取しません。 <p>デフォルト値：OFF</p> <p>採取したトレースデータがコントローラー上にある場合、 ファイル作成 ボタンとトレースデータが作成された日時が表示されます。</p> <p>ファイル作成 ボタンをクリックすると、トレースデータが作成され、[Down Load] ボタンと作成された日時が表示され、"Down Load"と作成された日時が表示されます。そこをクリックすると、作成されたファイルをダウンロードすることができます。</p> <p>【注意】コントローラーの電源 OFF もしくはリブートすると、トレースデータは消去されます。</p>
定期保守アラーム	<p>最終定期保守を行ってから、200K ページの印刷で定期保守のメッセージをパネルに表示させるか否かを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ON : 表示する。 ・ OFF : 表示しない。 <p>デフォルト値：OFF</p>

項目	解説
CVS バーコード補正	<p>拡張コマンドを使用して CVS バーコードを印刷する場合の補正タイプを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Type1 : 補正タイプ 1 • Type2 : 補正タイプ 2
CVS バーコードテスト印刷	<p>CVS バーコードのサンプルを印刷します。</p> <p>テスト印刷実行をクリックすると、CVS バーコードのサンプルを印刷します。横15インチ縦11インチの白紙（ストックフォーム）をセットしてください。</p>
シリアル No.	<p>ブラウザから装置シリアルが確認できるよう、設置時に装置シリアル No. を設定します。（デフォルト値：ブランク）</p>
設定バックアップ	<p>設定値のバックアップファイルを作成します。</p> <p>ファイル作成をクリックすると、設定値バックアップファイルが作成され、“Down Load”と作成された日時が表示されます。そこをクリックすると、作成されたファイルをダウンロードすることができます。</p>
ログファイル	<p>ログで表示している印刷ログ、接続ログ、イベントログ情報をまとめたファイルを作成します。</p> <p>ファイル作成をクリックすると、印刷ログ、接続ログ、イベントログ情報をまとめたファイルが作成され、“Down Load”と作成された日時が表示されます。そこをクリックすると作成されたファイルをダウンロードすることができます。</p>
システムログ	<p>システムで保存しているログをまとめてファイルを作成します。</p> <p>ファイル作成をクリックすると、システムログをまとめたファイルが作成され、“Down Load”が表示されます。そこをクリックすると作成されたファイルをダウンロードすることができます。</p>
core ファイル	<p>システムで保存している core ファイルをまとめてファイルを作成します。</p> <p>ファイル作成をクリックすると、core ファイルをまとめたファイルが作成され、“Down Load”が表示されます。そこをクリックすると作成されたファイルをダウンロードすることができます。</p> <p>【注意】 core ファイルはプリンターの電源を OFF/ONしないと、最新の状態になりません。core ファイルを作成する際には、必ずプリンターの電源を OFF/ON してください。</p>
設定値読込	<p>設定値バックアップファイルを読み込ませ、設定値を復元します。</p> <p>参照をクリックし、設定値バックアップファイルを選択します。その後、送信をクリックします。</p> <p>設定値バックアップファイルがアップロードされると、リストアが表示されます。リストアをクリックすると、バックアップファイルから設定値が読み込まれ設定されます。設定が終了すると、リポートします。</p>

5. 1 7 電源管理

KEL CL65KM は本体左側面にある「メインスイッチ」にて電源の投入、切断を行います。この時内蔵しているコントローラーの電源を本体側の電源オン・オフに連動させるか選択することができます。

[電源管理]をクリックすると、コントローラーの電源管理に移動します。コントローラーの電源はデフォルト設定 (OFF) では、本体「メインスイッチ」をオフしても電源が切断されません。自動シャットダウンの設定で、本体側電源オフでコントローラーの電源を切断する。或いは電源はオフとはならず待機状態となる、を選択できます。

設定をOFFとすると、電源は切れません。保守等で電源をオフにする必要が生じた場合、電源管理項目の終了オプション「シャットダウン」をクリックします。



【電源管理】

項目	解説
自動シャットダウン	<p>コントローラーの電源オン・オフを、本体側メインスイッチに連動して動作させるか設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ON : 「メインスイッチ」による電源オフを検出すると、コントローラーが自身の電源をオフする。電源オン時は、コントローラーの「メインスイッチ」をオンする必要がある。 ・ OFF : 「メインスイッチ」による電源オフを検出すると、コントローラーは電源オンのまま待機状態となる。電源オンを検出すると、コントローラーは初期化から動作を開始する。 <p>デフォルト値：OFF 【注意】OFF 設定の場合、はじめの1回はコントローラーの「メインスイッチ」をオンにする必要があります。</p>

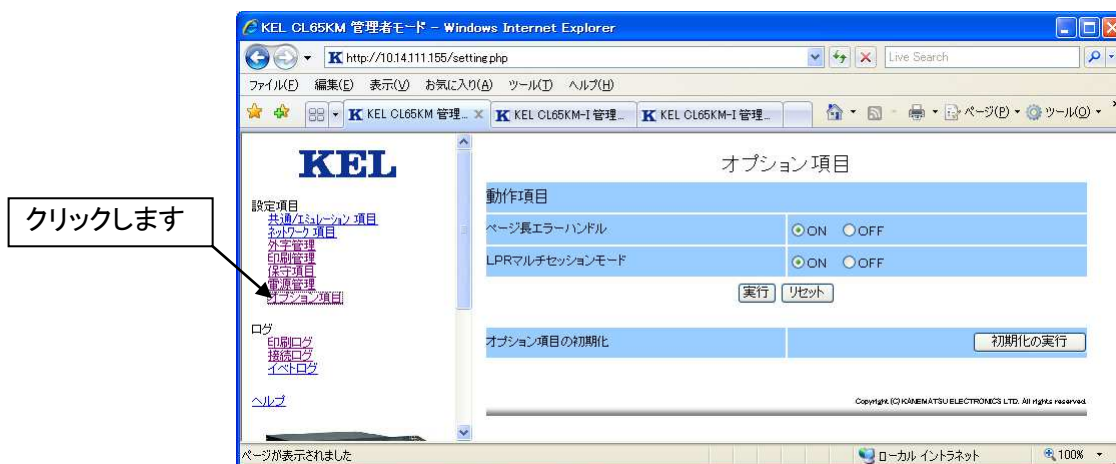
【終了オプション】

項目	解説
シャットダウン	コントローラーの電源を直ちに切断します。
リポート	コントローラーを直ちにリポートさせます。

5. 1 8 オプション項目

【オプション項目】をクリックすると、オプションとして用意した印刷や動作に関する設定に移動します。

- 【注意】
- ・ 下部の「リセット」をクリックすると、変更前の状態に戻ります。
 - ・ 設定が完了後、「実行」をクリックして設定を反映してください。
 - ・ 「初期化の実行」をクリックすると、現在設定されているオプション項目をデフォルト値の設定に戻します。



【オプション項目】

項目	解説
ページ長エラーハンドル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印刷データがページ長を超える場合に、オフライン状態にして注意を促す画面を表示するか選択します。 ・ OFF ・ ON デフォルト値：ON
LPRマルチセッションモード	複数のLPRセッションを同時に受け付けるか選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ OFF ・ ON (最大4セッション) デフォルト値：ON <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows から印刷する場合は、JOB間に待ち時間を発生させないためにもONに設定することをお勧めします。 ・ LPR5250接続もこの設定が有効になります。

5. 1 9 印刷ログ

[印刷ログ] をクリックすると、印刷した JOB のログ表示に移動します。印刷が完了した JOB の エミュレーション名、ファイル名、印刷開始時間、印刷終了時間が表示されます。印刷ログを消去する場合、**印刷ログ消去** をクリックしてください。

5. 2 0 接続ログ

[接続ログ] をクリックすると、通信関係のエラーやメッセージ表示に移動します。接続ログを消去する場合、**接続ログ消去** をクリックしてください。

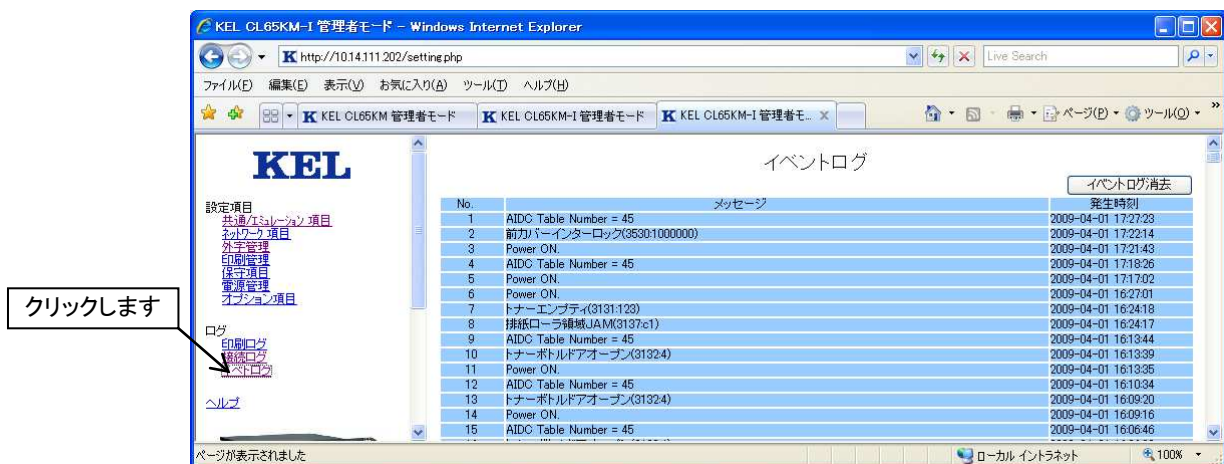
[注意] この画面は最新状況を表示するため、60秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。



5. 2 1 イベントログ

[イベントログ] をクリックすると、プリンターで発生したエラーやメッセージ表示に移動します。イベントログを消去する場合、**イベントログ消去** をクリックしてください。

[注意] この画面は最新状況を表示するために、60秒毎に自動的に再読み込み動作を行っています。



このページは、白紙となっています。

第 6 章

T C P / I P 接 続

K E L C L 6 5 K M

6. 1	T C P / I P 接 続 の 説 明	6-2
6. 1. 1	T C P / I P の 設 定 お よ び 確 認	6-2
6. 2	W i n d o w s か ら の 印 刷	6-3
6. 2. 1	W i n d o w s の 設 定 (プ リ ン タ ー サ ー バ ー)	6-3
6. 2. 2	W i n d o w s の 設 定 (ス タ ン ド ア ロ ン)	6-9
6. 2. 3	W i n d o w s の 設 定 (ク ラ イ ア ン ト)	6-13
6. 2. 4	プ リ ン タ ー ド ラ イ バ ー の 削 除	6-15
6. 3	I B M i か ら の L P R 接 続 印 刷 (I B M 接 続 オ プ シ ョ ン 追 加 時)	6-19
6. 3. 1	出 力 待 ち 行 列 作 成	6-19
6. 3. 2	プ リ ン タ ー の 起 動	6-20
6. 3. 3	接 続 テ ス ト	6-20
6. 4	I B M i か ら の T N 5 2 5 0 E 接 続 印 刷 (I B M 接 続 オ プ シ ョ ン 追 加 時)	6-21
6. 4. 1	I B M i の 確 認	6-21
6. 4. 2	プ リ ン タ ー の 設 定	6-22
6. 4. 3	接 続	6-22
6. 5	I B M i か ら の 外 字 印 刷 (I B M 接 続 オ プ シ ョ ン 追 加 時)	6-23
6. 5. 1	L O D P P W コ マ ン ド を 使 用 し て 外 字 を 登 録 す る 方 法	6-23
6. 5. 2	W i n d o w s の 外 字 エ デ ィ タ で 外 字 を 作 成 し 登 録 す る 方 法	6-25
6. 6	T N 3 2 7 0 E 接 続 の 印 刷 (I B M 接 続 オ プ シ ョ ン 追 加 時)	6-28
6. 6. 1	S N A マ ネ ー ジ ャ の 設 定	6-28
6. 6. 2	T N 3 2 7 0 E 接 続 の 外 字 印 刷	6-34
6. 7	S N M P の 設 定	6-37
6. 8	K e e p - A l i v e 機 能 の 設 定 (I B M 接 続 オ プ シ ョ ン 追 加 時)	6-37

6.1 TCP/IP接続の説明

KEL CL65KMは、LPR、Port 9100およびIPP接続による印刷が可能です。また、IBM接続オプションを追加することにより、IBMzからはTN3270E、IBMiからはTN5250EおよびLPR5250接続による印刷が可能です。

以下のエミュレーションで印刷することができます。

プロトコル	キュー名	エミュレーション
LPR	port1	PostScript
Port 9100	—	
IPP	—	
LPR5250	pc5250	5250
TN5250E	—	3270 (LU1, LU3)
TN3270E	—	

- 【注意】
- ・エミュレーションに合ったプロトコルを選択する必要があります。
 - ・印刷は、接続が早い者勝ちとなります。
 - ・LPR (LPR5250)、Port 9100、IPP接続では、複数のホスト・コンピュータから印刷起動がかかっている場合、印刷データの作り方によって印刷JOBの間に別ホスト・コンピュータからの印刷が入ってしまうことがあります。

6.1.1 TCP/IPの設定および確認

KEL CL65KMをネットワークに正しく接続する必要があります。

以下の手順にしたがって、設定および確認をしてください。

1) TCP/IPの設定

「第3章 3.11.1 IPアドレスの設定」を参照してください。

- ・IPアドレス
- ・マスクアドレス
- ・ゲートウェイ

2) 接続テスト (ping)

KEL CL65KM にむけて ping コマンドを発行し、IPアドレスなどが正しく設定されていることを確認してください。

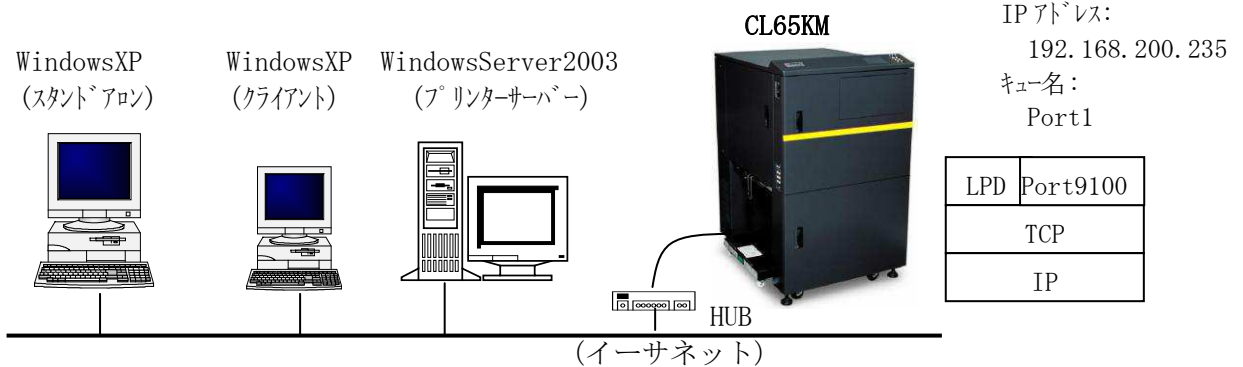
【注意】 ping に失敗した場合、IPアドレスが正しいか調べてください。

3) 各種設定

「第5章 Web設定」を参照し、必要な項目の設定をWebから行います。IBMzとのTN3270E接続、IBMi (IBMi) とのTN5250E接続などの設定を行います。

6.2 Windowsからの印刷

■ Windows Server 2003 をプリンターサーバーにしたときの接続例の図



※通常ネットワーク上に1台プリンターサーバーとして設定し、他の端末はそのプリンターサーバーを使用することを推奨します。

6.2.1 Windowsの設定 (プリンターサーバー)

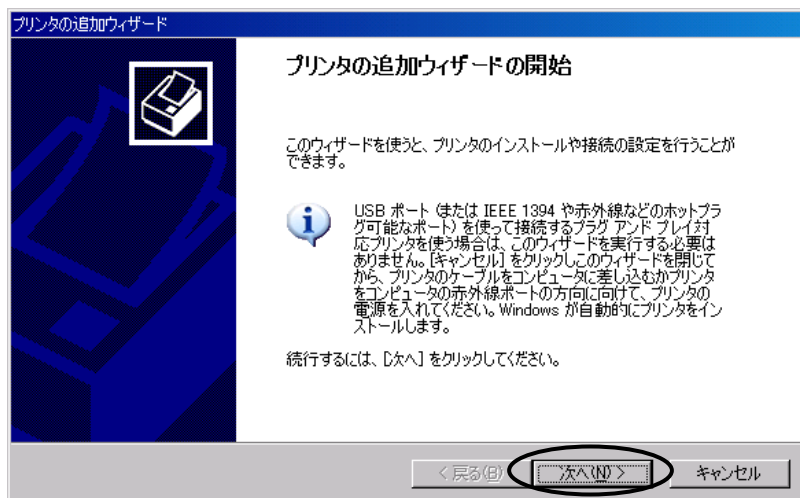
Windowsに標準でインストールされている”Standard TCP/IPポート”は、最後の印刷データを送ってから90秒以内に印刷完了しないと、印刷に失敗したと見なして印刷データが再送される仕様となっています。そのため、1つの印刷ジョブを繰り返し印刷する現象が発生する場合があります。

ここでは、”UNIX印刷サービス”のLPRポートを使用する方法を解説します。

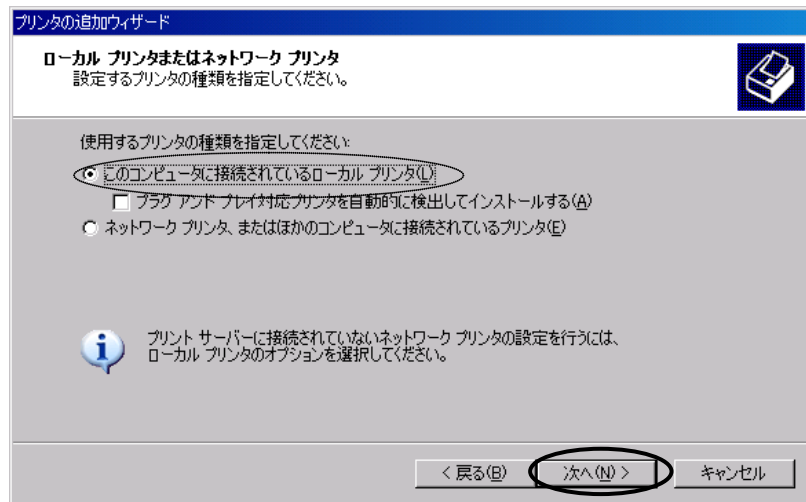
- (1) サービスおよびプロトコルのチェックとLPRポートモニタのインストールを行います。「付録 A」にWindowsの種類ごとの手順が記載されておりますので、この手順に従ってLPRポートモニタをインストールしてください。

(2) プリンターおよびポートの追加

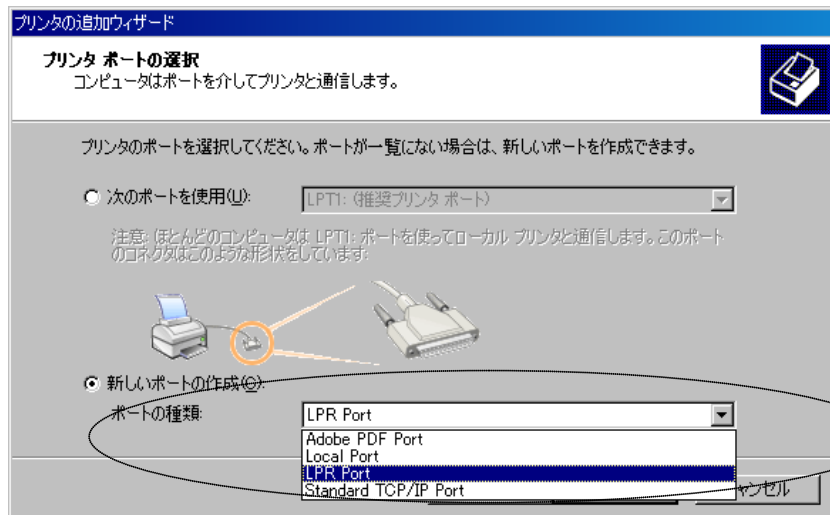
- 1) 「スタート」→「設定」→「プリンタとFAX」を選択します。「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックするとプリンタの追加ウィザードが起動しますので、「次へ」をクリックします。



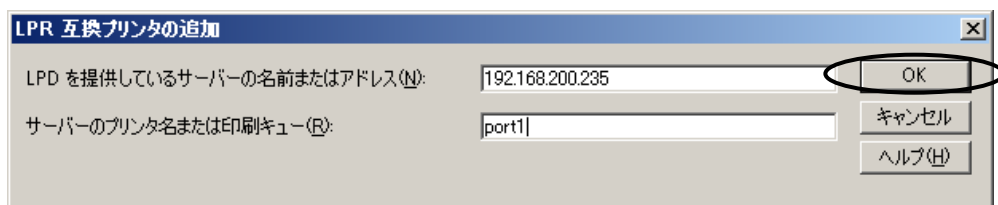
- 2) “このコンピュータに接続されているローカルプリンタ”を選択し、「次へ」をクリックします。“プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする”にはチェックを入れないでください。



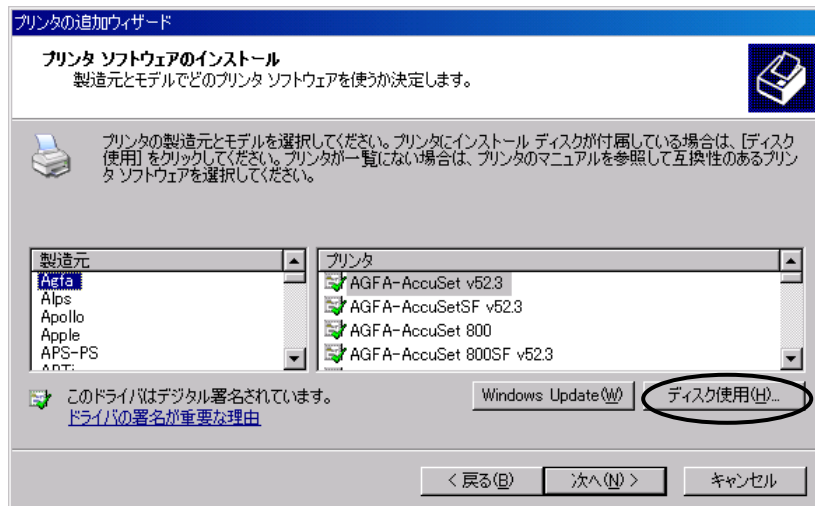
- 3) “新しいポートの作成”で「LPR Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



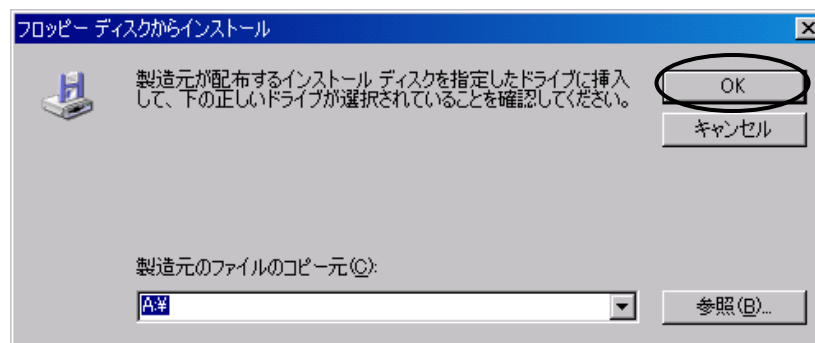
- 4) 「LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス(N)」にはプリンターの I P アドレス、「サーバーのプリンタ名または印刷キュー(R)」には「port1」を入力し、「OK」をクリックします。



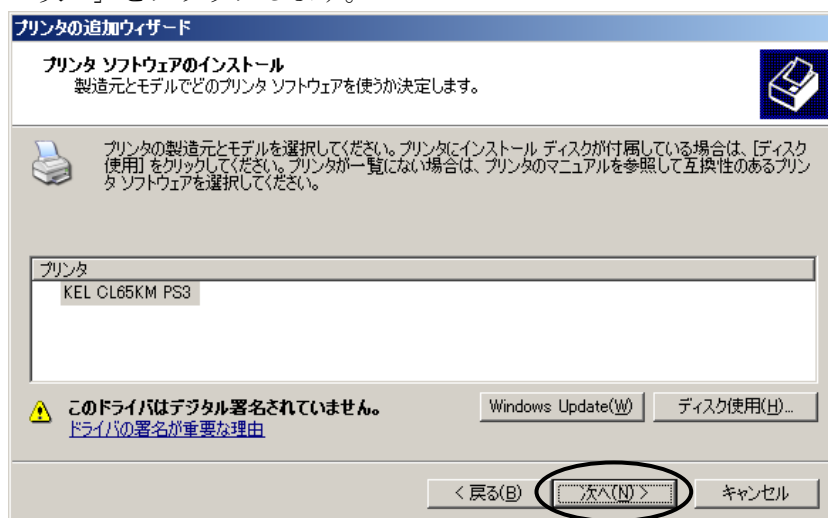
- 5) 「ディスク使用」をクリックします。



- 6) 「参照」をクリックし、CL65KM サポートCD-ROMをセットしたドライブから”DRIVER”を選択し、さらに”W2KXP”を選択し「OK」をクリックします。



- 7) 「次へ」をクリックします。



- 8) プリンタ名を入力し、「次へ」をクリックします。

プリンタの追加ウィザード

プリンタ名
このプリンタに名前を割り当ててください。

このプリンタの名前を入力してください。一部のプログラムでは、32文字以上になるプリンタ名とサーバー名の組み合わせがサポートされていないため、名前はなるべく短くしてください。

プリンタ名(N):

このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?

はい(Y)

いいえ(N)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- 9) “共有する”を選択し、共有名を入力後「次へ」をクリックします。

プリンタの追加ウィザード

プリンタ共有
このプリンタをほかのネットワークユーザーと共有できます。

このプリンタを共有するには、共有名を作成する必要があります。推奨されている名前を使用するか、または新しく名前を入力してください。共有名はほかのネットワークユーザーによって参照されます。

このプリンタを共有しない(N)

共有名(S):

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

- 10) 場所とコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

プリンタの追加ウィザード

場所とコメント
このプリンタの場所とコメントを指定できます。

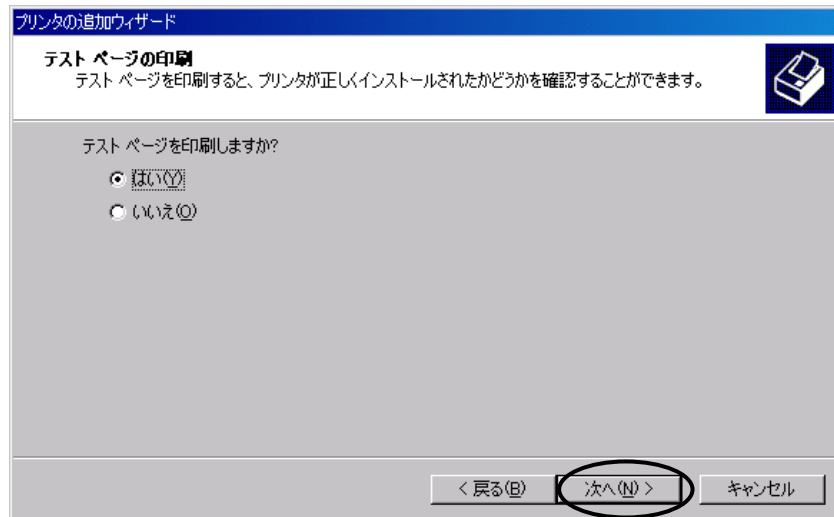
このプリンタの場所およびプリンタの機能を説明するコメントを提供することができます。この情報はユーザーに役立ちます。

場所(L):

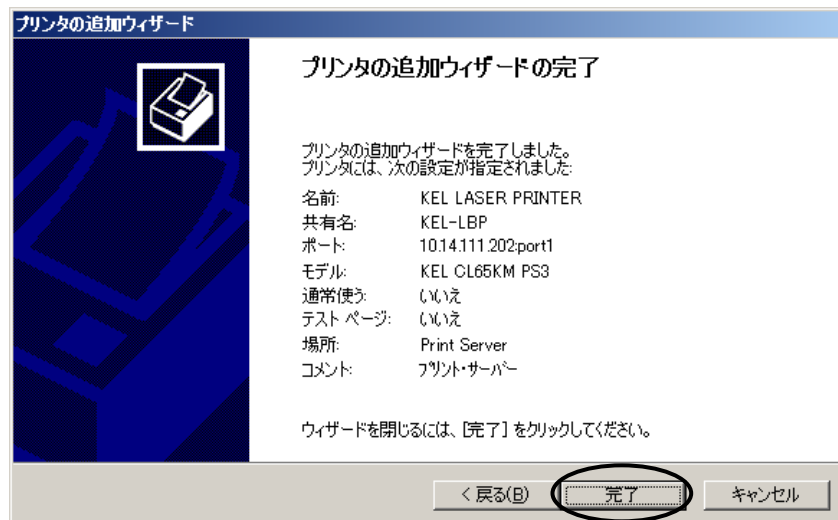
コメント(C):

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

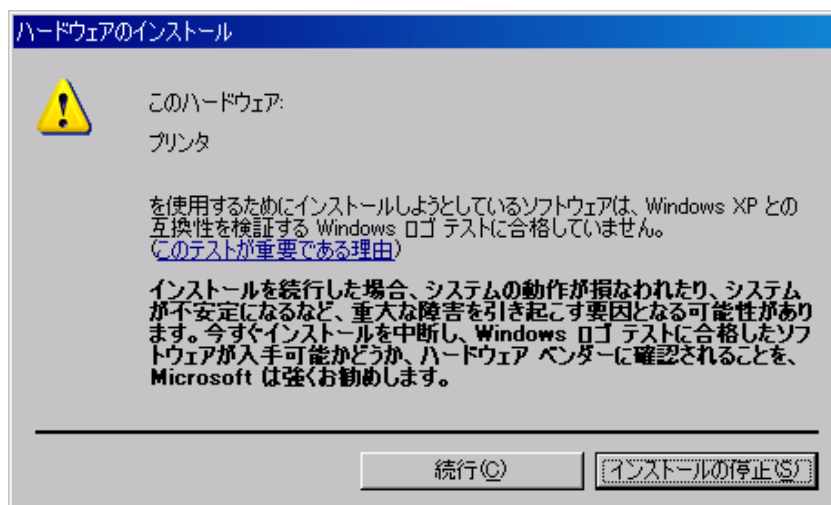
1 1) テスト印刷で“はい”を選択し、「次へ」をクリックします。



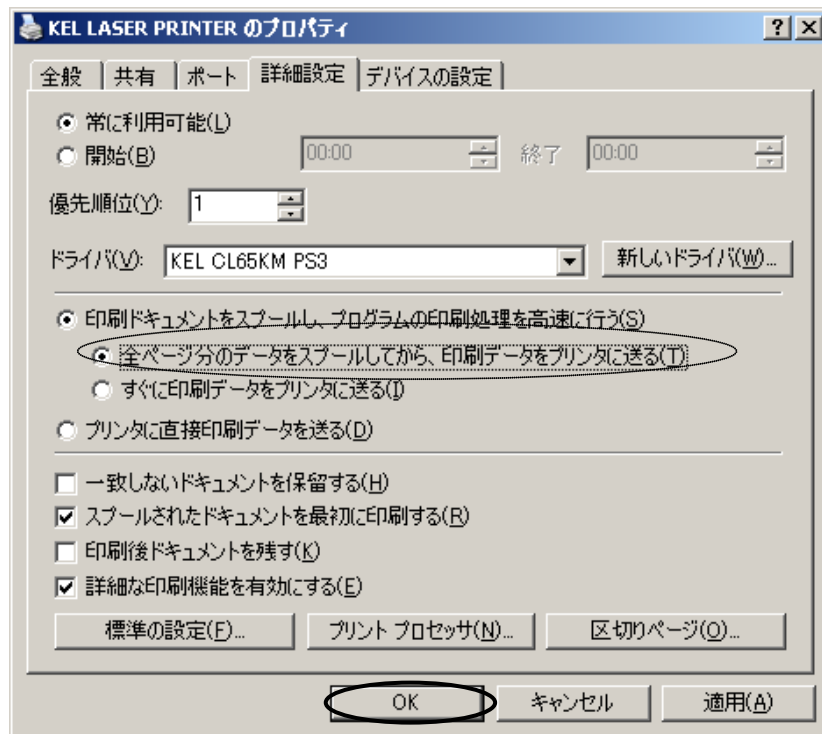
1 2) 「完了」をクリックします。



1 3) 「続行」をクリックします。



- 1 4) 次に、印刷が正常に行なわれるためにスプール機能を使用します。
 「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択します。
 作成したプリンターアイコンにマウスを移動し、右ボタンを押し「プロパティ」を選択します。
 “詳細設定”で以下の項目を選択し「OK」をクリックします。



- 1 5) 以上でプリンターサーバーの設定は終了です。「プリンタと FAX」を開いて確認します。

【注意】 LPR PORT (UNIX 用印刷サービス) の場合、11 個を越える複数ジョブ (12 個目のジョブ) の印刷が遅れるという現象が発生する場合があります。これは、Windows において、LPR で利用できるポート数に制限があるためです。

6.2.2 Windows の設定 (スタンドアロン)

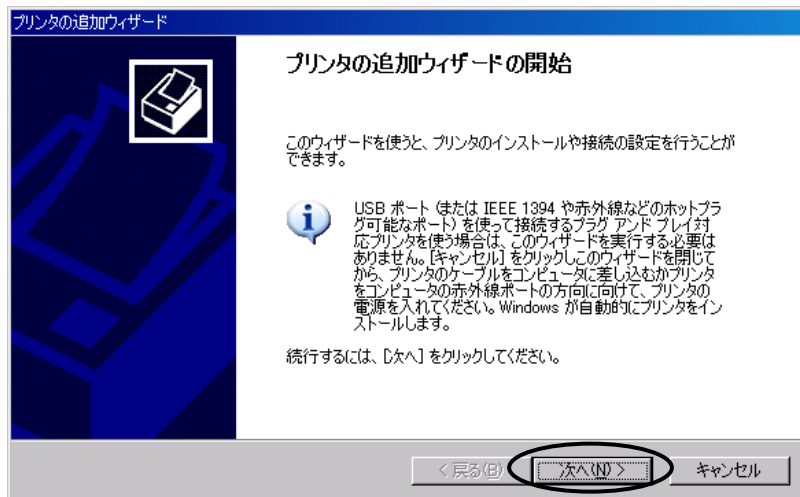
Windows に標準でインストールされている” Standard TCP/IP ポート” は、最後の印刷データを送ってから 90 秒以内に印刷完了しないと、印刷に失敗したと見なして印刷データが再送される仕様となっています。そのため、1 つの印刷ジョブを繰り返し印刷する現象が発生する場合があります。

ここでは、” UNIX印刷サービス” の LPR ポートを使用する方法を解説します。

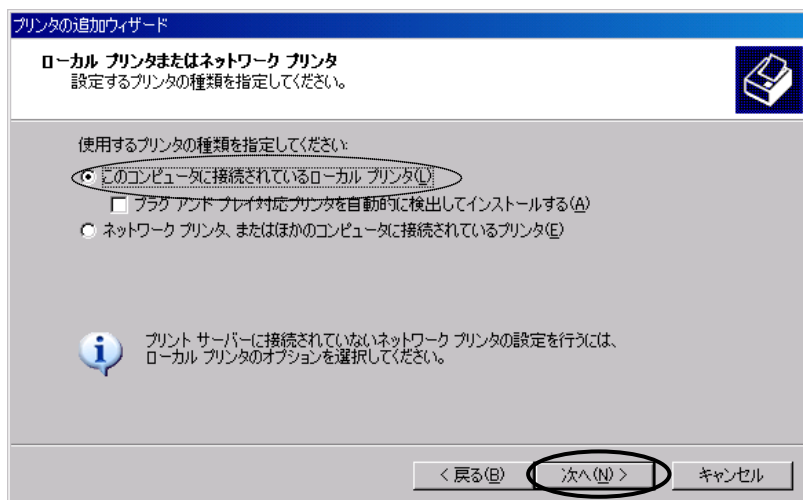
- (1) サービスおよびプロトコルのチェックと LPR ポートモニタのインストールを行います。「付録 A」に Windows の種類ごとの手順が記載されておりますので、この手順に従って LPR ポートモニタをインストールしてください。

(2) プリンターおよびポートの追加

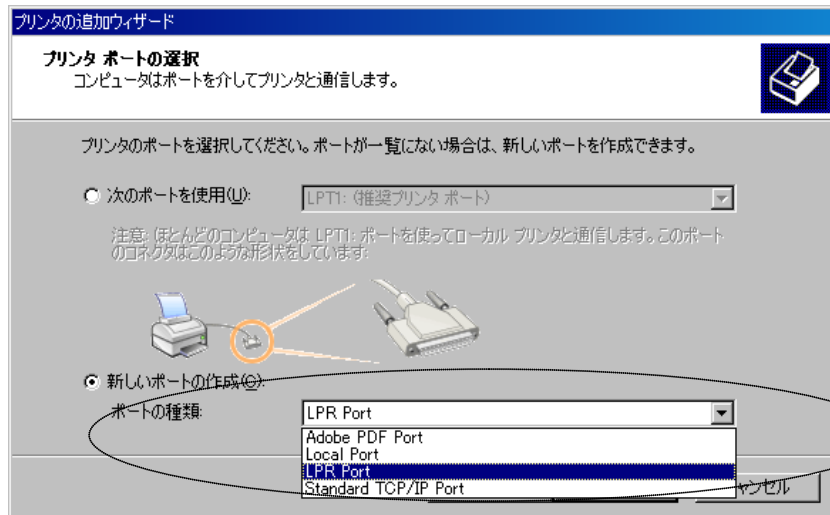
- 1) 「スタート」→「設定」→「プリンタと FAX」を選択します。
“プリンタの追加” アイコンをダブルクリックするとプリンタの追加ウィザードが起動しますので、「次へ」をクリックします。



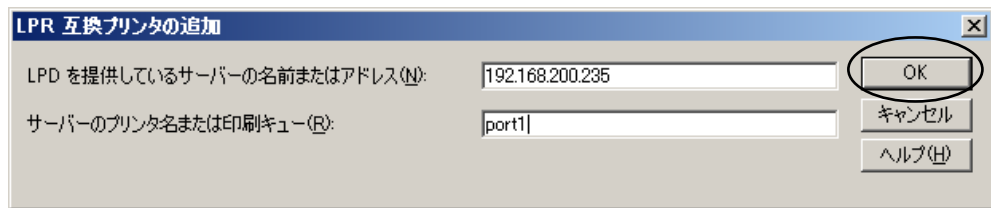
- 2) “このコンピュータに接続されているローカルプリンタ” を選択し、「次へ」をクリックします。“プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする” にはチェックを入れないでください。



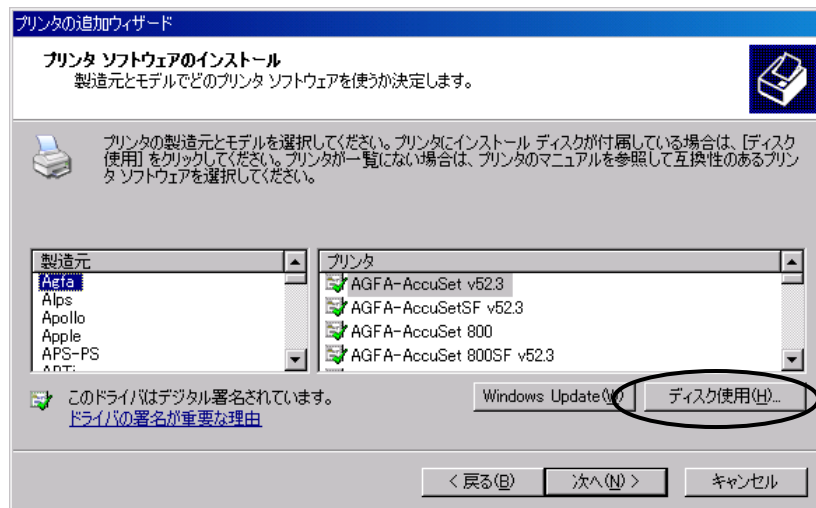
- 3) “新しいポートの作成”で「LPR Port」を選択し、「次へ」をクリックします。



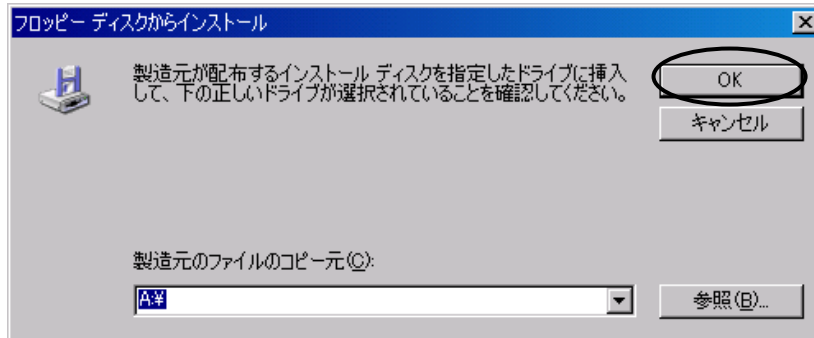
- 4) “LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス(N)”にはプリンターのIPアドレス、“サーバーのプリンタ名または印刷キュー(R)”には「port1」を入力し、「OK」をクリックします。



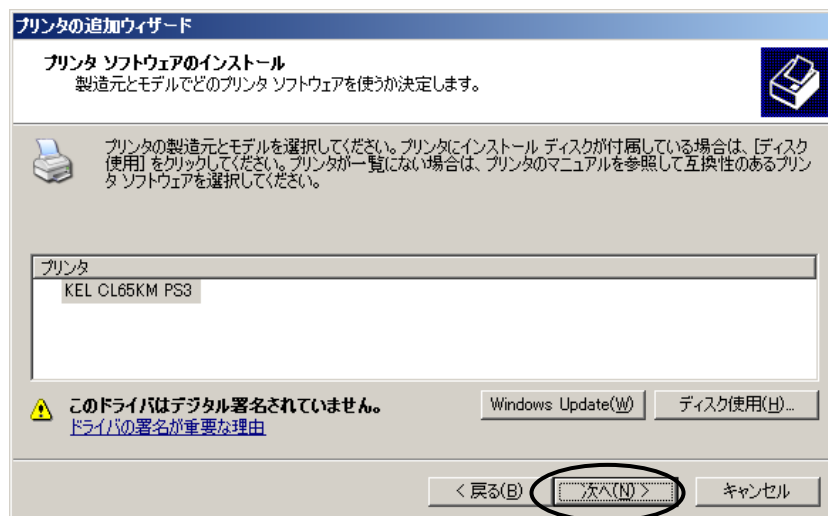
- 5) 「ディスク使用」をクリックします。



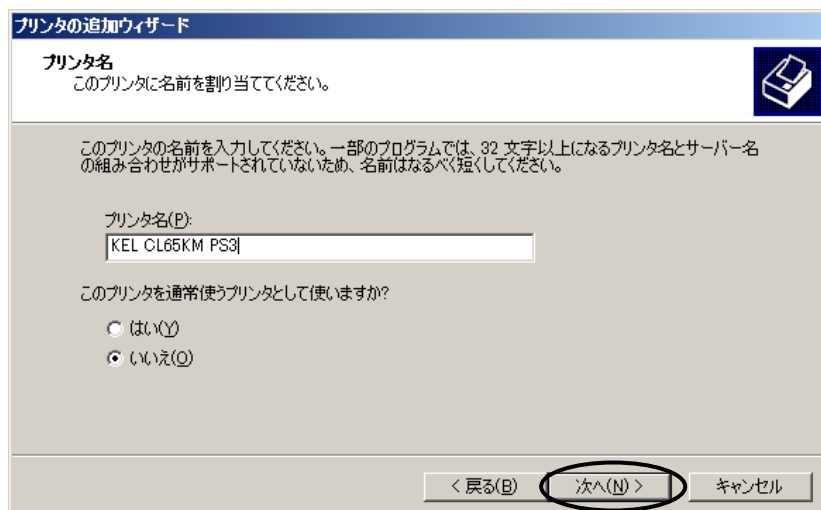
- 6) 「参照」をクリックし、CL65KM サポートCD-ROMをセットしたドライブから“DRIVER”を選択し、さらに“W2KXP”を選択し「OK」をクリックします。



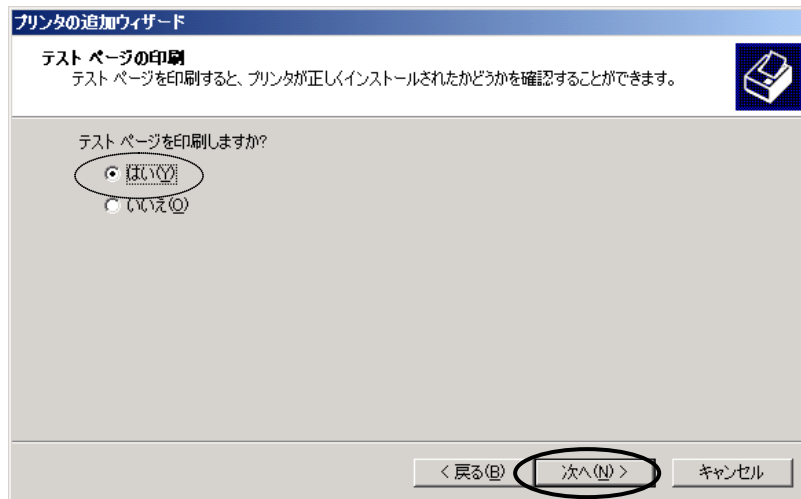
- 7) 「次へ」をクリックします。



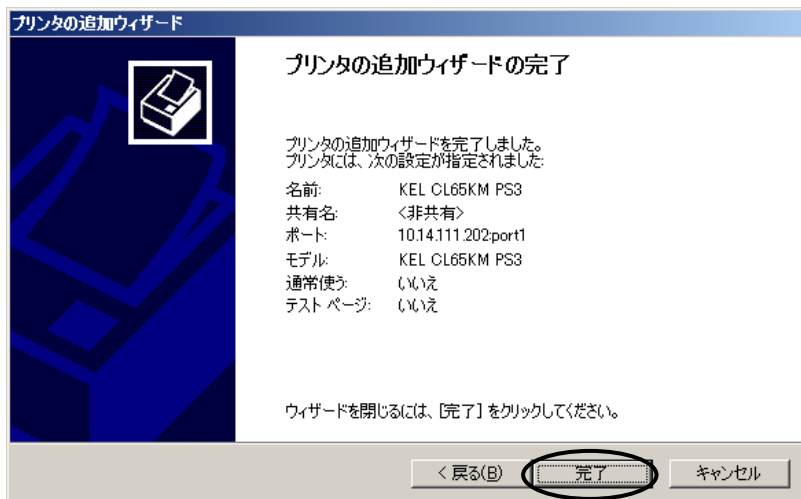
- 8) プリンタ名を入力し、「次へ」をクリックします。



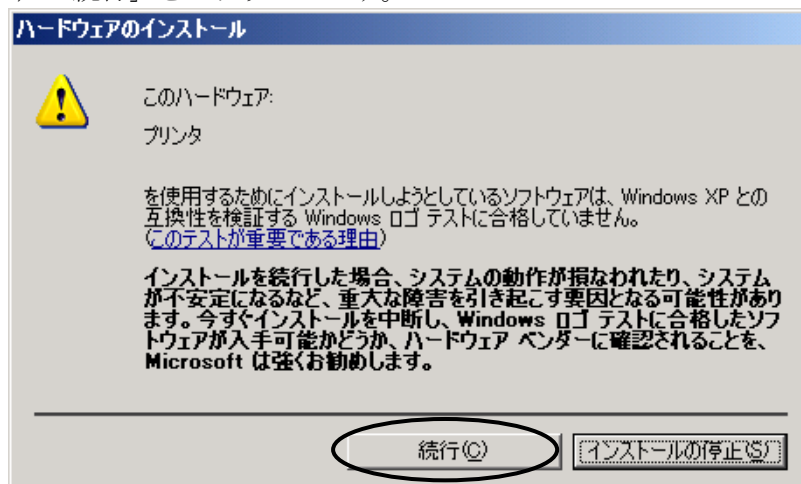
- 9) “テストページの印刷”で“はい”を選択し、「次へ」をクリックします。



- 10) 「完了」をクリックします。



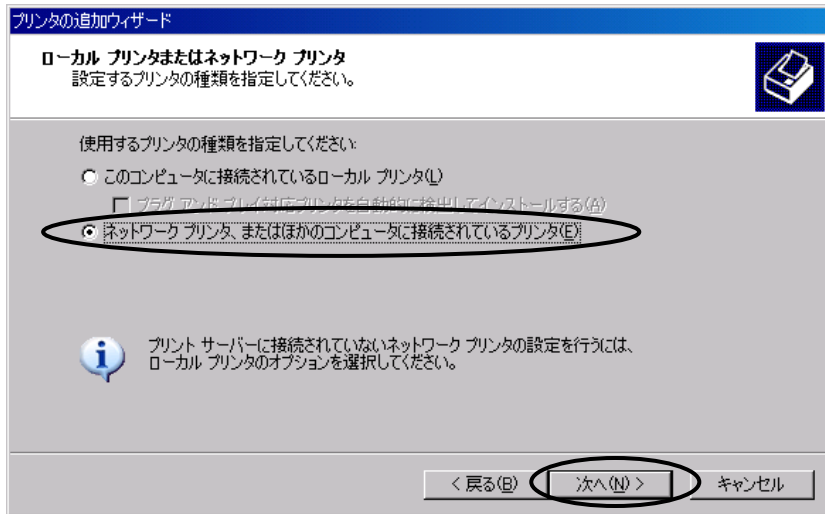
- 11) 「続行」をクリックします。



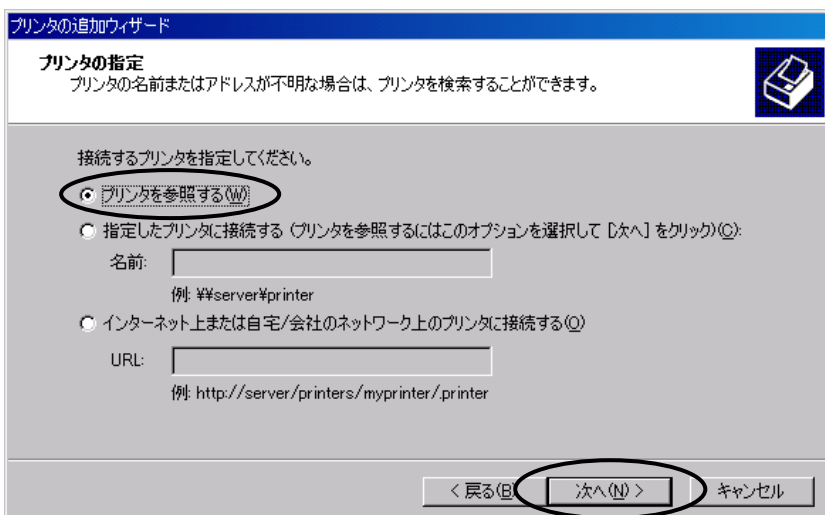
- 12) テストページ印刷が正常に印刷されたことを確認してください。以上でプリンターの設定は終了です。

6. 2. 3 Windows の設定 (クライアント)

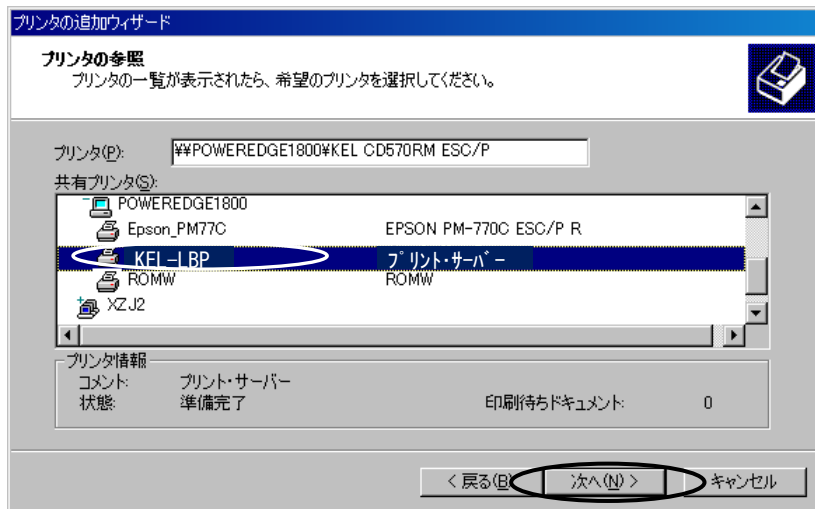
- 1) 「スタート」→「設定」→「プリンタ」を選択します。
“プリンタの追加”アイコンをダブルクリックします。
- 2) “ネットワークプリンタサーバー”を選択し「次へ」をクリックします。



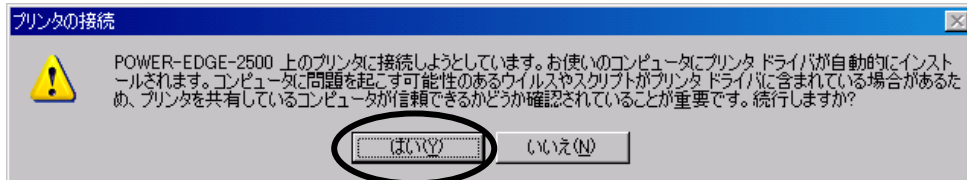
- 3) 「参照」をクリックしてネットワークプリンターを探します。



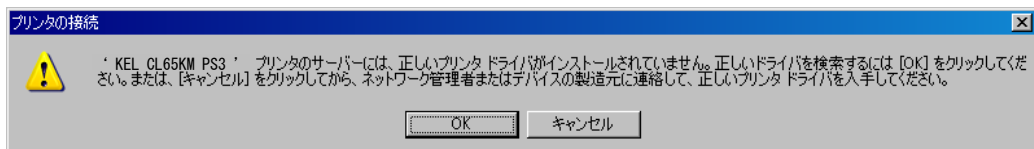
- 4) 「6. 2. 1 Windows の設定 (プリンターサーバー)」でサーバとして作成したプリンターを選択し、「OK」をクリックします。



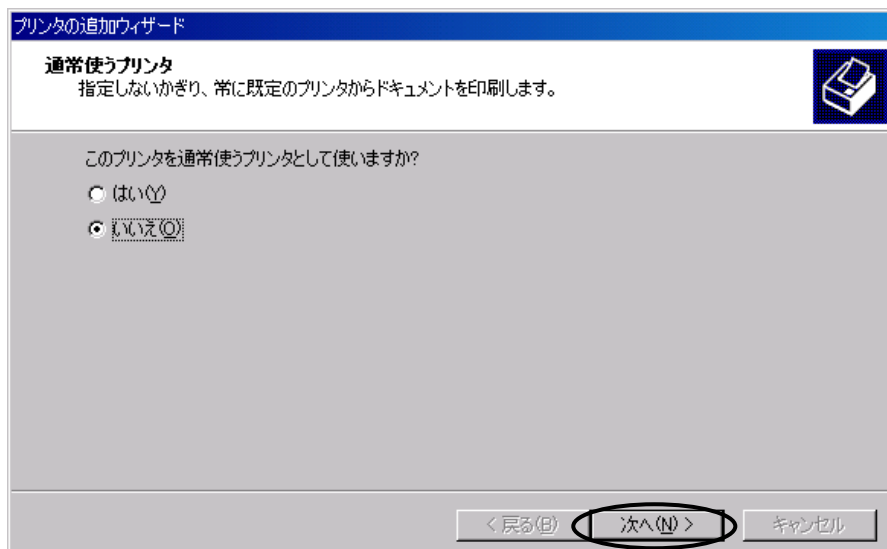
- 5) プリンタードライバーをインストールするために「はい」をクリックします。



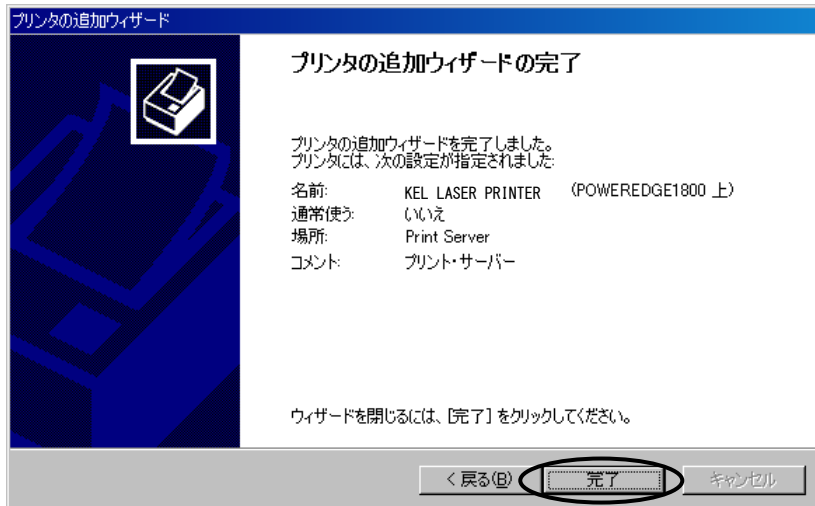
【注意】以下のメッセージが表示された場合には、クライアント側にも手動でプリンタードライバーをインストールする必要があります。「6. 2. 1 Windows の設定 (プリンターサーバー)」の「(2) プリンターおよびポートの追加」を参考にして、ドライバーをインストールしてください。



- 6) 通常使うプリンターにするか選んで「次へ」をクリックします。



7) 「完了」をクリックしてクライアントの設定は終了です。

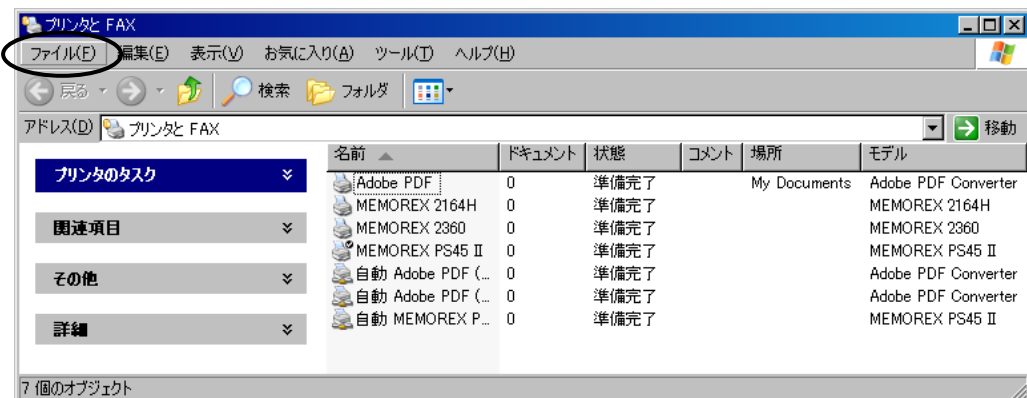


6. 2. 4 プリンタードライバーの削除

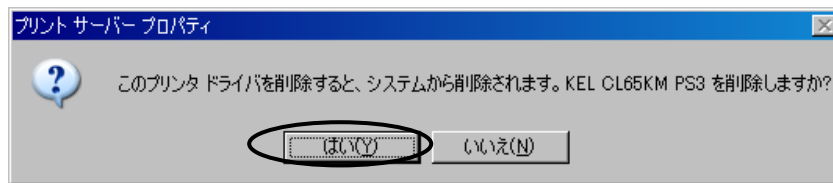
- 1) 「スタート」→「設定」→「プリンタとFAX」をクリックします。
- 2) 作成されているプリンターのアイコンを右クリックし、「削除」をクリックし、プリンターアイコンを削除します。



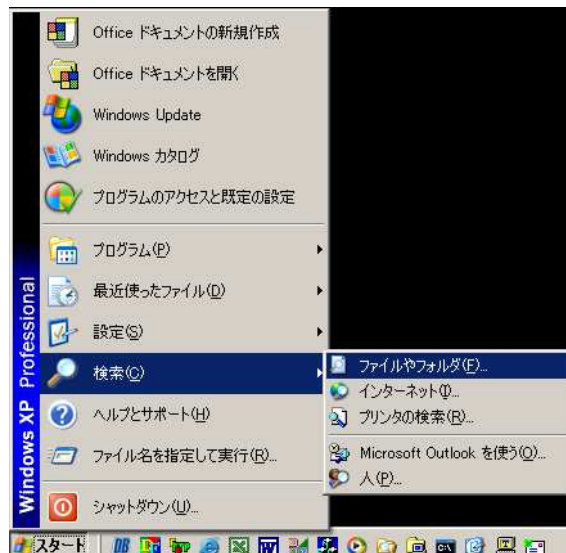
3) 「ファイル」→「サーバーのプロパティ」をクリックします。



- 4) [ドライバ] タブをクリックします。 削除するプリンタードライバーをクリックします。「削除」をクリックし、ドライバーを削除します。

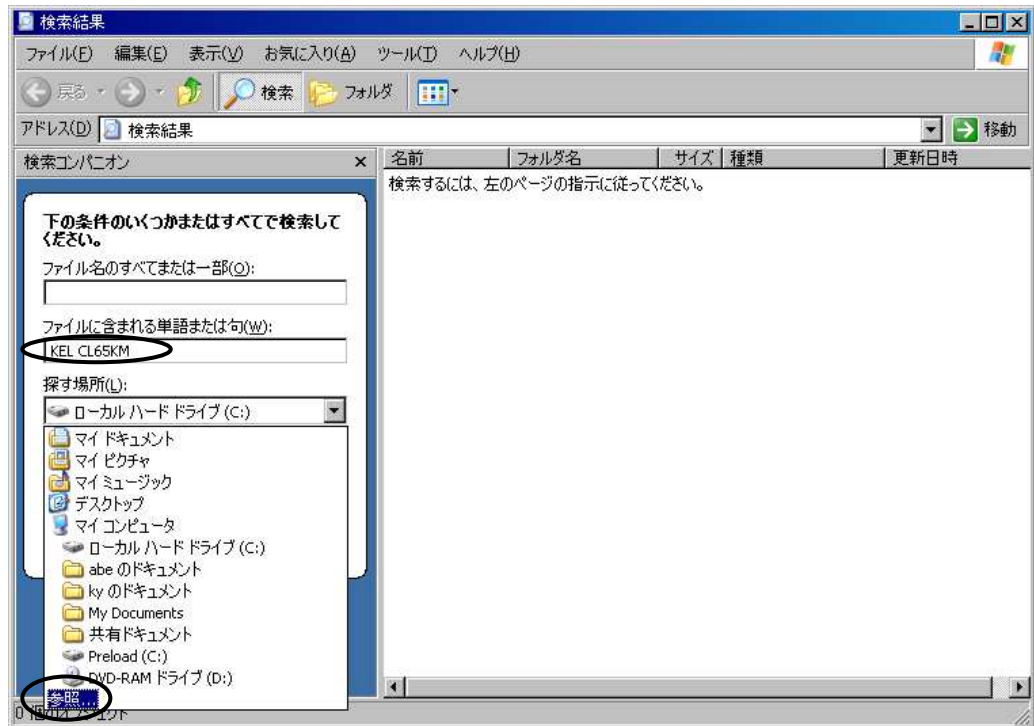


- 5) 「スタート」 → 「検索」 → 「ファイルやフォルダ」 をクリックします。



- 6) 「ツール」 → 「フォルダオプション」 をクリックします。
 [表示] タブをクリックします。「詳細設定」ボックスの「すべてのファイルとフォルダを表示する」にチェックし、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックをオフにします。(プリンタードライバーの削除が完了したら、元の設定に戻してください)

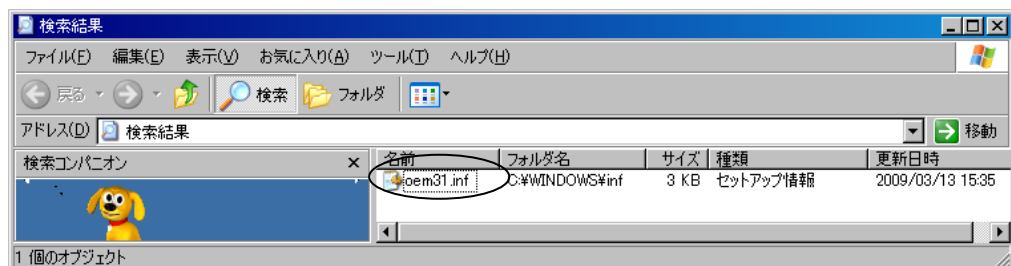
- 7) 「含まれる文字列」ボックスに半角大文字で「KEL CL65KM」と入力します。「探す場所」ボックスから「参照」をクリックします。



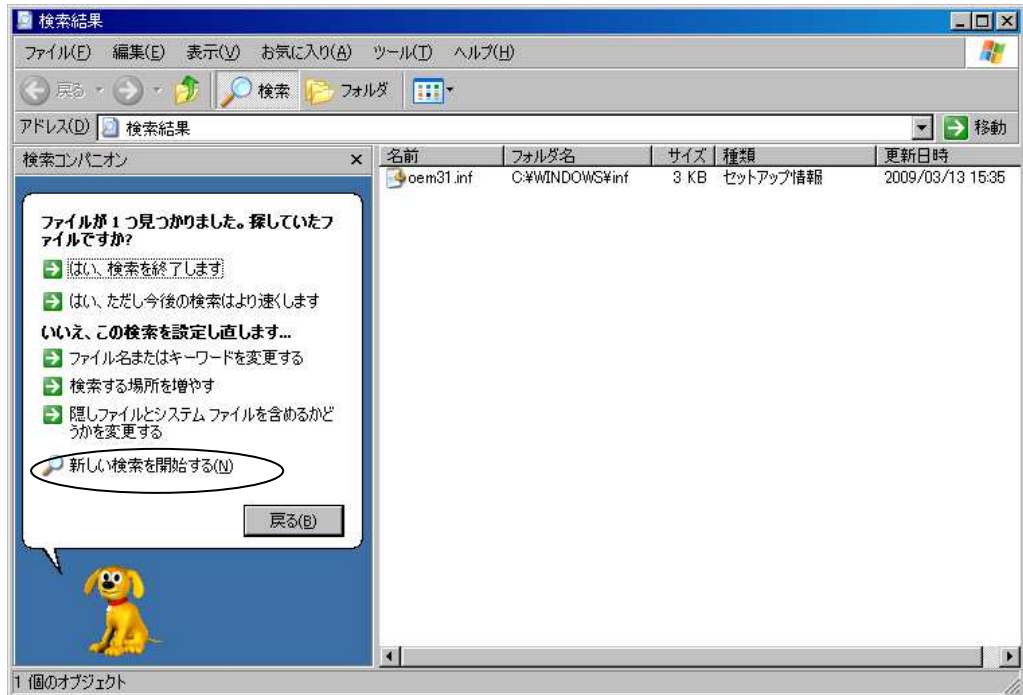
- 8) 「検索するディレクトリの選択」から Windows 2000/XP がインストールされているディレクトリの「inf」をクリックし、「OK」をクリックします。



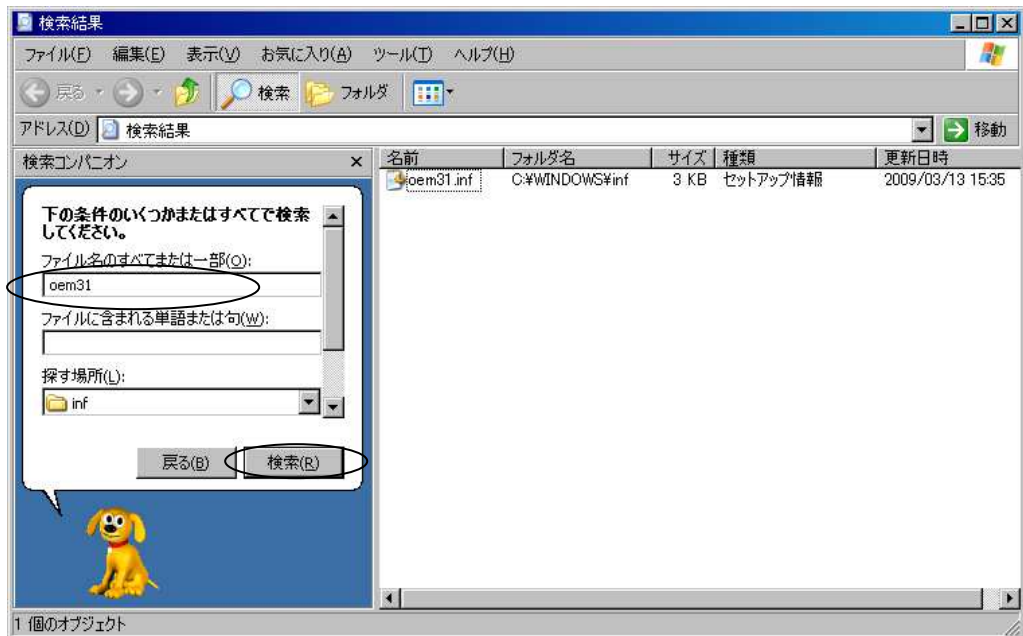
- 9) [検索] をクリックして、ファイルを検索します。
10) 検索結果に表示されたファイル名を確認します。今回は「oem31.inf」を表示。



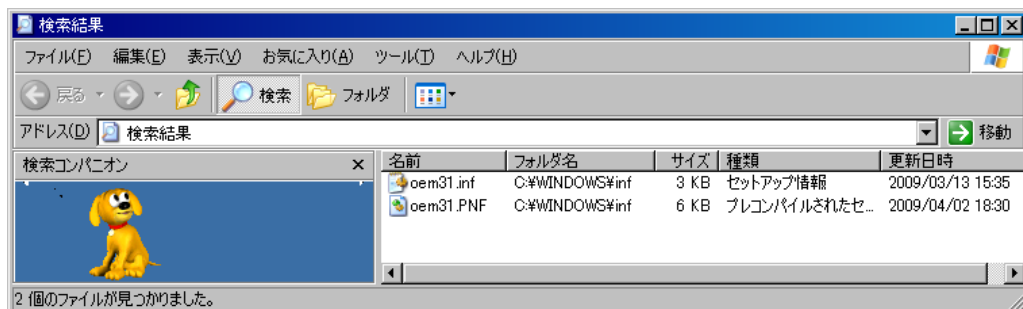
1 1) 「新しい検索を開始する」をクリックします。



1 2) 「ファイルまたはフォルダの名前」に上記で検索された「oem31」を入力し、「含まれる文字列」は削除します。



1 3) 「検索開始」をクリックします。今回は「oem31.inf」と「oem31.PNF」を表示。



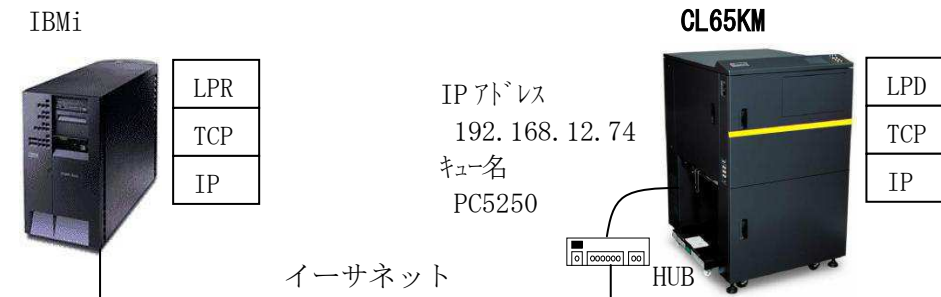
1 4) 見つかった「oem36.inf」と「oem36.PNF」を削除します。

1 5) コンピューターを再起動します。

6. 3 IBM iからのLPR接続印刷（IBM接続オプション追加時）

KEL CL65KMは、IBM iからエミュレータを介さずにLPR接続で直接印刷することができます。

■ IBM iのTCP/IP接続図



6. 3. 1 出力待ち行列作成

- 1) IBM iのコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
CRTOUTQ [実行キー]

出力待ち行列作成 (CRTOUTQ)		
出力待ち行列	OUTQ	> <u>CL65KM</u>
ライブラリ		<u>*CURLIB</u>
スプール・ファイル最大サイズ	MAXPAGE	-
ページ数		<u>*NONE</u>
開始時刻		_____
終了時刻		_____
値の続きは+		
待ち行列上のファイルの順序	SEQ	<u>*FIFO</u>
遠隔システム	RMTSYS	> <u>*INTNETADR</u>

遠隔印刷装置待ち行列	RMTprtQ	> <u>PC5250</u>

自動開始する書き出しプログラム	AUTOSTRWTR	<u>*NONE</u>
書き出しプログラムMSG用待ち行列	MSGQ	<u>QSYSPRO</u>
ライブラリ		<u>*LIBL</u>
接続タイプ	CNNTYPE	> <u>*IP</u>
宛先タイプ	DESTTYPE	<u>*OS400</u>
ホスト印刷の形態	TRANSFORM	> <u>*NO</u>
ユーザー・データ変形	USRDATAFM	<u>*NONE</u>
ライブラリ		_____
インターネット・アドレス	INTNETADR	> <u>192.168.12.74</u>
:		

網掛け部分を設定してください。

- OUTQ : 任意の出力待ち行列名を設定してください。
- RMTSYS : *INTNETADR を設定してください。
- RMTprtQ : プリンターのキュー名を PC5250 にしてください。
- CNNTYPE : *IP を設定してください。
- TRANSFORM : *NO を設定してください。
- INTNETADR : IPアドレスを設定してください。

6. 3. 2 プリンターの起動

- 1) 出力待ち行列が作成されたかを確認します。
 IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
WRKOUTQ [実行キー]

全ての出力待ち行列の処理					
OPT	待ち行列	ライブラリ	ファイル	書出しプログラム	状況
—	CL65KM	QUSRSYS	0		RLS

- 2) 出力待ち行列を起動します。
 IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
STRRTWTR CL65KM FORMTYPE(* ALL *MSG) [実行キー]

全ての出力待ち行列の処理					
OPT	待ち行列	ライブラリ	ファイル	書出しプログラム	状況
—	CL65KM	QUSRSYS	0	CL65KM	RLS

コマンド
 ===>

F3=終了 F4=プリント F5=最新情報 F12=取消し F24=キーの続き
 読み取りプログラムまたは書出しプログラム 02382/QSPLJOB/CL65KM は、ライ...

正常に動作した場合は網掛けのようなメッセージを表示します。

6. 3. 3 接続テスト

- 1) PING コマンドを発行します。
 IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
PING '192.168.12.74' [実行キー]
- 2) 結果を確認します。
 IBM i のコマンド行で以下のコマンドを実行してください。
WRKJOB [実行キー]
10 [実行キー]
 [F10 キー]
 [前頁キー]

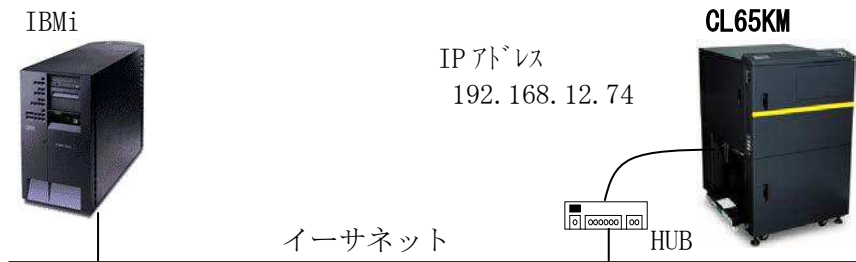
全ての出力待ち行列の処理
8 > PING '192.168.12.74' ホスト・システム 192.168.12.74 への接続を検査中である。 接続検査 1 に.208 秒かかった。1 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 2 に.007 秒かかった。2 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 3 に.017 秒かかった。3 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 4 に.025 秒かかった。4 への接続検査は正常に行なわれました。 接続検査 5 に.007 秒かかった。5 への接続検査は正常に行なわれました。 往復 (ミリ秒) 最小/平均/最大 = 7/52/208 接続検査の統計 : 5 の 5 は正常に実行された (100%) 。

- 3) 正常に接続されている場合上のようなメッセージが表示されます。

6. 4 IBM iからのTN5250E接続印刷 (IBM接続オプション追加時)

KEL CL65KMは、IBM iとTN5250E接続で直接印刷することができます。

■ IBM iとのTN5250E接続図



【注意】 ・ TN5250Eプリンターセッションをサポートするには、i5/OS (OS/400) V5R4以降で最終のPTFを適用の上で使用することを推奨します。
 (2013/2 現在。IBM がサポートを終了したバージョンのOSにつきましてはサポートできない場合がございます)

6. 4. 1 IBM iの確認

IBM iの以下の項目を確認します。

- (1) OS/400のバージョンおよびPTF確認
- (2) 接続するIBM iのIPアドレス

1) OS/400のバージョンおよびPTF確認

IBM iのコマンド行で以下のコマンドを実行してください。

DSPPTF [実行キー]

```

                P T F の 状 況 の 表 示
基本オプションのリリース . . . . . : V4R3M0 L00
PTF
OPT ID          状況
:
MF21146        永久的に適用
:
    
```

2) IBM iのIPアドレス

IBM iのコマンド行で以下のコマンドを実行してください。

WRKTCPSTS *IFC [実行キー]

```

                T C P / I P インターフェイス状況の処理
OPT インターネット・アドレス ネットワーク・アドレス 回線記述 インターフェイス状況
— 192.168.12.10 192.168.12.0 ETHERNET 活動中
    
```

6.4.2 プリンターの設定

ブラウザを起動し KEL CL65KM にWeb接続します。[管理者]としてログインし、TN5250E接続に必要なネットワーク項目について設定を行います。設定方法については、「第5章 Web設定」を参照してください。

設定項目	設定例	
・有効/無効	有効	
・Host IP アドレス	192.168.12.10	※1
・ポート番号	23	
・デバイス名	TN5250P	※2
・メッセージ待ち行列	QSYSOPR	
・メッセージライブラリー	*LIBL	
・自動接続	オン	※3
・Keep-Alive 周期	0	
・Keep-Alive タイムアウト	0	

※1 接続する IBMi の IP アドレスです。

※2 IBMi 上に同一名で“出力待ち行列”が作成されます。

※3 IBMi から切断された場合、自動的に再接続をプリンター側から開始するかを設定します。

6.4.3 接続

KEL CL65KM の電源を「オン」にすると、正しく設定がされていると IBMi 上に制御装置、装置記述が作成されます。

WRKCFGSTS *CTL [実行キー]

CTL	記述	状況	構成状況処理	ジョブ
:				
—	QVIRCD0001	活動状態		
—	TN5250P	活動状態		
:				

6.5 IBMiからの外字印刷（IBM接続オプション追加時）

外字印刷をするためには KEL CL65KM に外字データをファイルとして持たせ、各セッションで使用する外字ファイルを選択、設定する必要があります。

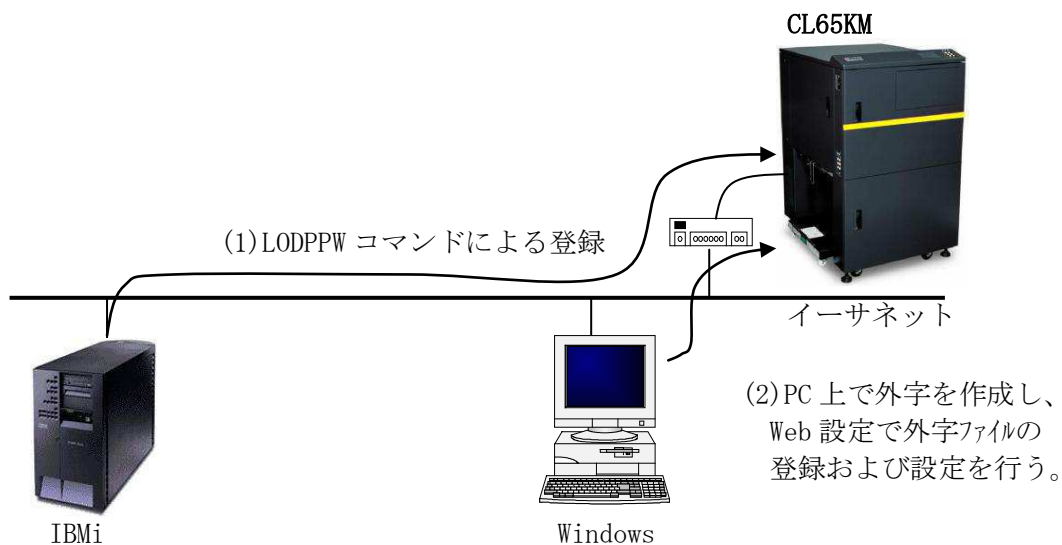
以下の2通りの外字登録方法があります。各々について説明します。

- (1) LODPPWコマンドによる外字登録
- (2) Windowsの外字エディタで外字を作成し登録

【注意】・漢字コード6941～7FFEは外字登録となっています。

- ・外字が未登録の場合には‘罨’を印刷します。
- ・1つの外字ファイルが扱える文字数は、LODPPWの場合4,370文字、Windowsで作成した場合1,880文字です。
- ・外字ファイル名を違えることで複数の外字を使い分けすることができます。パターン選択ごとに使い分けすることができます。セッションで同じ外字を使用する場合、使用するパターン全てに外字ファイルを設定してください。
- ・追加登録はできません。現在の外字に追加分を加えたファイルを作成し再登録してください。

■TCP/IP接続の外字登録概略図



6.5.1 LODPPWコマンドを使用して外字を登録する方法

LODPPWコマンドを実行することで、KEL CL65KM に接続している各セッション毎に任意の外字ファイルが作成されます。また、外字データを受信することで各セッションの印刷項目で設定している外字ファイル名を変更します。LODPPWで登録できる文字サイズは、24x24 ドット、及び 32x32 ドットの2種類です。

【注意】 LODPPWによる登録は、24x24 ドット、または 32x32 ドットのドットプリンター用文字データを KEL CL65KM 用に拡大するため、印刷結果がギザギザになる傾向があります。

各セッションが受信した場合に作成される外字ファイル名は、以下のようになります。

項	セッション名	外字ファイル名
1	LPR5250	lodppw0. fnt
2	TN5250Eセッション1	lodppw1. fnt
3	TN5250Eセッション2	lodppw2. fnt
4	TN5250Eセッション3	lodppw3. fnt
5	TN5250Eセッション4	lodppw4. fnt

1) LODPPWを入力し、**F4**キーを押します。

ユーザー定義文字ロード (LODPPW)

選択項目を入力して、実行キーを押してください。

出力装置	<u>TN5250P</u>	名前, *FILE, *JOB, *SYSVAL
DBCS 文字サイズ	<u>24</u>	24, 32, 40
ロード・オプション	<u>*LOAD</u>	*LOAD, *CLEAR
範囲:		
開始文字	<u>*FIRST</u>	1-9999, *FIRST
終了文字	<u>*LAST</u>	1-9999, *LAST

- ・出力装置 : 外字登録を行う印刷装置記述名を指定します。
- ・DBCS 文字サイズ : 文字作成ユーティリティー(CGU)で作成した
"24"または"32"を指定してください。
- ・ロード・オプション : "*LOAD"を指定してください。
- ・範囲 : ロードする文字の開始番号・終了番号を指定します。

- 【注意】** ・印刷装置ファイル QPPPPRT が SPOOL=*NO が指定されていると、エラー・メッセージ「APP5101 印刷装置ファイル QAPS/QPPPPRT がオープンできない」が表示され、ロードできません。その場合は、' OVRPRTF FILE(QPPPPRT) SPOOL(*YES) ' と入力後、LODPPW コマンドを実行してください。
- ・LPR接続では出力装置名を指定できません。
そのため任意の出力装置を指定し、登録ファイルを作成します。その後、作成された印刷ファイルの出力待ち行列およびライブラリーを KEL CL65KM に変更し、登録します。

2) 出力装置を入力し、**実行**キーを押します。

外字登録 spool ファイルが作成され、プリンターヘデータが送られます。
作成された spool ファイルの転送が終了すれば、登録は完了です。

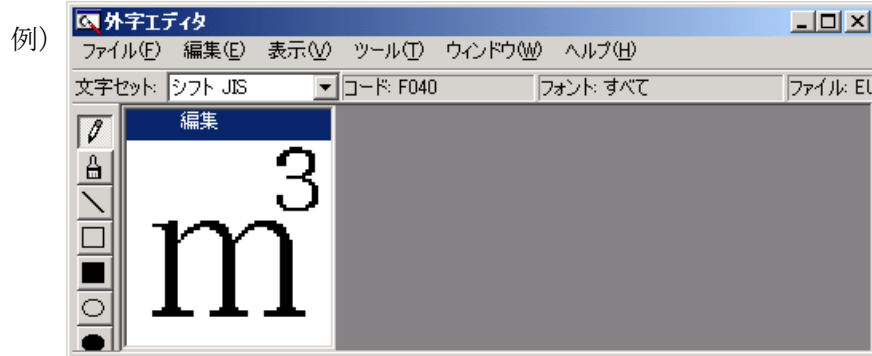
<参考情報>

以上の手順を行っても出力できない場合は、以下の項目をご確認下さい。

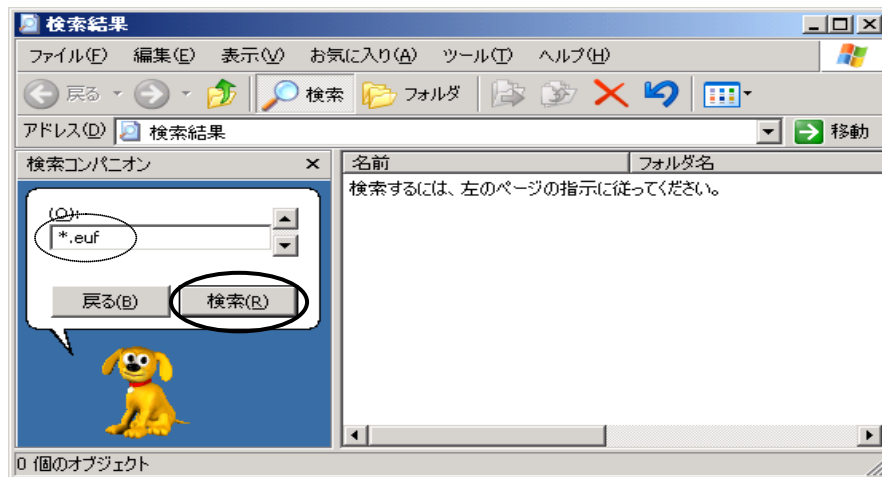
- ・印刷装置ファイルの中の外字(IGCEXNCHR)を*NOに指定すると出力できる場合があります。(OS/400のバージョンやPTFのレベルによって、異なる可能性があります)
- ・印刷装置ファイル QPPPPRT のスプールが印刷終了しているか、LODPPW を実行したセッションで WRKJOB にて状況を確認してください。

6. 5. 2 Windowsの外字エディタで外字を作成し登録する方法

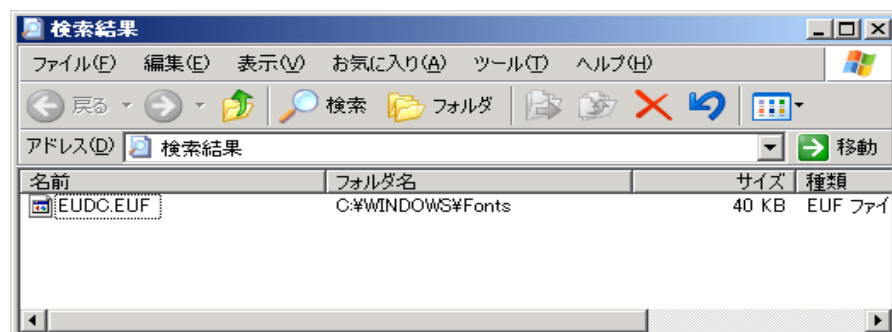
- 1) 付属のサポートCD-ROMの”UTILITY”を選択し、“mrxfntc.exe”をWindowsの作業ディレクトリにコピーします。
- 2) Windowsの外字エディタを使用して外字を作成します。
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「外字エディタ」



- 3) 作成した外字のファイルを検索します。
「スタート」→「検索」→「ファイルやフォルダ」



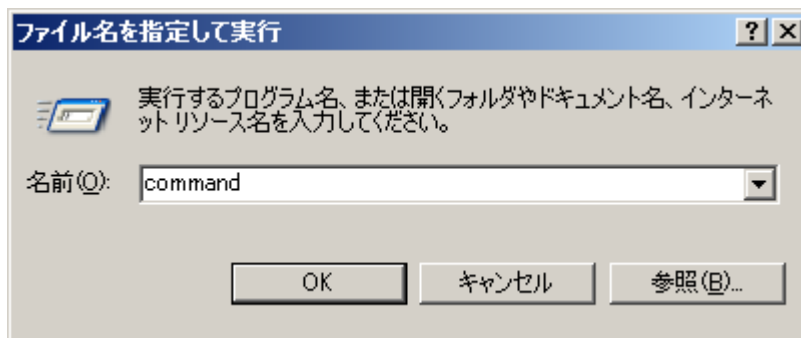
- 4) 外字ファイル (*.euf) をローカルハードディスクで検索します。
「検索開始」をクリックします。



- 5) シングルトask用“DOS窓”を起動します。
 「スタート」→「ファイル名を指定して実行 (R) ...」

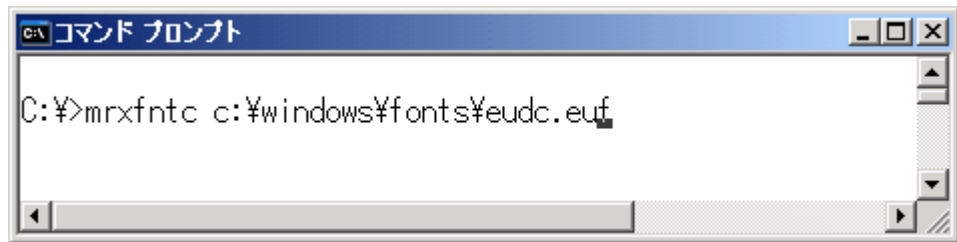


名前 (O) : command と入力して OK をクリックします。



【注意】 Mrxfntc.exe はマルチタスク用 “D o s プロンプト” に対応していません。
 WindowsXP で「スタート」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を起動すると、マルチタスク用コマンドプロンプトが起動しますので注意してください。

- 6) “mrxfntc.exe”をコピーした作業ディレクトリに移動し、“mrxfntc”に続けて作成した外字のファイル名を入力して実行します。



- 7) 変換テーブルを使用する場合”y”を入力し、変換テーブルファイル名を入力します。外字ファイル”mrxfnt.fnt”が作成されます。



- 8) 作成された外字ファイル名を、任意のファイル名に変更してください。以上で登録する外字ファイルの作成は完了です。

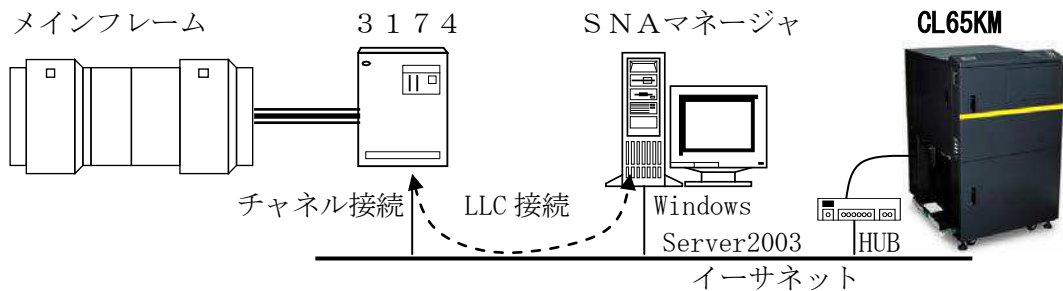
【注意】 外字ファイル名には、英数文字を使用してください。

- 9) 作成した外字ファイルをプリンターに登録します。登録方法は「第5章 5.13 外字管理」を参照してください。

【注意】 ・KEL製ラインプリンターの外字登録用にすでに作成されている外字ファイル”mrxfnt.fnt”を、そのまま使用することが可能です。
 ・各セッション毎に使用する外字ファイルを選択する必要があります。
 「第5章 Web設定」で使用するセッションの設定項目を参照してください。

6.6 TN3270E接続の印刷（IBM接続オプション追加時）

■ HOST Integration Server(SNAマネージャ) とのTN接続図



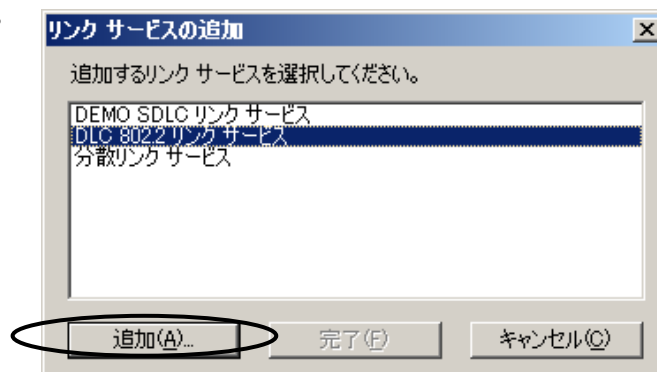
6.6.1 SNAマネージャの設定

(1) リンクサービスの設定

- 1) WindowsServer2003の「スタート」→「プログラム」に登録されている「Microsoft HOST Integration Server」の「SNAマネージャ」を起動します。
- 2) 「リンク サービス」内で右クリック → 「新規作成」 → 「リンク サービス (L)」を選択します。



- 3) 追加する「リンク サービス」は“DLC 802.2 リンク サービス”を選択して下さい。

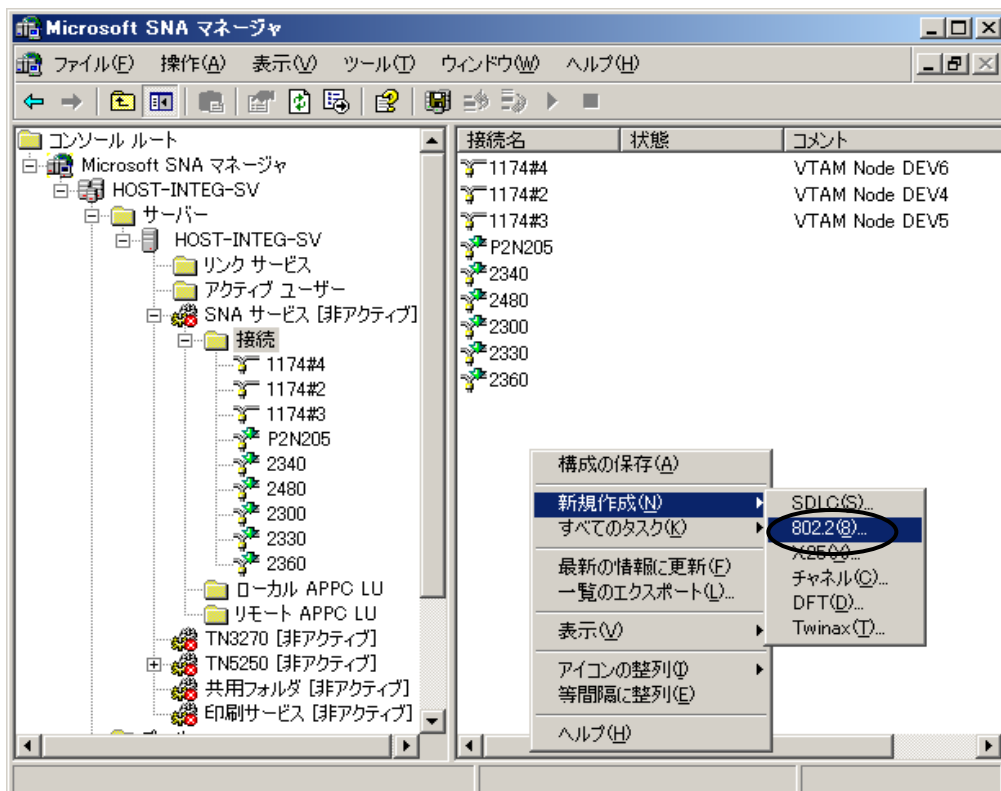


- 4) 3174 と SNA サーバ間の 3 つのリンクを判別するために SAP を変更しています。SAP = 0x4 の SNADLC1 は、プリンター間のリンクも兼ねています。

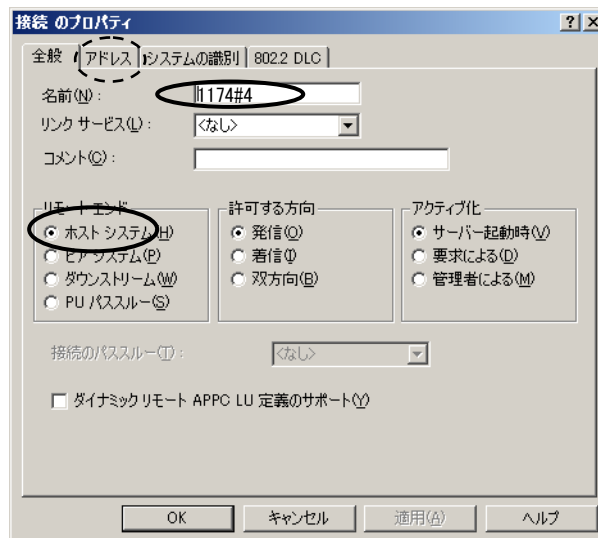


(2) 802.2 接続を追加

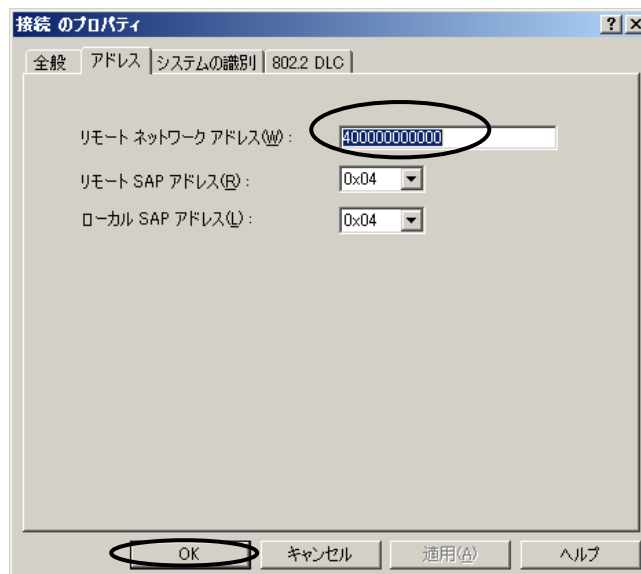
- 1) 「SNA サービス」の「接続」フォルダ内で右クリックして「新規作成」→802.2(8)」を選択します。



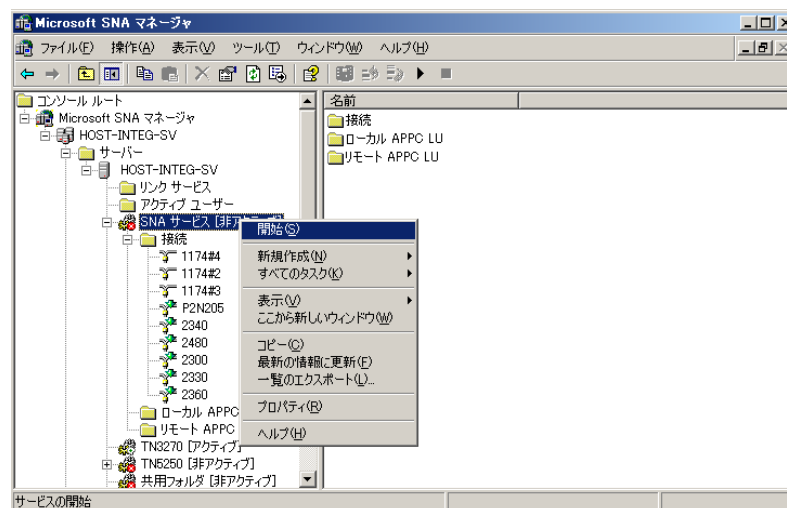
- 2) 3174と接続するために「ホストシステム」を選択し、名前を入れて「アドレス」をクリックします。



- 3) 3174のMACアドレスを設定し、「OK」をクリックします。



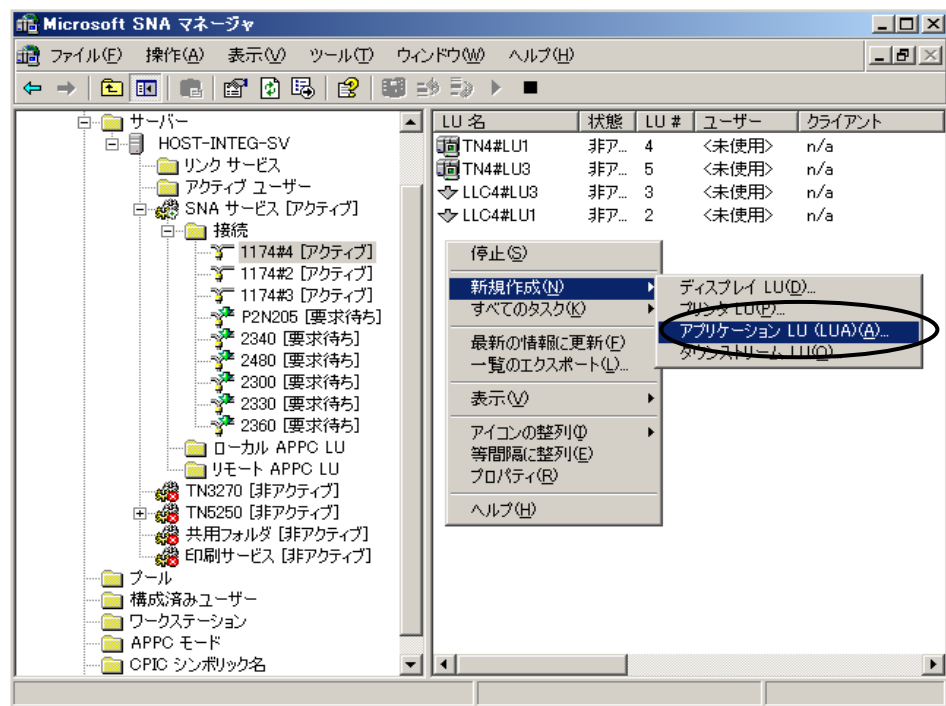
- 4) 「SNAサービス」を選択し、名前を入れて「開始」します。



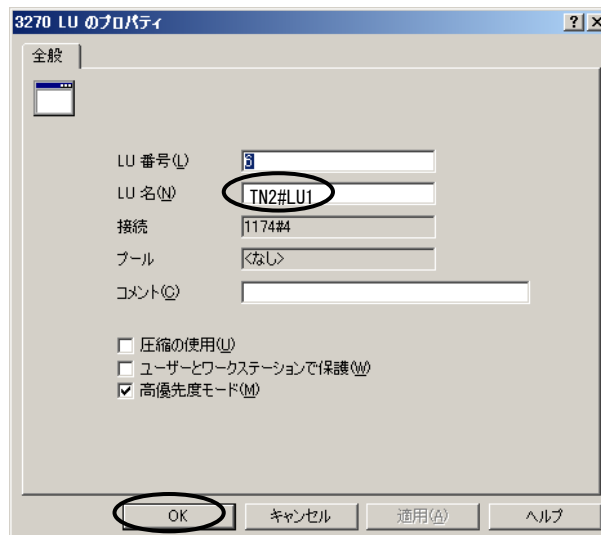
- 5) 同様に802.2接続を開始します。

(3) TN3270接続を追加

- 1) 802.2 接続内で、右クリック → 「新規作成」 → 「アプリケーション LU (LUA)」を選択します。

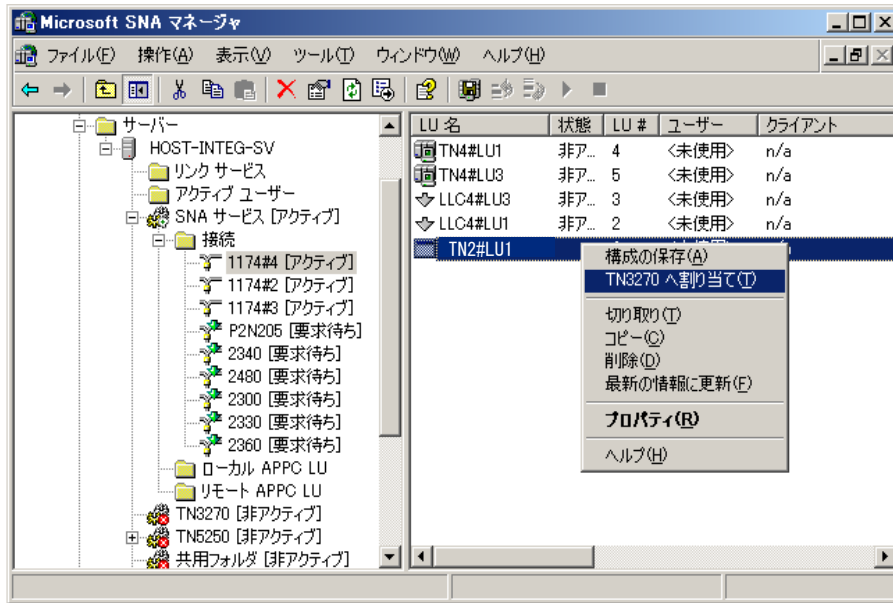


- 2) LU名を記入して、「OK」をクリックします。
プリンター側 (KEL CL65KM で設定する LU名) の設定は、ここで指定した LU名を指定して下さい。

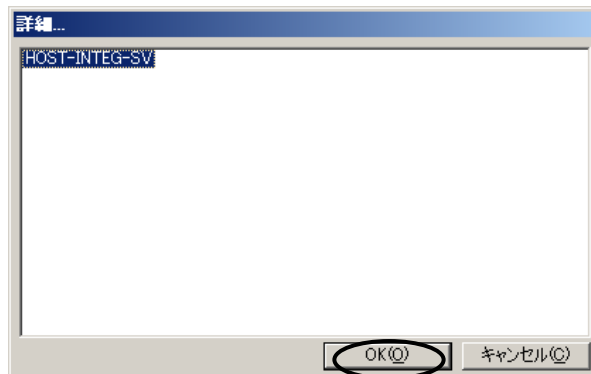


(4) TN3270接続用割り当て

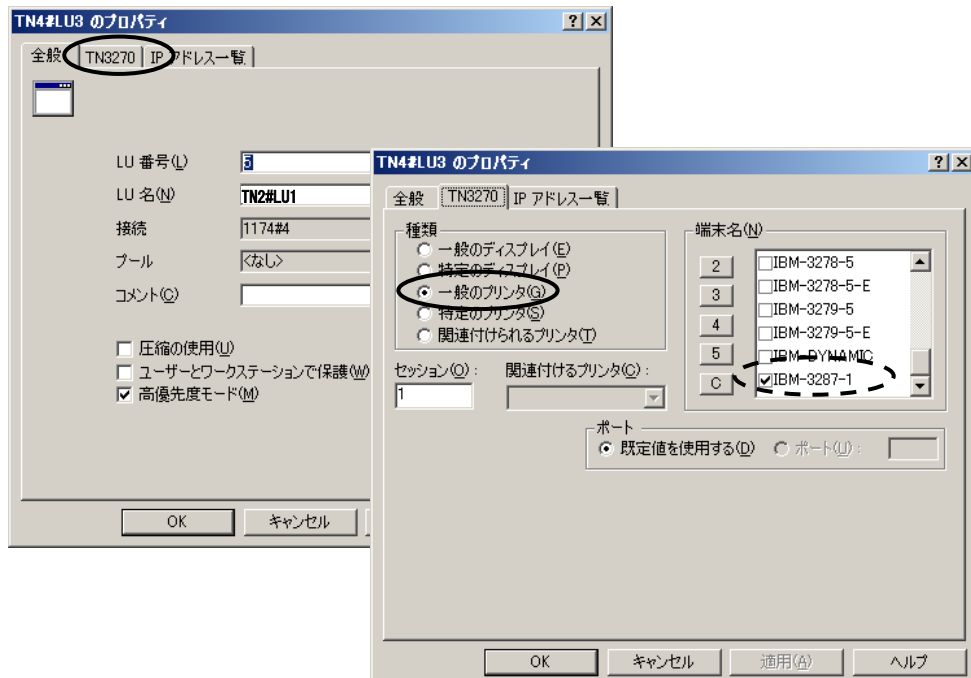
1) 作成されたLUを右クリックして「TN3270へ割り当て」を選択します。



2) サーバーを選択して「OK」をクリックします。

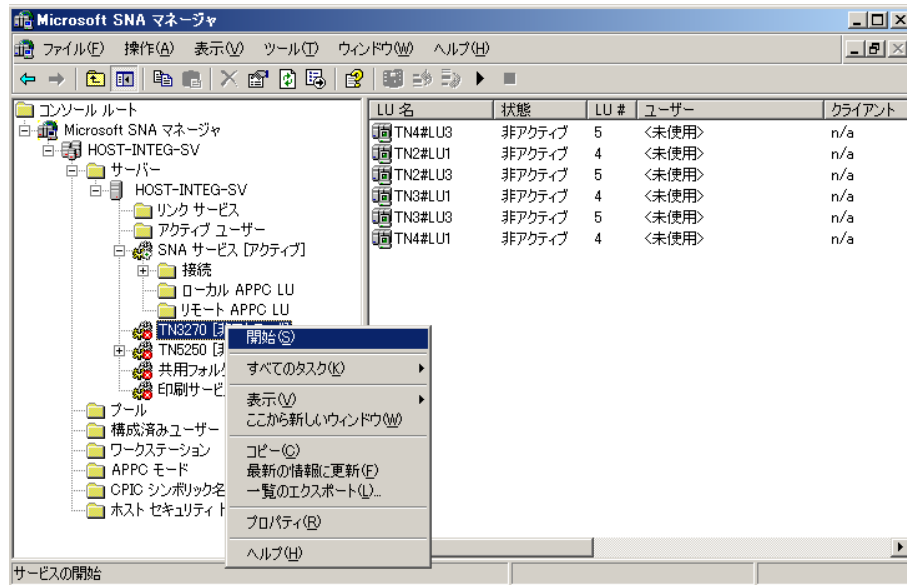


3) TN3270から、「一般のプリンタ」を選択して「OK」をクリックします。



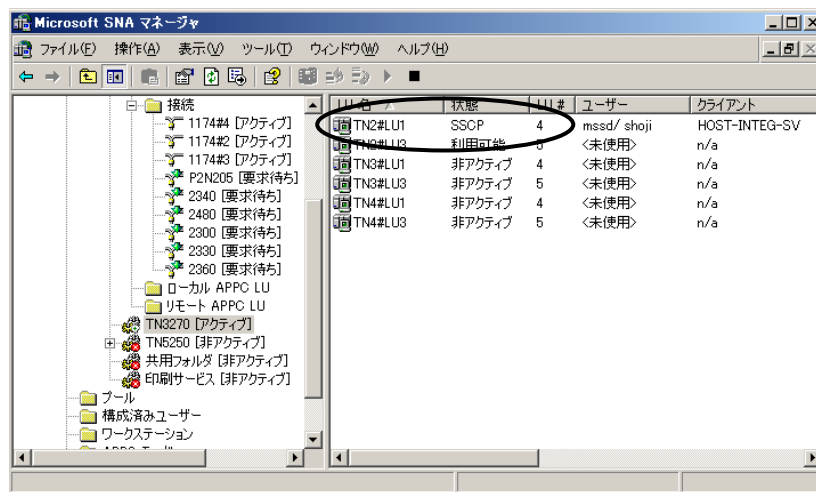
(5) TN3270の開始

- 1) 「TN3270」を右クリックして「開始」を選択します。



- 2) TN3270接続の印刷可能状態を確認します。

状態が「SSCP」となっていれば、印刷可能です。(一旦、印刷をすると「活動中」に変わります。)

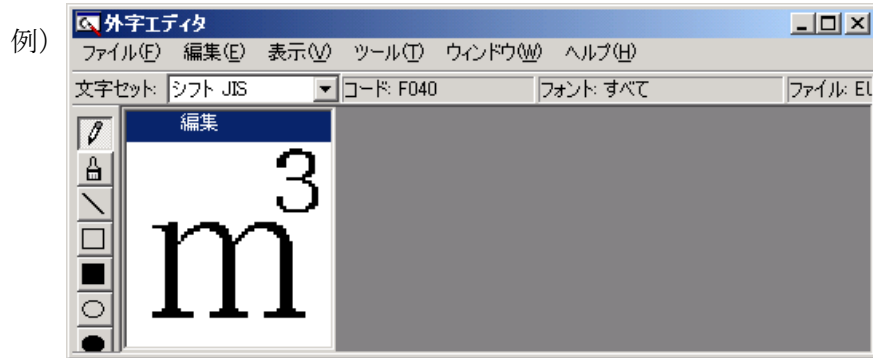


- 【注意】**
- ・本プリンターのTN3270エミュレーションは、RFC1646、RFC1647のプリンターセッションをサポートします。
 - ・プリンタクラス名は「IBM-3287-1」です。ただし、「PA1」, 「PA2」, 「CANCEL」スイッチ処理と、NVTモードはサポートされません。

6.6.2 TN3270E接続の外字印刷

外字を印刷するためには、KEL CL65KMに外字を登録する作業が必要です。
登録できる外字文字数は1,880文字です。

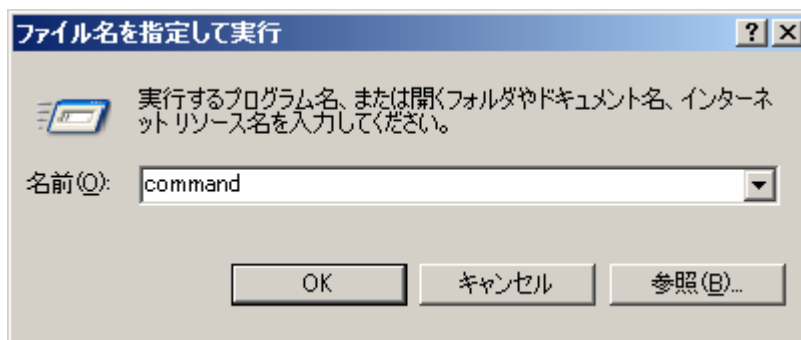
- 1) 付属のサポートCD-ROMの“UTILITY”を選択し、“mrxfontc.exe”をWindowsの作業ディレクトリにコピーします。
- 2) Windowsの外字エディタを使用して外字を作成します。
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「外字エディタ」



- 3) シングルタスク用“DOS窓”を起動します。
「スタート」→「ファイル名を指定して実行(R) ...」

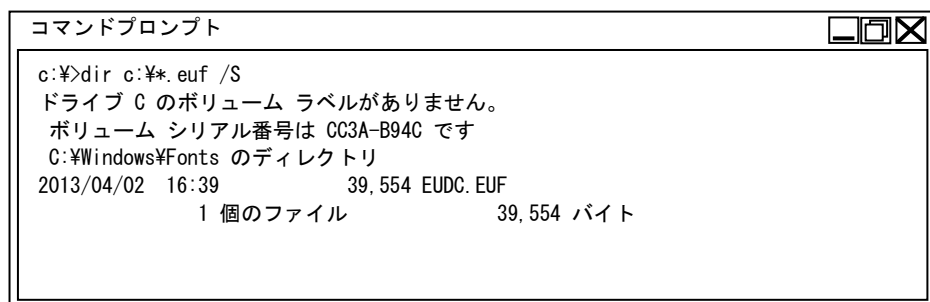


名前(O) : command と入力して OK をクリックします。

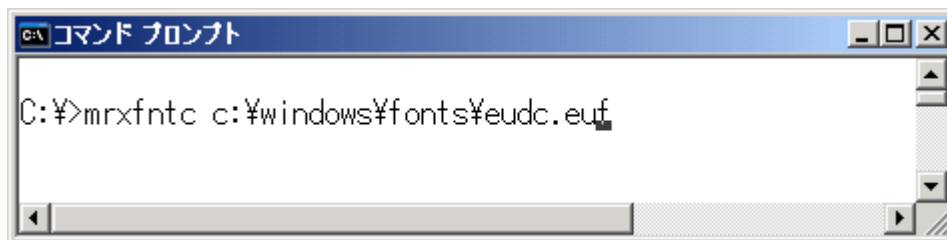


- 【注意】 Mrxfntc.exe はマルチタスク用 “DOS窓” に対応していません。
WindowsXP で「スタート」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を起動すると、マルチタスク用コマンドプロンプトが起動しますので注意してください。

- 4) 作成した外字ファイル (*.euf) を検索します。 (“dir c:¥*.euf /S”)



- 5) “mrxfntc.exe”をコピーした作業ディレクトリに移動し、“mrxfntc”に続けて検索した外字のファイル名を入力して実行します。



- 6) 変換テーブルを使用する場合” y”を入力し、変換テーブルファイル名を入力します。外字ファイル” mrxfnt.fnt”が作成されます。



- 7) 作成された外字ファイル名を、任意のファイル名に変更してください。
 以上で登録する外字ファイルの作成は完了です。

【注意】 外字ファイル名には、英数文字を使用してください。

- 8) 作成した外字ファイルをプリンターに登録します。
 登録方法は「第5章 5. 13 外字管理」を参照してください。

【注意】

- ・KEL製ラインプリンターの外字登録用にすでに作成されている外字ファイル”mrxfnt.fnt”を、そのまま使用することが可能です。
- ・各セッション毎に使用する外字ファイルを選択する必要があります。
 「第5章 Web設定」で使用するセッションの設定項目を参照してください。

6.7 SNMPの設定

KEL CL65KM はSNMPを搭載しています。使用するためにはWebブラウザを使用してパラメータ設定を行う必要があります。

構成パラメータについて、以下に説明します。

- (1) **Trap Address :**
SNMPトラップを送信するIPアドレスを設定します。
- (2) **Community Name :**
CL65KMのコミュニティ名を設定します。最大長128文字です。
デフォルトは“public”です。
- (3) **System Name :**
CL65KMのノードの名前を設定します。最大長128文字です。
- (4) **System Location :**
CL65KMの置かれた物理的位置を設定します。最大長128文字です。
- (5) **System Contact :**
CL65KMの管理者の名前と連絡方法を設定します。最大長128文字です。

6.8 Keep-Alive機能の設定 (IBM接続オプション追加時)

KEL CL65KM は、ホスト接続 (TN5250E、TN3270E) において、セッションの状態を確認するKeep-Alive機能を搭載しています。使用するためにはWeb設定からパラメータ設定を行う必要があります。

構成パラメータについて、以下に説明します。

- (1) **Keep-Alive Frequency :** (0~60分)
Keep-Aliveパケットを発行する周期を設定します。
出荷時: 0 (発行しない)
- (2) **Keep-Alive Timeout :**
設定した値により、以下の動作を行います。
 - ・ 0 (出荷時) : Keep-AliveパケットとしてNopを発行します。
Keep-Aliveパケットを発行後、60秒経過しても応答がないと、セッションを切断します。その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。
 - ・ 1~3600秒: Keep-AliveパケットとしてTiming-Markを発行します。Keep-Aliveパケットを発行後、設定時間(秒)経過しても応答がないと、セッションを切断します。
その後、自動接続設定に応じて再接続を行います。

【注意】 Keep-Aliveの機能を十分理解した上で使用してください。

このページは、白紙となっています。

第 7 章

装 置 仕 様

KEL CL65KM

7. 1	装置仕様.....	7-2
7. 2	印刷保証範囲.....	7-3
7. 3	印字精度.....	7-3
7. 4	外形寸法・重量.....	7-3
7. 5	環境条件.....	7-4
7. 6	電源条件.....	7-4
7. 7	寿命.....	7-4
7. 8	外形寸法図.....	7-5

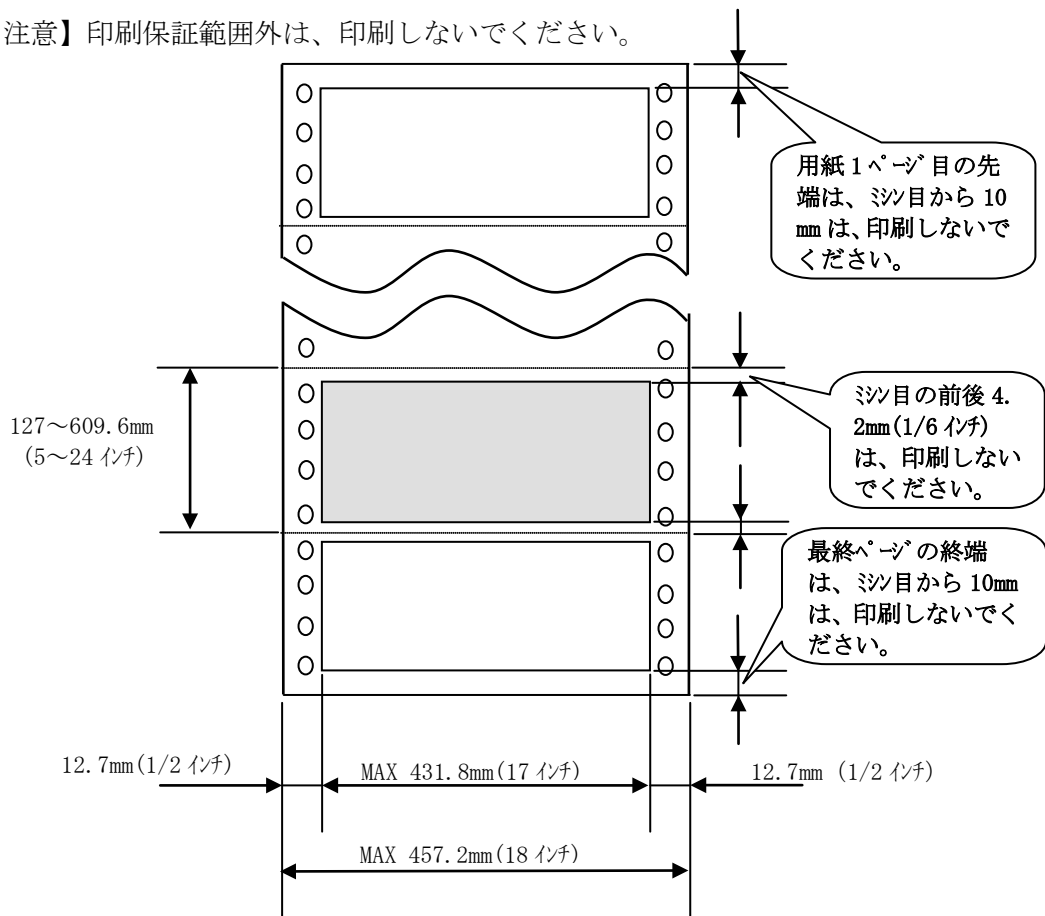
7. 1 装置仕様

項目	仕様
印刷方式	静音型フラッシュ定着によるレーザ露光方式電子写真プリンター
印刷速度	3300LPM(6LPI) 14m/分
解像度	400/600 dpi
最大印字可能幅	17インチ(431.8mm)
用紙	幅: 6~18インチ(152.4mm~457.2mm) 長さ: 5~24インチ(127.0mm~609.6mm) 連量: 52kg~186kg 但し、スタッカの積載可能長さは16インチ(406.4mm)まで
用紙厚さ	3.06~11.0MIL(0.0777~0.2791mm) 1MIL=1/1000インチ(11.0MILは保証外)
給紙用紙高	11.8インチ(300mm)
排紙用紙高	11.8インチ(300mm)
行間隔	2, 3, 4, 5, 6, 7.5, 8 行/インチ *1
文字間隔	漢字 : 5, 6, 6.7, 7.5 文字/インチ *1 英数カナ: 10, 12, 13.4, 15, 18 文字/インチ
文字フォント	OPEN系 : 明朝体、ゴシック体 IBM HOST系: JIS第1、第2水準、IBM選定文字セット
インターフェイス	Ethernet 1000 Base-T /100 Base-TX /10 Base-T(自動切替)
プロトコル	OPEN系 : LPR, Port9100, IPP IBM HOST系: TN3270E, TN5250E, LPR5250
電源	AC200~240V 50/60Hz 単相 30A コネクタ:NEMA規格3322N-L6 250V/30A
消費電力	最大: 4.8kVA 平均: 3.3kVA 待機時: 0.2kVA
使用環境条件	気温: 15~25℃ 湿度: 35~70%
装置寸法	902(W) × 940(D) × 1185(H) mm
重量	260kg

*1 IBM HOST(3270/5250)から出力する場合

7. 2 印刷保証範囲

【注意】印刷保証範囲外は、印刷しないでください。



- 連続印字中 : ミシン目の前後4.2mm(1/6インチ)より内側
- 用紙1ページ目先端 : ミシン目から10mmを除く
- 最終ページ後端 : ミシン目から10mmを除く

7. 3 印字精度

- 1) スキュー ±0.6mm/431.8mm(17インチ)以下
- 2) 印字開始位置精度
 - 主走査方向 6.7±0.4mm以内(用紙送り穴センターから)
 - 副走査方向 4.2±1.0mm以内(ページミシン目から)
 但し、用紙端から2ページ(558.8mm)は、4.2+1.0/-2.0mm以内とする。

【注意】用紙送り穴のがれが無い状態であること。
リバースモード動作直後の印刷では、ページ端に副走査方向±1.0mm以内の精度差が出る場合があります。

7. 4 外形寸法・重量

- 1) 外形寸法 幅720mm × 高さ1,185mm × 奥行940mm
(サクシヨンブレーキ,トラクタ,スタッカの飛び出し部を除く)
- 2) 重量 約260kg

7. 5 環境条件

1) 温度・湿度

温度 動作時 15℃～25℃
温度勾配 10℃/h以下、但し装置内で結露しないこと

湿度 動作時 35%～70%
湿度勾配 20%/h以下、但し装置内で結露しないこと

2) 騒音

動作時 62 dBA 以下
待機時 50 dBA 以下

3) 消費電力

動作時 約4.8 KVA
待機時 約0.2 KVA

4) 発熱量

印刷時 約13 MJ/h以下

5) 排出ガス

オゾン 0.04 mg/m³以下 (0.02 ppm 以下)
粉塵 0.25 mg/m³以下

7. 6 電源条件

1) 入力電源 単相 AC 200～240V±10% 30A

2) 周波数 50/60±3 Hz

3) 漏洩電流 3.5 mA 以下

4) 絶縁抵抗 DC 500V 7MΩ以上

5) 絶縁耐圧 AC 1500V、1分間

7. 7 寿命

- ・ ページ内はほぼ均一であり、約5%の印字密度で連続印刷とします。
- ・ 清掃がきちんとして行われていること。
- ・ トナーや現像剤などの消耗品は、純正品であること。

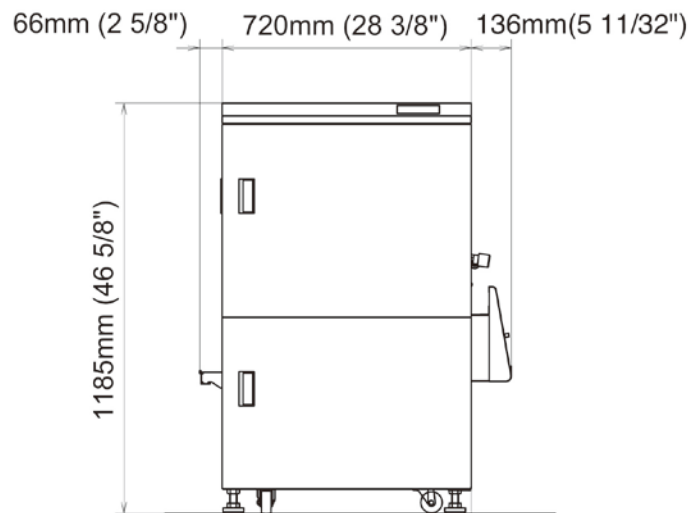
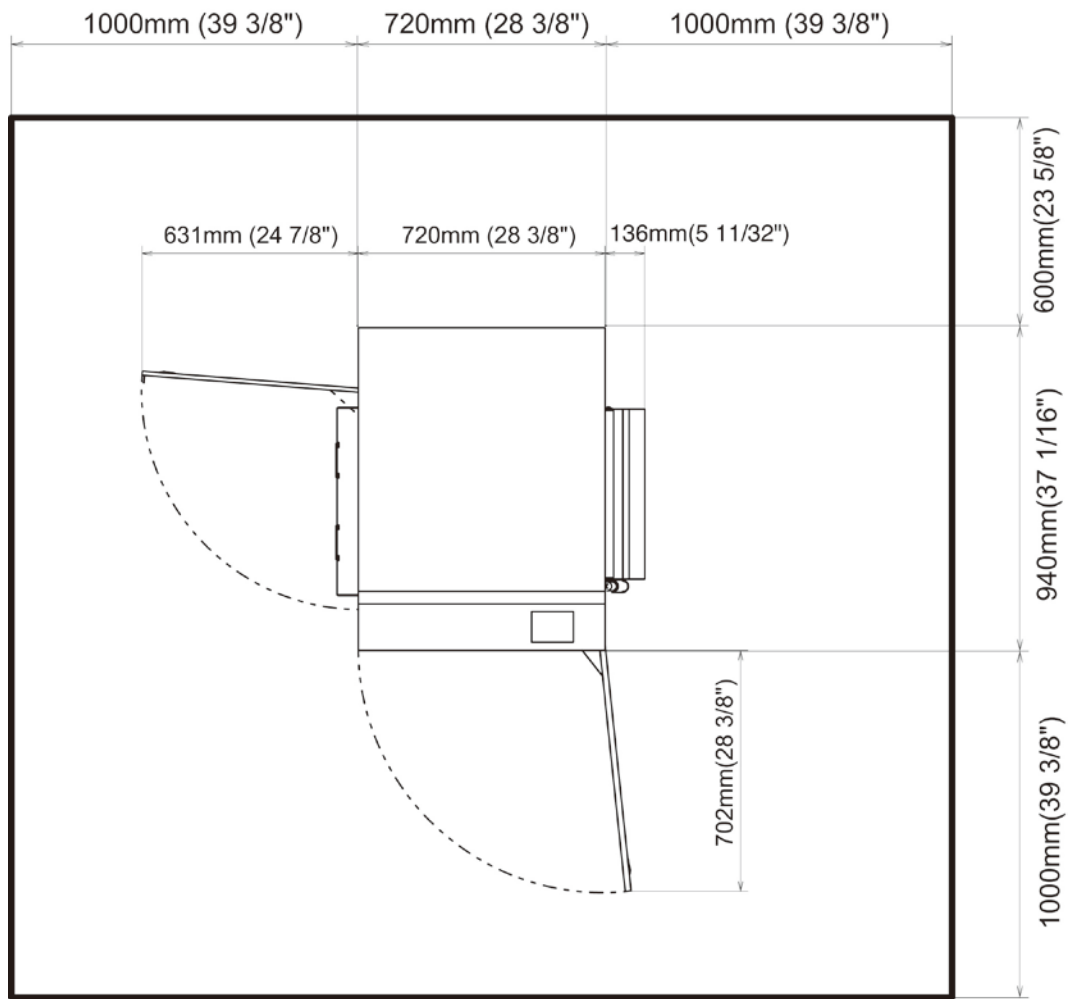
1) 使用条件

月間平均電源投入時間 300時間
月間平均印刷枚数 120,000ページ (最大400,000ページ)

2) 装置寿命

1440万ページ (11 x 15インチ連続紙) または5年間のうちいずれか早い方

7. 8 外形寸法図



このページは、白紙となっています。

第 8 章

媒体・消耗品仕様

KEL CL65KM

8. 1	用紙.....	8-2
8. 1. 1	用紙品質.....	8-2
8. 1. 2	用紙物性.....	8-2
8. 1. 3	用紙の保管.....	8-8
8. 1. 4	梱包.....	8-9
8. 2	消耗品・定期交換品.....	8-10

8. 1 用紙

本装置で使用できる用紙の基本仕様を説明します。用紙の種類は非常に多く、すべての仕様を取り上げることは困難です。

ここでは、一般的な基本仕様として最低限守っていただきたい項目について説明しています。使用する用紙は、以下の仕様を確認のうえ十分テストを行って問題のないことを確認のうえで使用してください。

株券、手形、小切手などの有価証券への印刷は保証できません。

8. 1. 1 用紙品質

- 1) 外観：汚れ、折れ、しわ、破れ、著しい彎曲などの致命的欠陥のないこと。
(汚れ：1.5 mm以下，折れ：3.0 mm以下，しわ、破れなきこと)
- 2) 紙質：反射率 70%以上の白色上質紙であること。
 - ・送り穴などのパンチ抜きかすの箱内への散乱や、用紙への付着がないこと。
 - ・ミシン目の絡み合いなどで後続の用紙が重なって持ち上がらないこと。
- 3) 切れ：最小枚数が 200 枚を下回らない範囲で 1 回以内とする。
 - ・「切れ目」のある箱については箱の外側に表示を行うこと。
 - ・切れ目の位置にはその旨を記述した赤色のテープを入れること。

8. 1. 2 用紙物性

- 1) 傾斜値 (カタギ)：印刷時の傾斜値は以下による。
(傾斜値は、高さ 50cm にて測定)

測定状態	傾斜値
印刷時	13.5 度以内

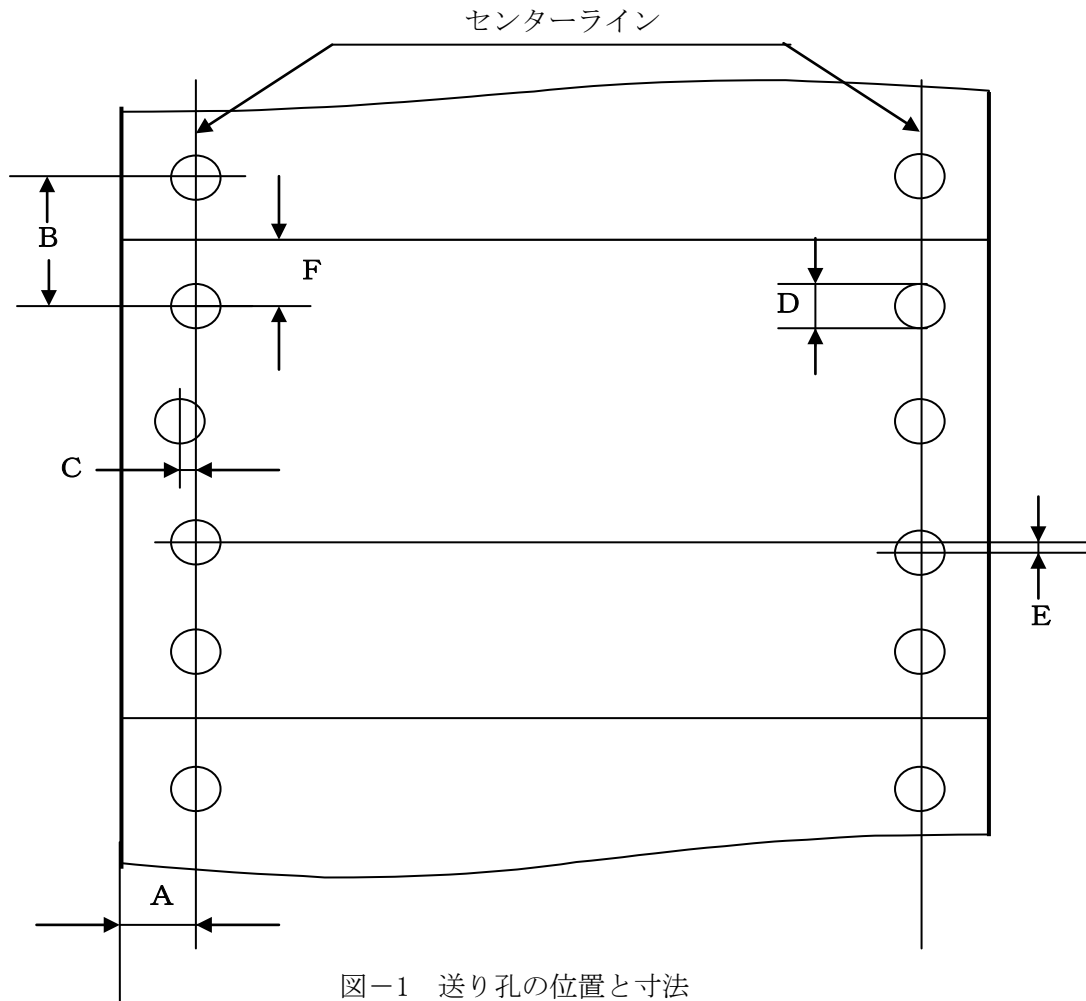
- 2) 伸縮率：大気中の伸縮率は以下による。
湿度が 30%から 70%に変化したときの元の長さに対する割合を示し、ヨコ方向がタテ方向より大きい。

測定状態	ヨコ方向	タテ方向
大気中	1%以内	0.5%以下

- 3) 表面電気抵抗率：表面電気抵抗率は以下とする。

温度条件	表面電気抵抗率
温度 23±1℃ 相対湿度 50±2%RH	4～50 (×10 ⁹ Ω)

- 4) 送り孔：用紙の両端に設け、完全に抜かれて切り口が極度にだれていないことが必要で、抜きかすが完全に除去されていること。
(送り孔の位置等は図 1 を満足すること。)



【注意】センターラインとは、送り方向に約 25.4 mm 離れた任意の二つの送り孔の中心を結ぶ線分を表します。

● 送り孔の位置 (A)

送り孔は、左右両端の余白にあける。送り孔のセンターラインと対応する端辺との距離Aは以下とする。

$$A = 6.0 \pm 0.7 \text{ mm}$$

● 送り孔の中心間距離 (B)

隣接する二つの送り孔の中心間距離Bは、以下とする。

$$B = 12.7 \pm 0.05 \text{ mm}$$

● 送り孔の中心間距離の累積誤差

送り孔の中心間距離の累積誤差は、送り孔中心間距離 254 mm を超えない任意の二つの送り孔の間で $\pm 0.3 \text{ mm}$ を超えてはならない。

● 送り孔の中心ずれ (C)

送り孔の中心のセンターラインに対する左右のずれの最大許容値Cは、以下とする。

$$C = 0.1 \text{ mm}$$

● 送り孔の直径 (D)

送り孔の直径Dは以下とする。

$$D = 4.0 \pm 0.1 \text{ mm}$$

【注意】 孔の縁が歯状になっている送り孔（菊形孔）の最小直径は、上記Dとして最大径が 4.4 mm を超えてはならない。

● 左右の対応する送り孔の中心ずれ (E)

左側の任意の送り孔の中心を通り、センターラインに垂直な直線とそれに対応する右側の送り孔の中心ずれの最大許容差は以下とする。

$$E = 0.15 \text{ mm}$$

● 送り孔の位置と横ミシン目位置 (F)

送り孔寸法に対するミシン目の位置

$$F = 6.35 \pm 0.2 \text{ mm}$$

● 左右のセンターラインの傾き

左右のセンターラインを平行に移動して一方の端点と重ねたとき、他方の端点間の距離は 0.15 mm 以内とする。

● 横寸法

横寸法は 152.4 mm (6 インチ) ~ 457.2 mm (18 インチ) とする。

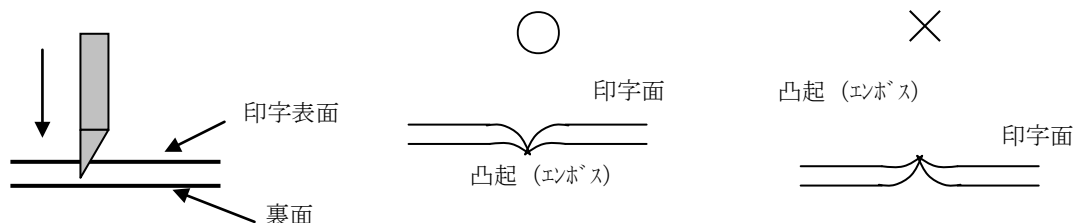
● 縦寸法

縦寸法とは帳票において横ミシン目間の寸法です。

127.0 mm (5 インチ) ~ 609.6 mm (24 インチ) とする。

5) ミシン目：ミシン目の加工は以下に従っていること。

- ・一直線に加工されていること。
- ・ミシン目は印刷面から裏面に向かって入れること。



- ・折りたたみミシン目が正しい角度で空けられていること。
用紙の流れ方向に対するミシン刃は直角度は 0.0075° 以内であること。

- ・ミシン目の種類と位置は、図-2に示す折りたたみミシン目、中間ミシン目、内部ミシン目の3種類とする。

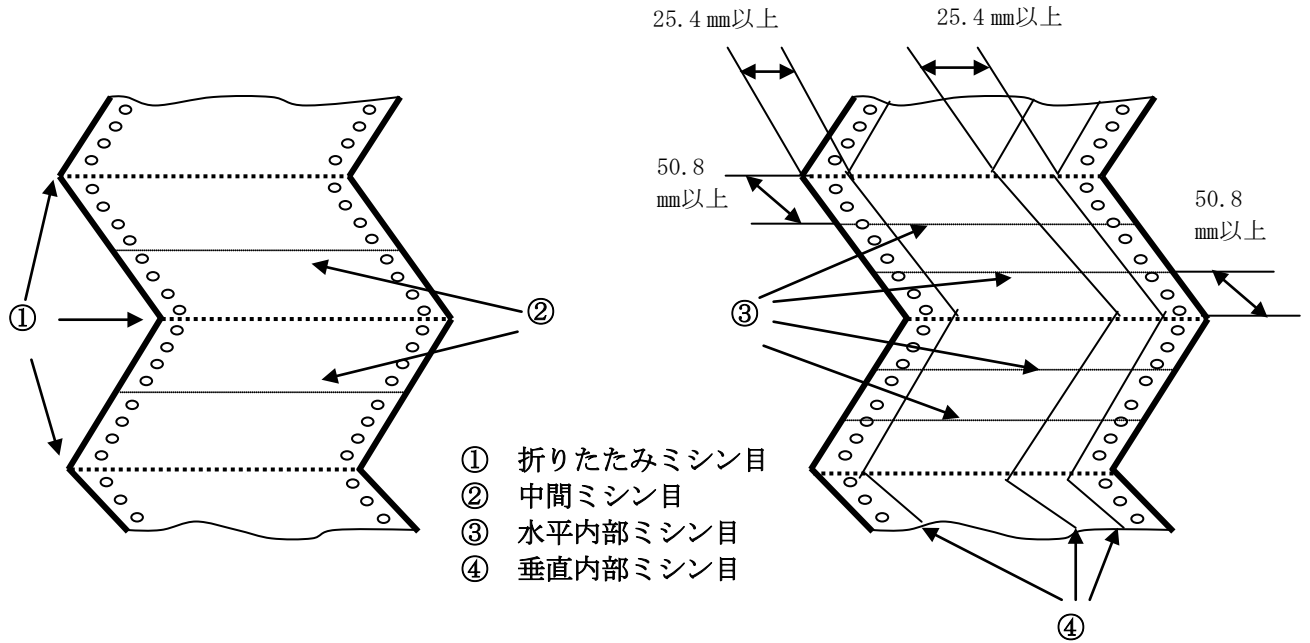
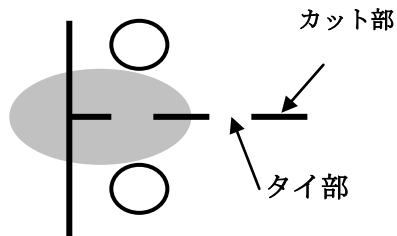
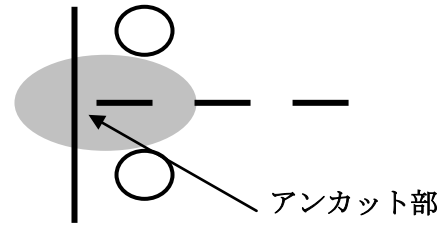


図-2 ミシン目の種類

- ・用紙両端部はミシン止めを外したカット部のこと。
(カッター機構のない一般用の連続用紙ではミシン止めのあるカット部となる)

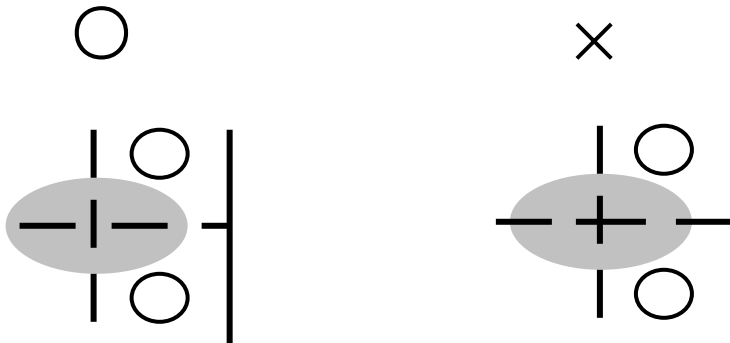


#4124 用紙：端部カット



一般用紙：端部アンカット

- ・垂直内部ミシン目のカット部は、折りたたみミシン目のカット部と重ならないこと。



- ・ ミシン目の寸法は、印字中に切断されない強度を持つことと、折りたたみ性から決められる。
 - ・ 折りたたみミシン目のタイ部とカット部の比率は、約1：3であり、タイ部の長さが0.8～1.0 mmの範囲にあることが必要である。
- カット部、タイ部、アンカット部の基本寸法は、図-3および表-5に示す。

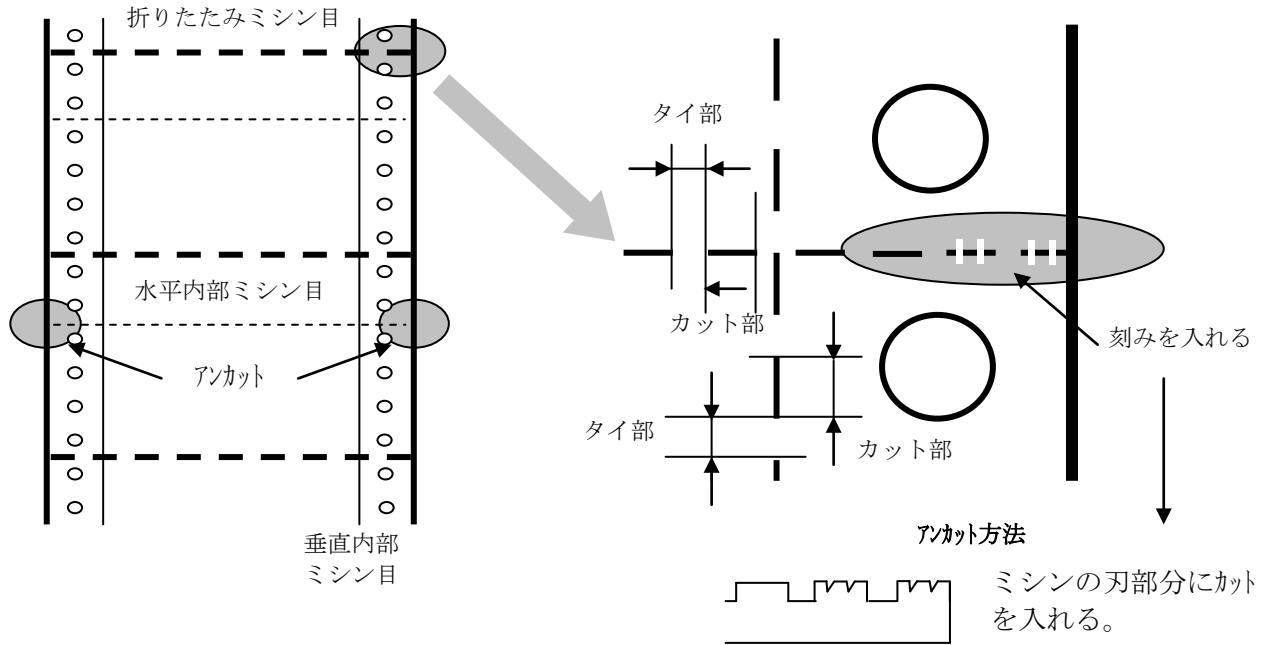


図-3 ミシンの目寸法

表-5 ミシン目の寸

ミシン目/連量	45 kg		55 kg		135 kg		180 kg	
折りたたみミシン目	0.8	2.5	0.8	2.5	0.8	2.5	0.8	2.5
中間、水平内部	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0		1.0	2.0
垂直内部ミシン目	0.8	2.0	0.8	2.0	0.8		0.8	2.0
[折り] アンカット長さ mm	0		0		0		0	
[内部] アンカット長さ mm	10～12.7		10～12.7		10～12.7		10～12.7	
備考	値の読み方							
	0.8		2.5					
			→		カット 2.5 mm (タイ部分の3倍以上)			
	→				タイ 0.8 mm (最小)			

- ・ ミシン目の強度は以下とする

試験機器：拡張力測定器
(50.8 mm×50.8 mm 測定)

表-6 ミシン目強度

	ミシン目の引張り強度
折りたたみミシン目	3.5 kg/以上
内部ミシン目	10.0 kg/以上

- ・ミシン目の切り込み強さ（凸起）は、「傾き」と「反り」に影響があらわれますが、凸起が強い場合には感光ドラムに傷をつけたり、ミシン目がトナーで汚れるため以下のように規定します。

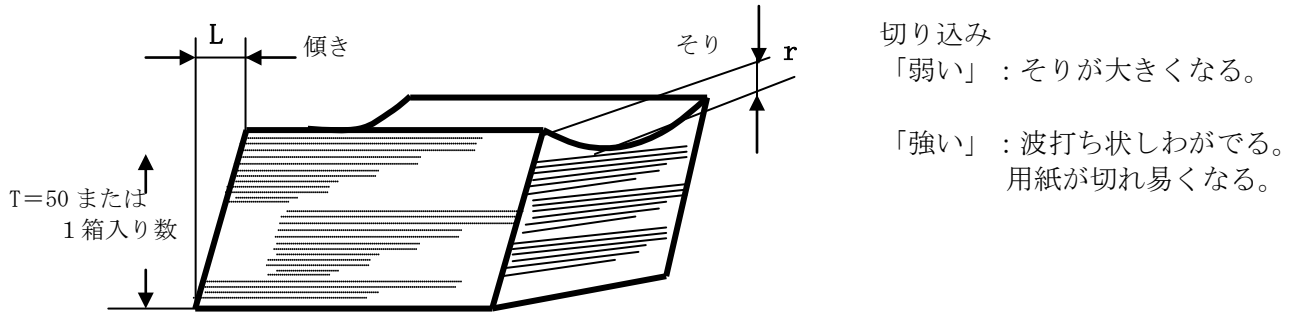


表-7 折りたたみミシン目の切り込み強さ

測定状態	そり r (T=1箱入り数)	傾斜値 L (T=50)	*凸起強さの比率
印字前 (取り出し状態)	7 mm以内	5-1 (表-2) に規定 (13.5 度以内)	90 kg以下の用紙：20%以下 90 kg以上の用紙：30%以下
印字後	15 mm以内	5-1 (表-2) に規定 (13.5 度以内)	規定せず

* 凸起強さの比率 (%) = $\frac{\text{ミシン目を手で一様に押さえた後の1回目のミシン目高さ (mm)}}{\text{箱から取り出した時のミシン目高さ (mm)}} \times 100$

・原紙の物性

No	項目	単位	規 格				測定方法	
1	坪量	g/m ²	54.4+5.0, -2.7	68.2±5.0	156.2+4.0, -3.0	205±15	JIS-P8124	
2	連量		<45>	<55>	<135>	<180>		
3	紙厚	μ/m	68±4	86±4	192±12	0.236±0.015	JIS-P8118	
4	平滑度	表	s/10mI	20 以上	20 以上	20 以上	20~60	J. TAPPI No. 5B
		裏	s/10mI	20 以上	20 以上	20 以上	20~60	
5	透気度	S	—	—	—	—	J. TAPPI No. 5B	
6	こわさ	縦	cm ³ /100	30 以上	49 以上	354 以上	—	JIS-P8143
		横	cm ³ /100	—	—	—	—	
7	引張り強度	縦	k N/m	3.5 以上	4.5 以上	9.1 以上	11.6 以上	JIS-P8113
		横	k N/m	1.5 以上	1.8 以上	4.5 以上	5.7 以上	
8	引裂き強度	縦	mN	250 以上	330 以上	880 以上	1553 以上	JIS-P8116
		横	mN	250 以上	330 以上	870 以上	1505 以上	
9	サイズ度	S	—	—	—	—	JIS-P8122	
10	灰分率	%	5.0±1.0	5.0±1.0	7.0±1.0	—	JIS-P8128	
11	白色度	%	81±2	81±2	81.0+3.0, -2.0	—	JIS-P8123	
12	不透明度	%	—	—	—	—	JIS-P8138	
13	水分率	%	6.0±0.5	6.0±0.5	5.5±0.5	—	JIS-P8127	
14	表面電気抵抗値	×10 ⁹ Ω	4~44	4~44	5~50	—		
15	PH		4.5	4.5	4.5	4.5		
16	繊維配向角		—	—	—	—		
17	繊維配向比		—	—	—	—		
18	カール	度		0~MW5	0~MW5	—	—	日本製紙 岩国法
		mm		—	—	0~MW5	—	日本製紙 旭川法
19	摩擦係数	動		—	—	—	—	
		静		—	—	—	—	

測定環境は温度 23±1℃、相対湿度 50±2%RH。ただし、水分率は除く。

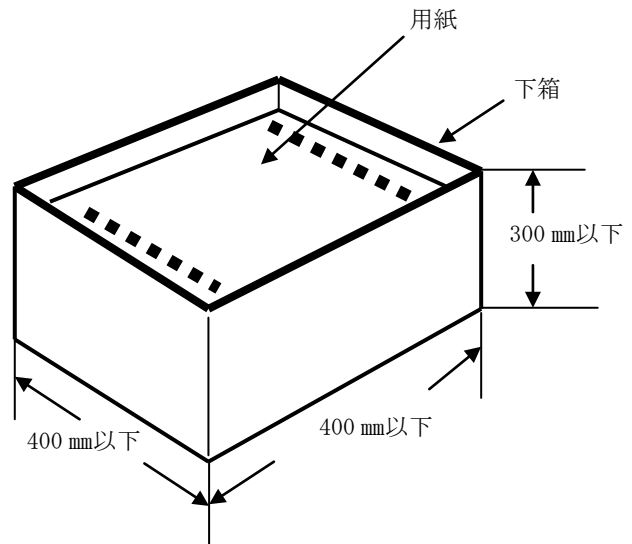
8. 1. 3 用紙の保管

1) 箱の形状

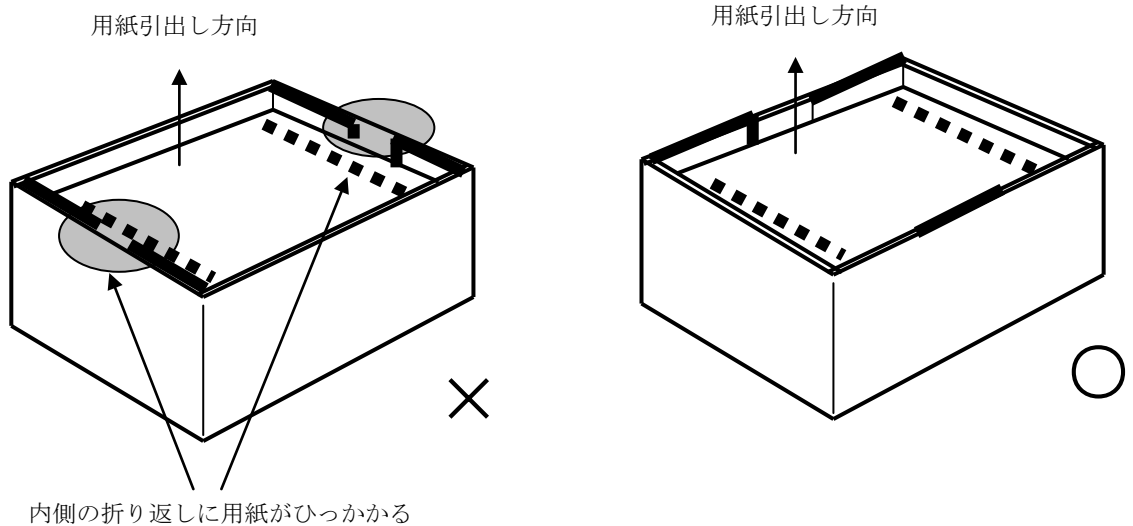
ダンボール紙などの材料で構成される収容箱を使い、箱の内部には送り孔の損傷を避ける意味で余分な空間を設けないこと、ダンボール箱は、ふた部分と身部分とに分け、かつ、ふた部分が完全に身部分を覆う形状のC式ダンボール箱を使用し、箱の上部と下部にダンボール板を入れること。

箱形状：C式、ふた付き

下箱の大きさ



2) 用紙を送り出す方向に用紙走行を妨げない形態であること。



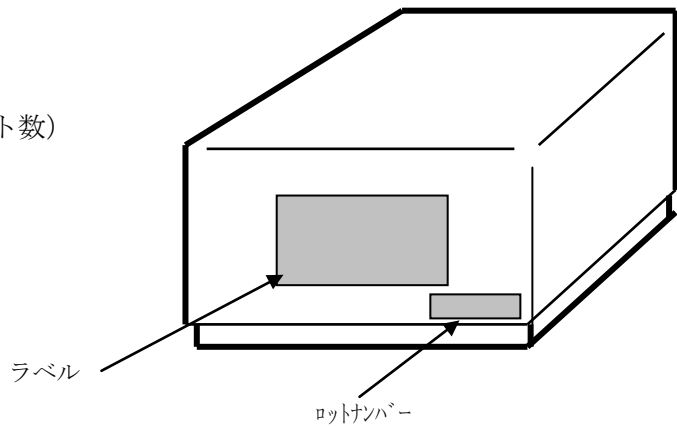
3) 包装

- ・ポリエチレンシート又は同等品で用紙を梱包してダンボール箱に入れること。
- ・用紙包装シートは廃棄物処理性に問題がないこと。また、塩化ビニールなど用紙に可塑剤が付着する恐れのあるシートは使用しないこと。
- ・用紙を箱詰めする際は、手でミシン目のプレスを行い箱に収めるものとする。

8. 1. 4 梱包

- 1) 物品を輸送する際、その保護ならびに取り扱い上の作業性を配慮し、パレットにてラップ巻き形状で出荷すること。
- 2) ラベルは収納箱「上ふた」の短辺側面に強固に糊付けされ、以下の内容が表示されていること。

- ・品名
- ・用紙サイズ（ヨコ×タテ）
- ・一箱の用紙入り数
- ・製造年月日（ロットNO）
- ・納入箱の総数（納入ロット数）
- ・検査担当者の印
- ・製造者名
- ・ロットナンバー捺印



- 3) 6ヶ月間の保管特性は、水分変化率で表し以下とする。

表-9 保管特性

温度条件	水分の変化値
相対湿度 30～70% (保管期間6ヶ月間)	±2%以内

8. 2 消耗品・定期交換品

以下に消耗品，定期交換品およびその周期を示します。

品 名	交換周期の目安 (ページ)	作業者
トナーボトル	約 22K	オペレーター
廃棄トナーボトル	約 200K	
PCカートリッジ (*1)	440K	保守員
転写/分離チャージャワイヤ	200K	
転写チャージャワイヤクリーナ Assy.	200K	
クリーニングブレード Assy. (*1)	220K	
メインチャージャ針電極	400K	
メインチャージャ針電極クリーナ	400K	
現像剤 (*2)	440K	
オゾンフィルタ (メイン)	400K	
オゾンフィルタ (転写)	400K	
定着トナーフィルタ	400K	
スタッカパドル (ゴム、マイラー)	400K	
感光体アース板	800K	
現像ユニット (*2)	880K	
メインチャージャユニット	800K	
転写/分離チャージャユニット	800K	
定着ランプ	800K	
サクシヨンベルト	800K	
除電ブラシ (サクシヨンベルト用)	800K	
押さえローラ (バースタユニット)	800K	
トラクタベルトユニット	1,600K	
トラクタ駆動ベルト	1,600K	
サクシヨン駆動ギア	1,600K	
搬送/排紙ローラ	1,600K	
その他駆動ローラ・ギア等	3,600K	
電磁クラッチ (排紙ローラ、中間ローラ)	3,600K	

【注意】 上記表中の交換周期は、平均的な使い方 (用紙サイズ幅 381 mm×279.4 mm (15×11 インチ) で B/W 比 5 % 印刷) をしたときの目安値であり、用紙サイズ、印刷密度、印刷速度などにより変化します。また、日常の始業点検の有無や規定外用紙などを使用した場合も交換周期は変化する場合があります。

*1 PCカートリッジの440Kページ寿命は、220Kページにてクリーニングブレード Assy. の交換が必要です。(PCカートリッジに同梱)

*2 現像ユニット880Kページ寿命は440Kページで現像剤の交換が必要です。(現像ユニットに同梱)

第 9 章

拡張コマンド

(IBM接続オプション追加時)

KEL CL65KM

9. 1	拡張コマンドの概要.....	9-2
9. 2	文字スケールの設定・解除.....	9-3
9. 3	バーコード印字の初期設定.....	9-4
9. 4	バーコード印字の設定.....	9-6
9. 5	OCR-Bフォントの設定・解除.....	9-9
9. 6	文字テーブル設定.....	9-9
9. 7	カスタマーバーコード (郵便バーコード) 印字の設定.....	9-9
9. 8	QRコード印字の初期設定.....	9-10
9. 9	QRコード印字の設定.....	9-11
9. 10	CVSバーコード印刷.....	9-13

9. 1 拡張コマンドの概要

拡張コマンドは、バーコード印字，OCR-Bフォント文字などの印字を可能にするKELのオリジナルテキストコマンドです。

IBM接続オプションを追加することにより、使用可能になります。

CL65KMは、設定により拡張コマンドを有効にすることで、”!#%”あるいは”!@&”の文字列は印字されるテキストではなく、拡張コマンドとして認識されます。

拡張コマンドの形式は、ANK文字（1バイト文字）を用いて次のようになります。これをコマンドシーケンスと呼びます。

ESC	機能	パラメータ（またはデータ）
-----	----	---------------

ESCは選択した3バイトの文字列で、コマンドの始まりを示します。コマンドとして定義されていない機能を設定した場合、すべてを印字します。また、設定データが無効な場合はすべてを受け捨てます。

拡張コマンド一覧

コマンド	内 容
ESC, "S", P1, P2, P3, P4	文字の拡大・設定・解除
ESC, "C", P1, P2, P3, P4, P5	バーコード印字の初期設定
ESC, "B", P1, [P2, P3], d1...dn	バーコード印字の設定
ESC, "M", P1	OCR-Bの設定・解除
ESC, "K", P1	文字テーブル設定
ESC, "V", P1, P2, P3, P4	カスタマーバーコード印刷
ESC, "Q", P1, P2, P3, P4, P5, P6, P7	QRコードの初期設定
ESC, "U", d1...dn	QRコードの印刷
ESC, "L", P1, P2, P3, d1...dn	CVSバーコード印刷

【注意】・ESCは下記に示すいずれかを指し、操作パネルでの選択により3バイトの文字列が決定します。

- ・!#%
- ・!@&

・取扱説明書では、コマンドの内容を分かりやすく、また区別しやすくするために、各コマンド内でダブルコーテーション（” ”）およびカンマ（,）を使用しています。

- ・ダブルコーテーション（” ”）・・・実際にあてはめる文字を示します。
- ・カンマ（,）・・・各内容を区切っています。

実際のコマンドにはダブルコーテーションおよびカンマは使用しません。以下に例を示します。

[例] !#%S444OKEL!#%S1

- ・漢字（2バイト文字）では機能しません。
- ・バーコード、OCR文字、カスタマーバーコード、QRコード、CVSバーコードの読み取り率は、用紙・リボン・その他の要因および読み取り環境により変動します。事前に十分なテストを行い、問題のないことを確認してください。

見た目には連続している文字列でも、OSやアプリケーションによっては文字と文字の間に制御コマンドを挿入する場合があります、この場合も正常に印字できません。また、OSやアプリケーションのバージョンによっても制御が異なる場合があります、拡張コマンドを意識せず使用している場合は、問題が発生する可能性があります。

9. 2 文字スケールの設定・解除

ESC, " S", P 1, P 2, P 3, P 4

- P 1 : 以降に続くパラメータの長さ (P 1 も含む) を表します。

P 1 = " 1 "	文字スケール設定を解除
P 1 = " 2 "	横方向の倍率設定
P 1 = " 3 "	横, 縦方向の倍率設定
P 1 = " 4 "	横, 縦方向の倍率設定および合わせ位置の設定

上記以外を指定した場合は、" 1 " の指定となります。

- P 2 : 横方向の倍率を指定します。

P 2 = " 1 "	1 倍
P 2 = " 2 "	2 倍
P 2 = " 3 "	3 倍
P 2 = " 4 "	4 倍
P 2 = " 5 "	5 倍
P 2 = " 6 "	6 倍
P 2 = " 7 "	7 倍
P 2 = " 8 "	8 倍
P 2 = " 9 "	9 倍
P 2 = " A "	1 0 倍
P 2 = " B "	1 1 倍
P 2 = " C "	1 2 倍
P 2 = " D "	1 3 倍
P 2 = " E "	1 4 倍
P 2 = " F "	1 5 倍

上記以外を指定した場合は、" 1 " の指定となります。

- P 3 : 縦方向の倍率を指定します。

倍率の指定方法は P 2 に準じます。

- P 4 : 縦方向拡大時の合わせ位置を指定します。

P 4 = " 0 "	上合わせ
P 4 = " 1 "	下合わせ

上記以外を指定した場合は、" 0 " の指定となります。

[例]

上合わせ	下合わせ
ABCDEFGH	ABCDEFHG

- 【注意】
- ・横方向の拡大文字を印字するとき、右マージンを越える文字の前で復帰、改行を行い印字します。
 - ・縦方向の拡大文字を印字するときマージンを越える場合は、越える部分は印刷されません。
 - ・縦方向の拡大文字を含む行に罫線がある場合、罫線は拡大文字に関わらず指定行に印字します。
 - ・拡大文字展開後の位置は、位置合わせ行の位置となります。
 - ・連帳イメージで印刷している場合は、縦方向の比率が違うために行間隔と拡大率が合わなくなります。

[例] ! # % 4 4 4 0 K E L ! # % S 1

文字スケール解除
印刷データ
4 × 4 に設定

KEL

9. 3 バーコード印字の初期設定

ESC, " C" , P 1, P 2, P 3, P 4, P 5

- P 1 : バーコードの太さを指定します。
P 1 = " 1 ~ 4 "

上記以外を指定した場合は、" 1 " の指定となります。

- 【注意】
- ・バーコードは、その種類によってバースペースの幅（太さ）が厳密に定められています。この設定がバーの太さになるわけではありません。

- P 2 : 縦方向の倍率 (バーコードの高さ) を指定します。
(24/180インチを基準とします。)

P 2 = " 1 "	1 倍
P 2 = " 2 "	2 倍
P 2 = " 3 "	3 倍
P 2 = " 4 "	4 倍
P 2 = " 5 "	5 倍
P 2 = " 6 "	6 倍
P 2 = " 7 "	7 倍
P 2 = " 8 "	8 倍
P 2 = " 9 "	9 倍
P 2 = " A "	1 0 倍
P 2 = " B "	1 1 倍
P 2 = " C "	1 2 倍
P 2 = " D "	1 3 倍
P 2 = " E "	1 4 倍
P 2 = " F "	1 5 倍

上記以外を指定した場合は、" 1 " の指定となります。

- P 3 : チェック文字の有無を指定します。
P 3 = " 0 " チェック文字を作成しない
P 3 = " 1 " チェック文字を作成する

上記以外を指定した場合は、" 1 " の指定となります。

- 【注意】
- ・ NW-7 選択時は、この設定に関わらずチェック文字はありません。
 - ・ NW-7 選択時は、チェック文字を作成してください。
 - ・ EAN128 のストップコード前のモジュールス 1 0 3 チェックデジットは自動付加されます。

チェック文字を作成と指定した場合、下記のようになります。

モジュールス 1 0	JAN13桁, JAN8桁 Interleaved 2 out of 5 Industrial 2 out of 5 Matrix 2 out of 5 EAN128
モジュールス 4 3	CODE39
モジュールス 1 0 3	CODE128

- P 4 : 縦方向拡大時の合わせ位置を指定します。
P 4 = " 0 " 上合わせ
P 4 = " 1 " 下合わせ

上記以外を指定した場合は、" 0 " の指定となります。

- P 5 : バーコード下に文字 (添え字) の有無を指定します。
P 5 = " 0 " 印字しない
P 5 = " 1 " 印字する

上記以外を指定した場合は、" 0 " の指定となります。

- 【注意】
- ・ 添え字は、OCR-Bで印字されます。

[例] !#%C 2 5 0 0 1 !#%B 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3
バーコード種類 J A N 1 3
データ “1234567890123”
バーコードの高さ(5×24/180)インチに設定
バーコードの下に添え字を印字する。

[印刷結果]



9. 4 バーコード印字の設定

ESC, " B" , P 1, [P 2, P 3] , d 1 d n

- P 1 : バーコードの種類を指定します。
 P 1 = " 0 " J A N 1 3 桁
 P 1 = " 1 " J A N 8 桁
 P 1 = " 2 " Interleaved 2 out of 5
 P 1 = " 3 " Industrial 2 out of 5
 P 1 = " 4 " Matrix 2 out of 5
 P 1 = " 5 " NW-7
 P 1 = " 6 " CODE39
 P 1 = " 7 " CODE128
 P 1 = " 8 " EAN128

上記以外を指定した場合は、" 0 " の指定となります。

- [P 2, P 3] : d 1 d n のバーコードデータ数 n を 1 6 進数で指定します。

バーコード初期設定 (ESC, " C", P1, P2, P3, P4, P5) コマンドで指定した P 1 (バーの太さ) によってデータ数 n は下記の有効範囲となります。

- P 1 = " 1 " " 1 ≤ n ≤ 5 0 " (1 6 進数 : 0 1 ≤ n ≤ 3 2)
- P 1 = " 2 " " 1 ≤ n ≤ 3 4 " (" 0 1 ≤ n ≤ 2 2)
- P 1 = " 3 " " 1 ≤ n ≤ 2 4 " (" 0 1 ≤ n ≤ 1 8)
- P 1 = " 4 " " 1 ≤ n ≤ 2 0 " (" 0 1 ≤ n ≤ 1 4)

上記以外を指定した場合は、ESC から P 3 までを受け捨てます。

【注意】 ・ J A N 1 3 桁, J A N 8 桁の指定時は、P 2, P 3 は省略してください。
 そのときのデータ数は、バーコード初期設定 (ESC, " C", P1, P2, P3, P4, P5) コマンドで指定した P 3 (チェック文字の有無) によって下記のようになります。

	P 3 = 1 (あり)	P 3 = 0 (なし)
P 1 = " 0 "	1 2	1 3
P 1 = " 1 "	7	8

・チェック文字なしを指定した場合は、チェック文字を付加してください。

- 【注意】**
- ・無効なデータがあった場合、ESCからのデータを受け捨てます。
 - ・P2, P3で指定した数がd1～dnのデータ数と一致しない場合は、P2, P3で指定した数をデータとして扱います。
 - ・バーコードが右マージンを越える場合は、右マージン内の印字を行い復帰、改行をし、それ以降のデータは受け捨てます。バーコードの下に添え字の設定がある場合でも文字の印刷はしません。
 - ・縦2倍以上の印字でマージンを越える場合は、マージンを越える部分は印刷されません。
 - ・バーコードを含む行に罫線がある場合は、罫線はバーコードに関わらず指定行に印刷します。
 - ・バーコードは種類によって使用できる文字（データ）が決まっています。もし、文字の中に無効な文字があった場合は、ESCからdnまでを無効とし受け捨てます。
 - ・バーコード展開後の位置は、位置合わせ行の位置となります。
 - ・作成されるバーコードについては、できるかぎりバーコード規格に合うものが印刷されるよう設計しておりますが、実際のご使用にあたっては事前に十分なテストを行い、問題がないことを確認してください。
 - ・NW-7, CODE 39のスタート/ストップコードを付加して設計してください。
 - ・CODE 128のスタートコードを付加して設計してください。ストップコードは必要ありません。
スタート/ストップコードがない場合は、ESCからdnまでを受け捨てます。
スタート/ストップコードの組み合わせについては、以下の表を参照してください。表の項目にあげてあるスタート/ストップ文字の組み合わせを表の中からそれぞれ1文字使用します。
 - ・EAN 128の場合、スタートコードの後にFNC1（”>”, ”8”）を付加し以降データとなります。
 - ・EAN 128の制御コード、特殊コードは下記の表を参照してください。
 - ・チェック文字なしを指定した場合は、チェック文字を付加してください。
 - ・P2+P3の最大有効値は、下記のようになります。
 - ・バーコードの読み取り率は、用紙・リボン・その他の要因および読み取り環境により変動します。事前に十分なテストを行い、問題のないことを確認してください。

	P3=1 (あり)	P3=0 (なし)
P1="8"	54	55

●NW-7

スタート文字	ストップ文字
A~D, a~d	A~D, a~d

【注意】 通常、スタートコードとストップコードは同じキャラクタが使用されるが、組み合わせは自由です。

●CODE 39

スタート文字	ストップ文字
*	*

● CODE 1 2 8、E A N 1 2 8

項	スタートコード	文字
1	CODE A	> 7
2	CODE B	> 6
3	CODE C	> 5

● CODE 1 2 8、E A N 1 2 8 制御コード

項	VALU	CODE A	指定文字
1	64	N U L	> @
2	65	S O H	> A
3	66	S T X	> B
4			
5	93	G S	>]
6	94	R S	> ^
7	95	U S	> _

● CODE 1 2 8、E A N 1 2 8 特殊コード

項	VALU	CODE A	CODE B	CODE C	指定文字
1	30	>	>		> 0
2	95		D E L		> 1
3	96	FNC3	FNC3		> 2
4	97	FNC2	FNC2		> 3
5	98	SHIFT	SHIFT		> 4
6	99	CODE C	CODE C		> 5
7	100	CODE B	FNC4	CODE B	> 6
8	101	FNC4	CODE A	CODE A	> 7
9	102	FNC1	FNC1	FNC1	> 8

・バーコードの種類によって、装置の仕様上文字の読み替えを行います。以下の表を参照してください。

● NW-7

指定文字	印字文字
ア, A	a
イ, B	b
ウ, C	c
エ, D	d
ホ, T	t
ト, N	n
オ, E	e
¥, /	\$

● CODE 3 9

指定文字	印字文字
¥, /	\$

9. 5 OCR-Bフォントの設定・解除

ESC, "M", P1

- P1：文字フォントを指定します。

P1="0" 通常文字

P1="1" OCR-B

上記以外を指定した場合は、"0"の指定となります。

【注意】・OCR文字の読み取り率は、用紙・リボン・その他の要因および読み取り環境により変動します。事前に十分なテストを行い、問題のないことを確認してください。

9. 6 文字テーブル設定

ESC, "K", P1

- P1：文字テーブルを指定します。

P1="0" 英数・カタカナ

P1="1" 英数・英小文字

上記以外を指定した場合は、"0"の指定となります。

【注意】・本コマンドは、受信した直後から有効となります。

9. 7 カスタマーバーコード（郵便バーコード）印字の設定

ESC, "V", P1, P2, P3, P4

- P1：バーの大きさを指定します。

P1=1 小 (9ポイント相当)

P1=2 中 (10ポイント相当) *default

P1=3 大 (11.5ポイント相当)

- P2：添え文字を指定します。

P2="0" 印字しない *default

P2="1" 印字する

バーの下にバーデータの内容を印字します。

- P3：展開方向を指定します。

P3="1" 0度 *default

P3="4" 270度

上記以外を指定した場合は、"1"の指定となります。

- P 4 : データを指定します。

範囲

数字 (0~9), 英字 (A~Z, a~z), ハイフン (-), @ (余り桁)

構成

新郵便番号 (7桁) + 住所表示番号 (13桁)

- ・必ず20桁のデータを作成し、満たない部分は”@”で埋めてください。
- ・新郵便番号部は数字のみです。
- ・新郵便番号部の直後 (8桁目) には、ハイフン (-) を入れてはいけません。
- ・英字は大文字になります。
- ・英字は1文字2桁でカウントしてください。
- ・20桁目の英字は1桁だけバーコード化されます (添え文字は印字されません)。
- ・チェックデジットは自動的に付加されます。

例: 〒104-8338

東京都中央区京橋2丁目17番5号 兼松ビル別館

バーデータ

!#%V 201 1048338 2-17-5 @@@@ @@@@
 ① ② ③ ④

- ① 大きさ - 中, 添え文字印字しない, 1
- ② 新郵便番号 (7桁)
- ③ 住所表示番号 (数字ハイフン6桁)
- ④ 残り桁 (20 - 13 = 7桁)

印刷結果



【注意】 ・カスタマーバーコードの読み取り率は、用紙・リボン・その他の要因および読み取り環境により変動します。事前に十分なテストを行い、問題のないことを確認してください。

9. 8 QRコード印字の初期設定

ESC, "Q", P1, P2, P3, P4, P5, P6, P7

- P1, P2, P3 : セルの大きさを指定します。

QRコードのセルの大きさを3桁の10進数 (1/1440inch 単位) で設定します。有効値は "024~288" です。

範囲外を指定した場合は、"024" の指定となります。

- P4 : 誤り訂正レベルを指定します。

- 1 L (7%復元)
- 2 M (15%復元)
- 3 Q (25%復元)
- 4 H (30%復元)

上記以外を指定した場合は、"1" の指定となります。

● P 5 : 回転方向を指定します。

- 1 0 度回転
- 2 9 0 度回転
- 3 1 8 0 度回転
- 4 2 7 0 度回転

上記以外を指定した場合は、” 1 ” の指定となります。

● P 6 : 制御コードをデータとして扱う/扱わないを指定します。

データとして扱われる制御コードの詳細はESC “U” の解説を参照してください。

- 0 扱う
- 1 扱わない(制御コードはバイナリー入力(¥¥B)で指定する)

上記以外を指定した場合は、” 0 ” の指定となります。

● P 7 : 縦方向の合わせ位置を指定します。

- 0 上合わせ
- 1 下合わせ

上記以外を指定した場合は、” 0 ” の指定となります。

9. 9 QRコード印字の設定

ESC, ” U ” , d 1 . . . d n

● d 1 . . . d n : QRコードのデータ

範囲

- 1 バイトコード

EBDCIC特有の6文字(£→¢|~\)は除きます。

- 2 バイトコード (漢字)

- 制御コード (ESC “Q” で “制御コードをデータとして扱う” を指定した場合)
4つのコマンドが下表のように変換されデータとして扱われます。

制御コード名	制御コード (16進数)	変換後のコード (16進数)
改ページ	0C	0C
復帰	0D	0D
ニューライン	15	0D0A
改行	25	0A

- 相対方向横移動コマンド (RHPP:34C8xx)

指定文字数分の1バイトスペースコードとして扱われます。

- 特殊指定

¥¥E : データの終了を指定します。

¥¥B : バイナリデータを16進数で1バイト分指定します。

¥¥Bxx (xx=00~FF)範囲外時は無視されます。

許容量

QRコードはデータが数字のみの場合、扱えるデータ数が最大になります。

データが数字のみの場合、それぞれの誤り訂正レベルで扱えるデータ数の最大値は以下の通りです。

L = 7089 バイト

M = 5596 バイト

Q = 3993 バイト

H = 3057 バイト

データの終了指定(¥¥E)がない場合は、このデータ数分をQRコードのデータとして扱います。

数字、英文字、記号、カナ、漢字等のデータが混在すると、QRコードが扱えるデータの最大値は減少していきます。

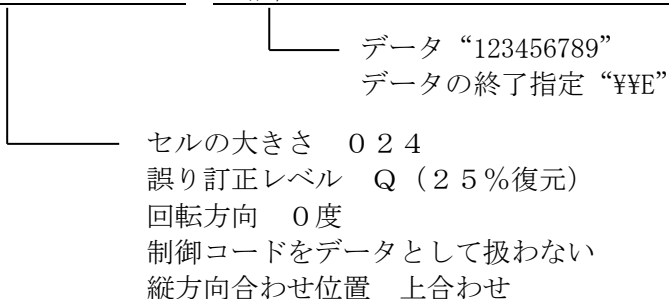
- 【注意】
- ・左右部、上部に各々4セル分のマージンを設けます。
 - ・最大印刷範囲を越える場合は印刷範囲まで印刷します。
 - ・データの構成がQRコードの許容量を超えている場合には、QRコードは印刷されません。
 - ・作成されるQRコードについては、できる限りQRコード規格に合うものが印刷されるように設計しておりますが、実際のご使用に当たっては、事前に十分なテストを行い、問題がないことを確認してください。
 - ・AS/400から印刷する場合、APW(※1)やRPG(※2)の内部定義を使用すると印刷範囲などで制限されて思惑通りのQRコードが生成されないことがあります。(仕様により標準で132桁を超えた場合に改行コードが入ります。)
 - 1行あたり標準で132桁を超えるデータを構成する場合は、DDS(※3)を使用して定義してください。
 - ・QRコードの読み取り率は、用紙・リボン・その他の要因および読み取り環境により変動します。事前に十分なテストを行い、問題のないことを確認してください。

※1 : Advanced Print Writer (多機能漢字印刷ユーティリティ)

※2 : Report Program Generator (報告書作成向きの汎用プログラム言語)

※3 : Data Description Specification (データ記述仕様)

[例] !#%Q0243110 !#%U0123456789¥¥E



[印刷結果]



9. 10 CVSバーコード印刷

ESC, "L", P1, P2, P3, d1...dn

- P1 : 縦方向の倍率 (バーコードの高さ) を指定します。

(0.1インチ単位を基準とします。)

P1 = "0"	デフォルト値(10.16 mm)
P1 = "1"	0.1インチ(2.54 mm)
P1 = "2"	0.2インチ(5.08 mm)
P1 = "3"	0.3インチ(7.12 mm)
P1 = "4"	0.4インチ(10.16 mm)
P1 = "5"	0.5インチ(12.70 mm)
P1 = "6"	0.6インチ(15.24 mm)
P1 = "7"	0.7インチ(17.78 mm)
P1 = "8"	0.8インチ(20.32 mm)
P1 = "9"	0.9インチ(22.86 mm)
P1 = "A"	1.0インチ(25.40 mm)
P1 = "B"	1.1インチ(27.94 mm)
P1 = "C"	1.2インチ(30.48 mm)
P1 = "D"	1.3インチ(33.02 mm)
P1 = "E"	1.4インチ(35.56 mm)
P1 = "F"	1.5インチ(38.10 mm)

上記以外を指定した場合は、"0"の指定となります。

- P2 : バーコード下に文字 (添え字) の有無を指定します。

P2 = "0"	印字しない
P2 = "1"	印字する

上記以外を指定した場合は、"0"の指定となります。

【注意】添え字は、8ポイント相当のOCR-Bフォントが2行で印字されます。

- P3 : 44桁目のチェック文字 (モジュールス10) の有無を指定します。

P3 = "0"	プリンター側でチェック文字を作成しない
P3 = "1"	プリンター側でチェック文字を作成する

上記以外を指定した場合は、"1"の指定となります。

- d1...dn : CVSバーコードのデータ

P3 = "0" の場合	44個
P3 = "1" の場合	43個

【注意】・スタートキャラクタC、FUNC、CODE128チェックキャラクタ (モジュールス103形式)、およびストップキャラクタのデータは自動付加されます。

- ・CVSバーコードの読み取り率は、用紙・リボン・その他の要因および読み取り環境により変動します。事前に十分なテストを行い、問題のないことを確認してください。

[例] !#%L011
印刷データ
(この例では P3=1 なので 43 個)

バーコードの高さ 10.16mm
バーコードの下に添え字を印字する
プリンター側でチェック文字を作成する

[印刷結果]

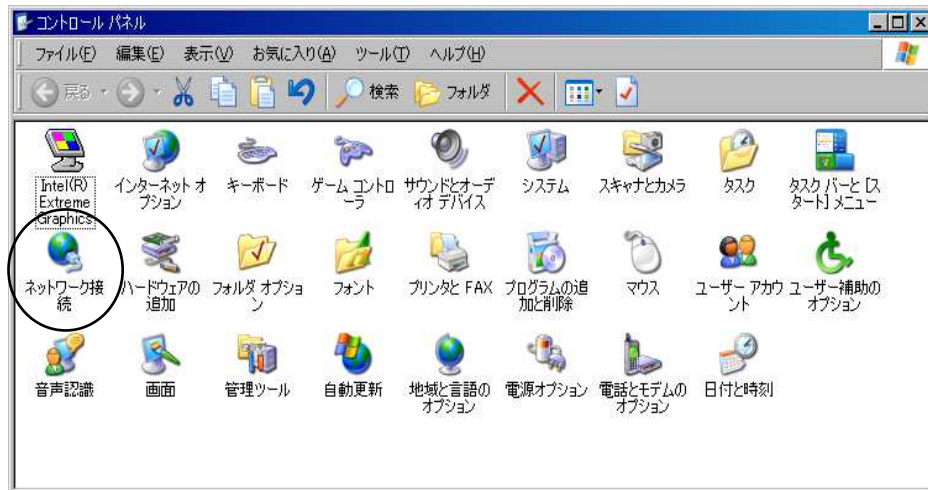


付録 A L P R ポー ト 追 加

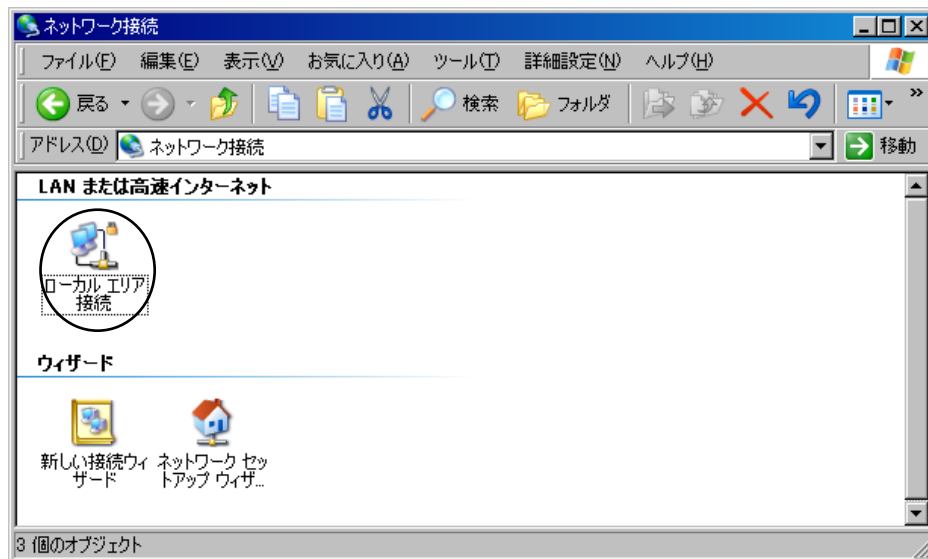
A-1 Windows XP、Server 2003

(1) サービスおよびプロトコルのチェック

- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「ネットワーク接続」アイコンをダブルクリックします。



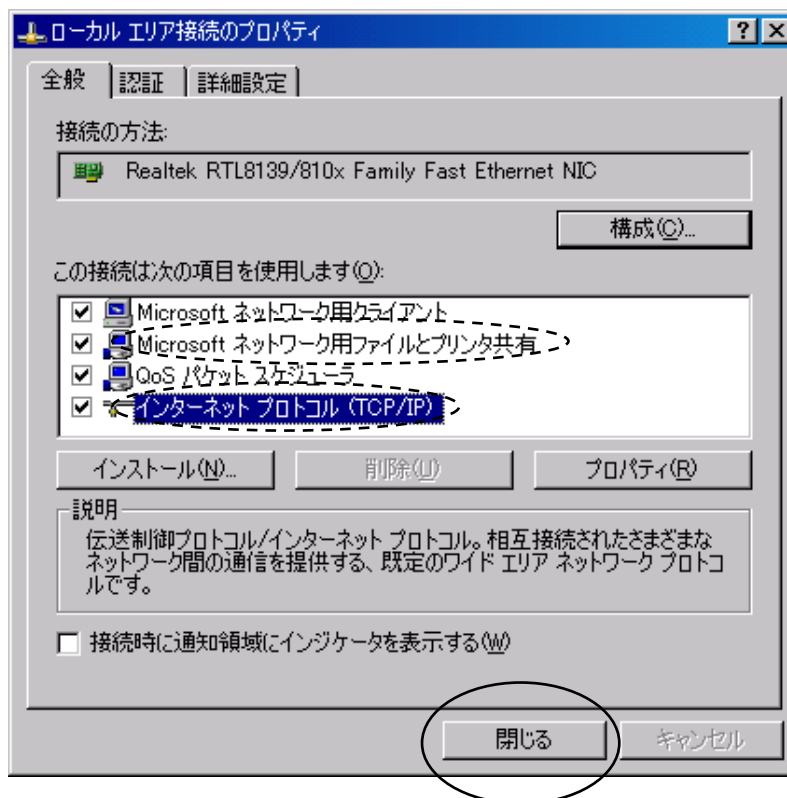
- 2) 「ローカルエリア接続」アイコンをダブルクリックします。



- 3) 「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。「プロパティ」ボタンをクリックします。



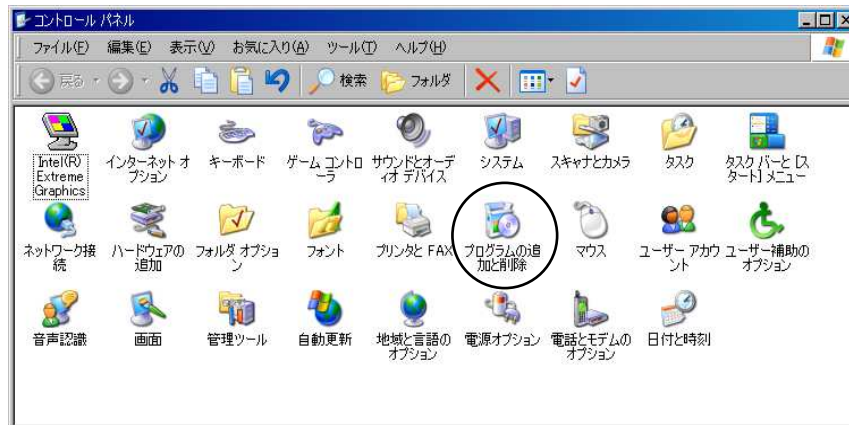
- 4) 「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のチェックボックスがオンであることを確認して、「閉じる」ボタンをクリックします。



- 5) 以上でサービスおよびプロトコルの確認は終了です。

(2) LPRポートモニタ(UNIX用印刷サービス)の導入

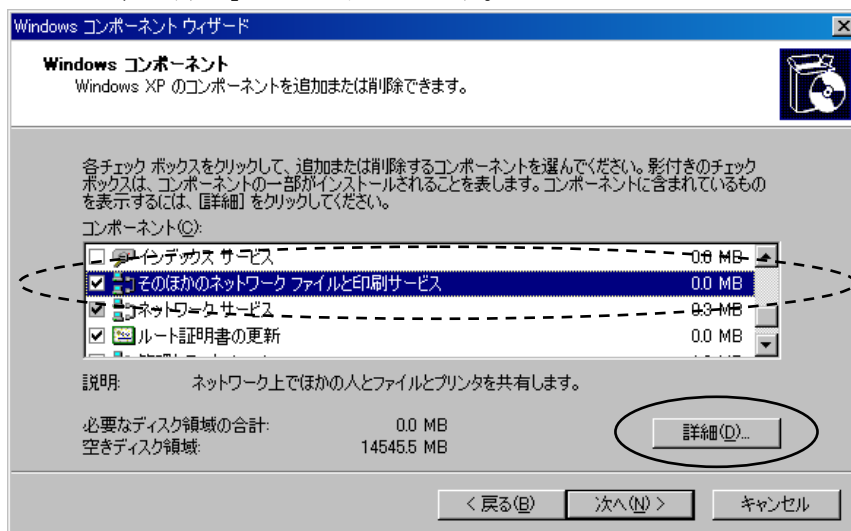
- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。



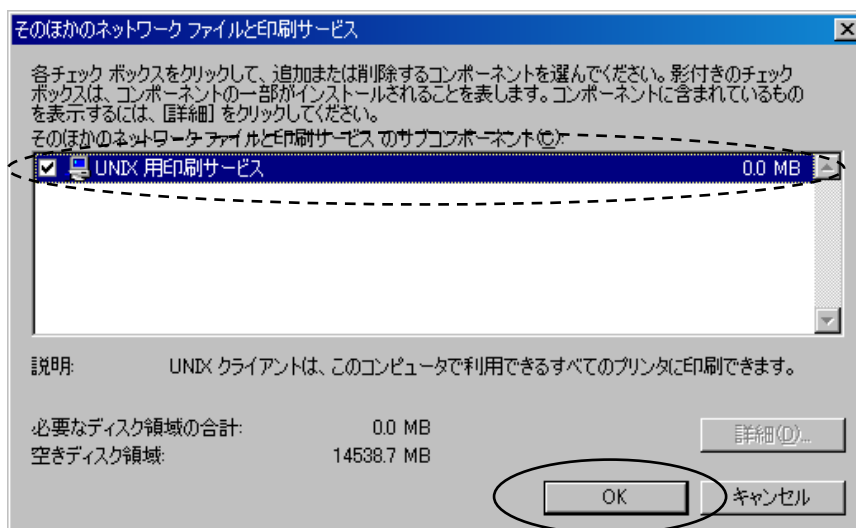
- 2) 「Windowsコンポーネントの追加と削除」をクリックします。



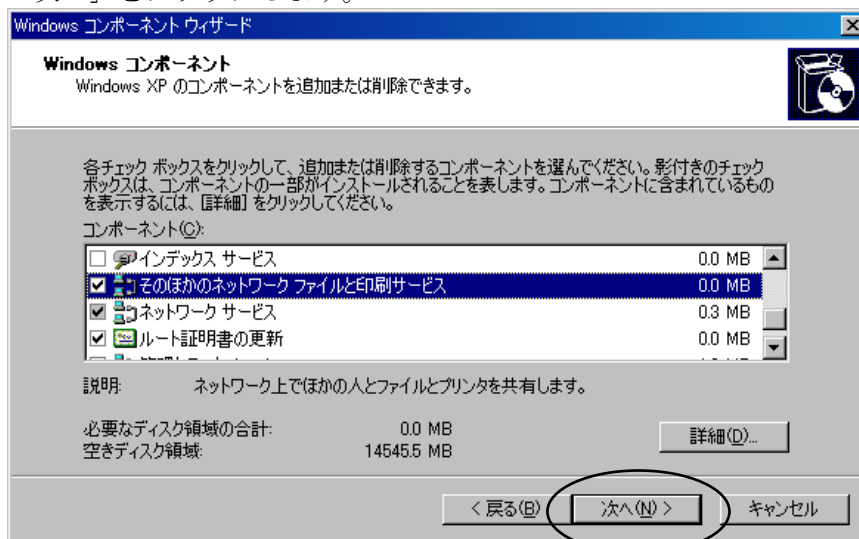
- 3) 「Windowsコンポーネントウィザード」が起動します。
リストの中から「その他ネットワークファイルと印刷サービス」チェックボックスをオンにして、「詳細」をクリックします。



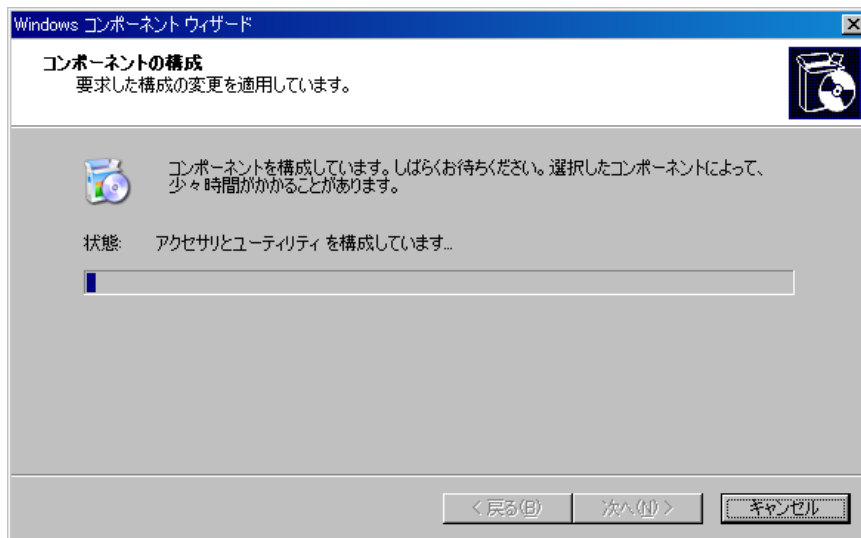
- 4) 「UNIX用印刷サービス」チェックボックスをオンにして、「OK」をクリックします。



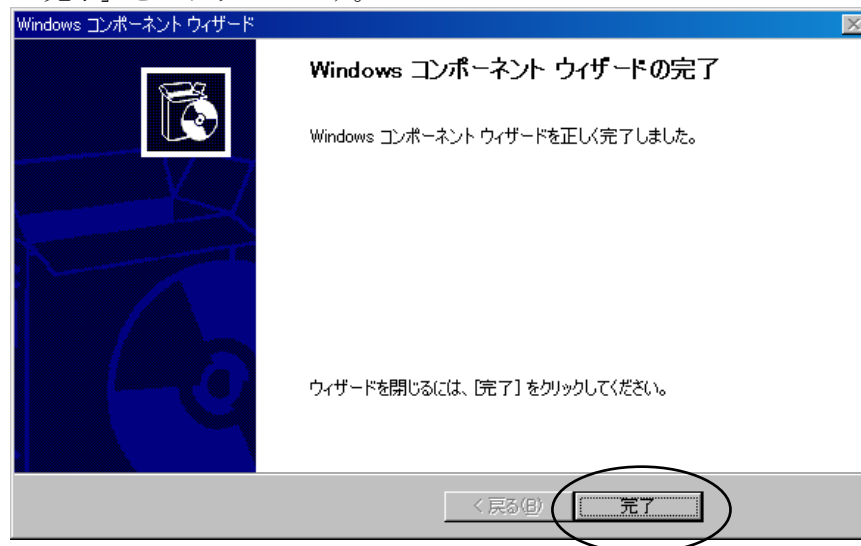
- 5) 「Windowsコンポーネントウィザード」の画面に戻ります。
「次へ」をクリックします。



6) コンポーネントの構成が行われます。



7) 構成が終了すると「Windowsコンポーネントウィザードの完了」が表示されます。「完了」をクリックします。



8) 以上でL P Rポートモニタの導入は終了です。

A-2 Windows 7、VISTA

(1) サービスおよびプロトコルのチェック

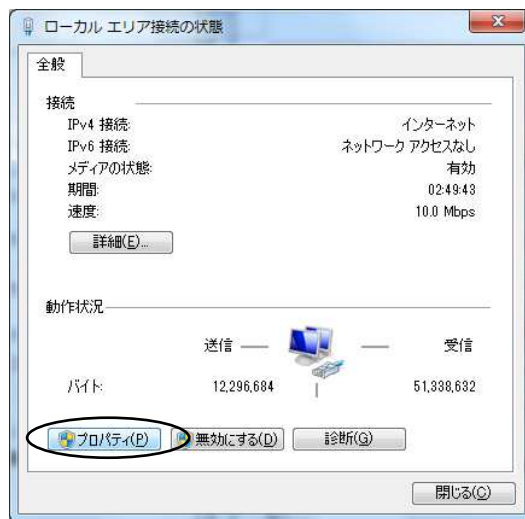
- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「ネットワークと共有センター」をクリックします。



- 2) 「ローカルエリア接続」をクリックします。



- 3) 「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。「プロパティ」ボタンをクリックします。



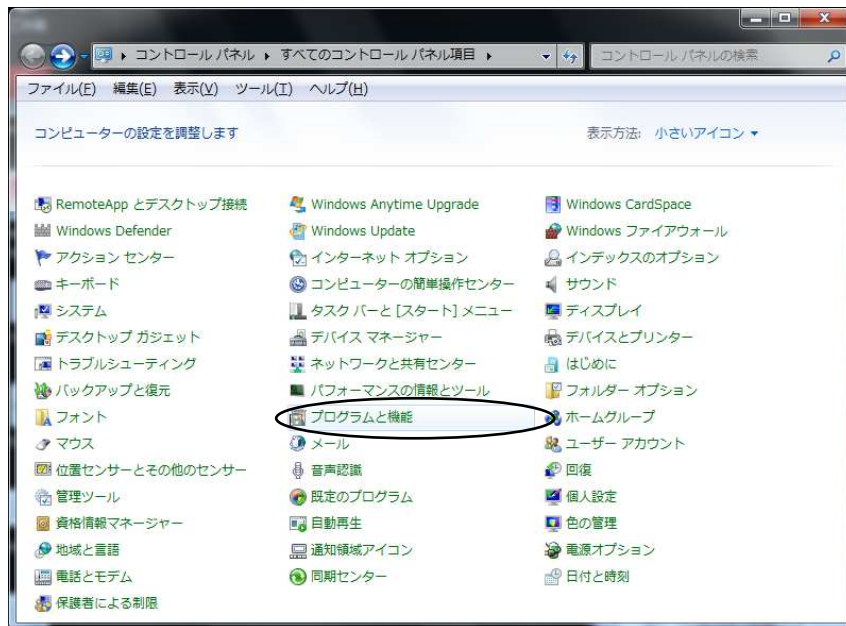
- 4) 「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」チェックボックスがオンであることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。



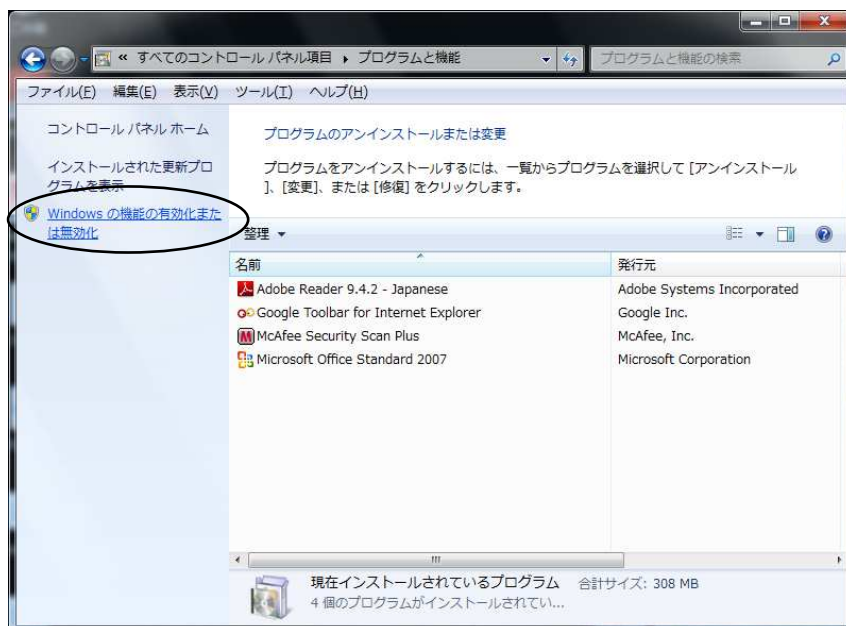
- 5) 以上でサービスおよびプロトコルの確認は終了です。

(2) LPRポートモニタの導入

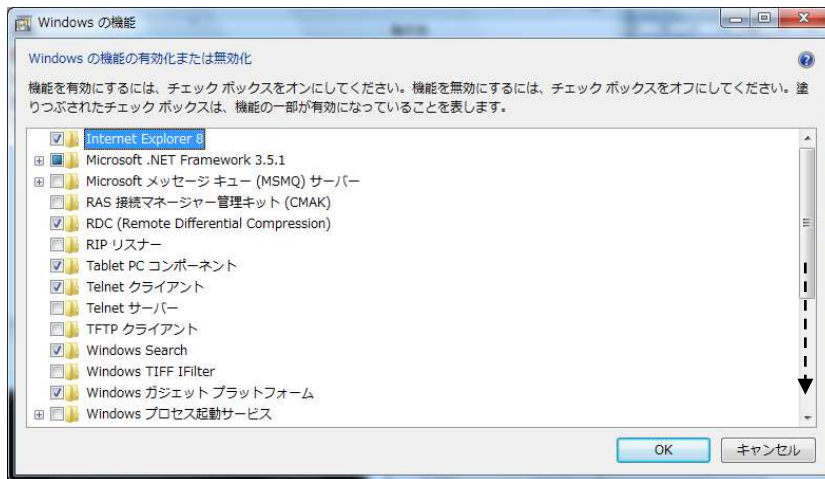
- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「プログラムと機能」をクリックします。



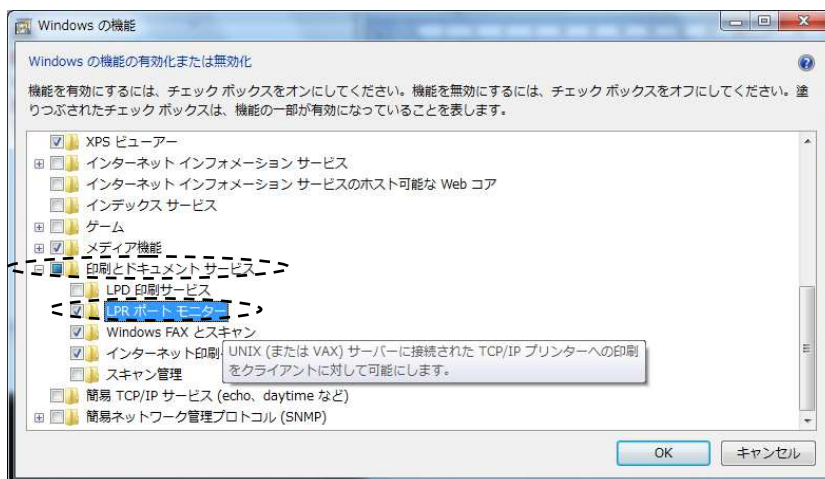
- 2) 「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。



- 3) 「Windowsの機能」ダイアログボックスが表示されます。
スクロールバーで画面を下げます。



- 4) 「印刷とドキュメントサービス」項目を展開し、「LPRポートモニター」チェックボックスをオンにして、「OK」ボタンをクリックします。
(Windows VISTA では、項目名は「印刷サービス」になります)



- 5) 以上でLPRポートモニタの導入は終了です。

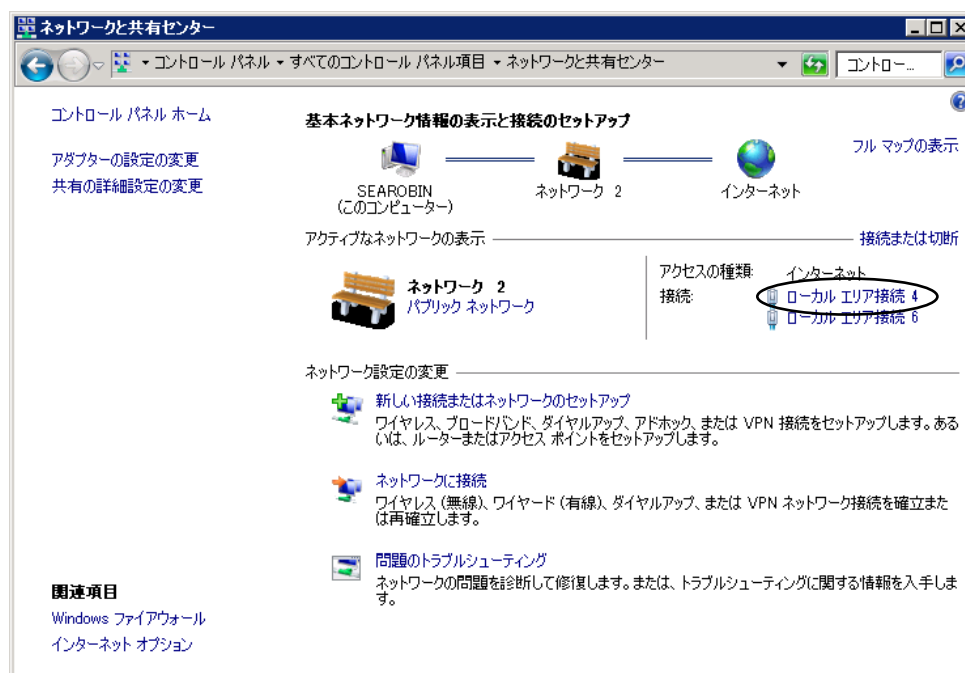
A-3 Windows Server 2008 R2

(1) サービスおよびプロトコルのチェック

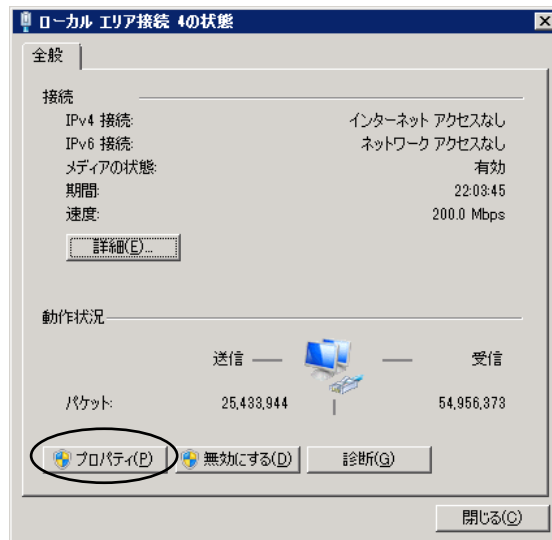
- 1) スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
「ネットワークと共有センター」をクリックします。



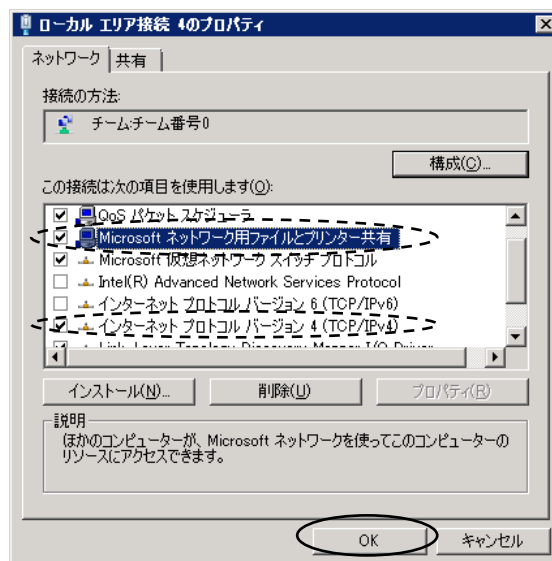
- 2) 「ローカルエリア接続」をクリックします。
複数のローカルエリア接続がある場合は、プリンターを接続するネットワークを選択します。



- 3) 「ローカルエリア接続の状態」ダイアログボックスが表示されます。「プロパティ」ボタンをクリックします。



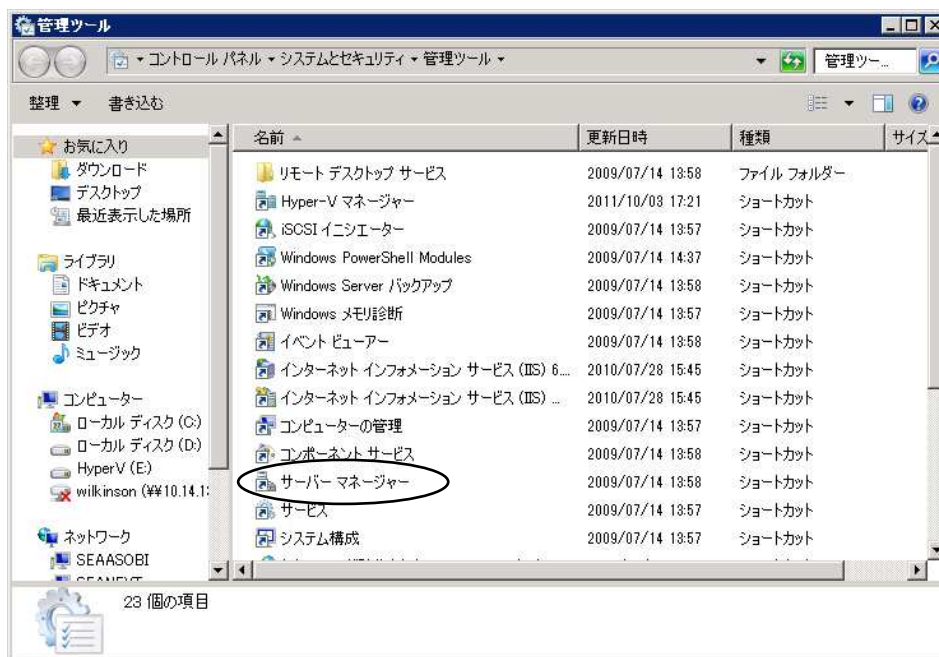
- 4) 「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「インターネット プロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」チェックボックスがオンであることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。



- 5) 以上でサービスおよびプロトコルの確認は終了です。

(2) LPRポートモニタの導入

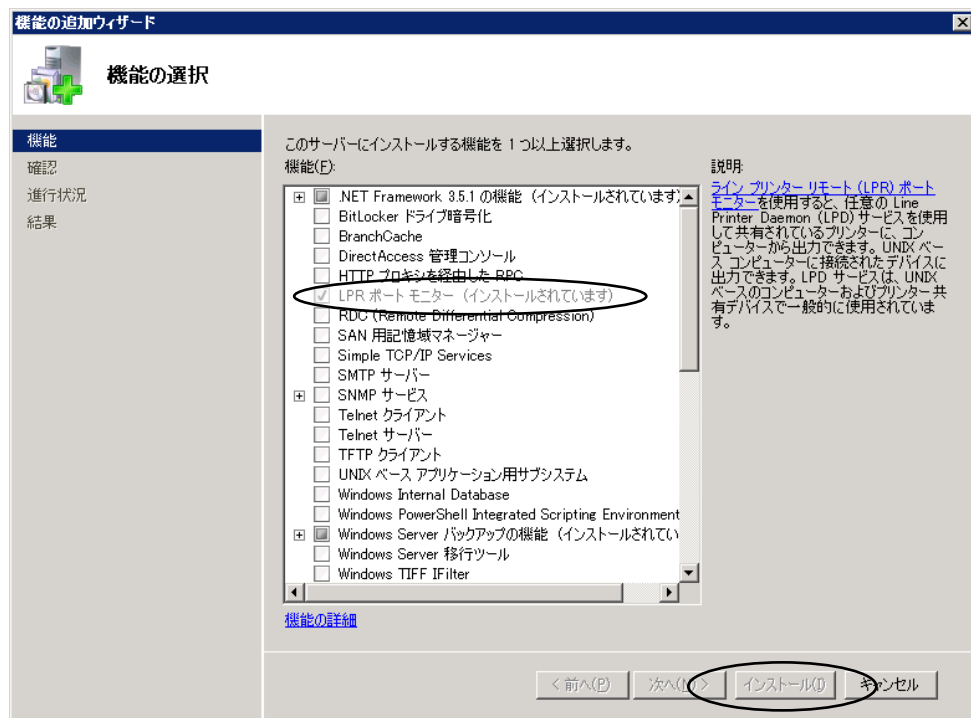
- 1) スタートメニューから「管理ツール」を開きます。
「サーバermaneージャー」をダブルクリックします。



- 2) 「操作」メニューから「機能の追加」を選択します。



- 4) 「LPRポートモニター」チェックボックスをオンにして、「インストール」ボタンをクリックします。




- 5) 以上でLPRポートモニタの導入は終了です。

A-4 Windows 8.1

Windows 7, VISTAとの違いは、最初の「コントロールパネル」の起動方法だけです。以下の手順で「コントロールパネル」を起動した後の手順は、「A-2 Windows 7, VISTA」を参照してください。

(1) Windows 8.1 コントロールパネル起動方法

- 1) スタート画面でを押し、アプリ画面に切り替えます。



- 2) 「コントロールパネル」を探してクリックします。



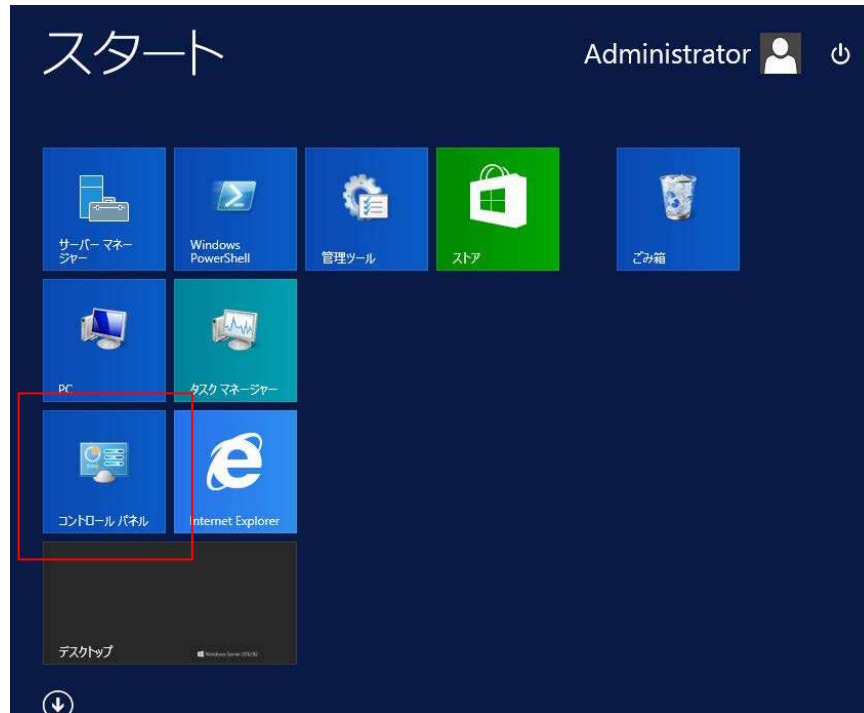
A-5 Windows Server 2012 R2

(1) サービスおよびプロトコルのチェック

Windows Server 2008 R2との違いは、最初の「コントロールパネル」の起動方法だけです。

以下の手順で「コントロールパネル」を起動した後の手順は、「A-3 Windows Server 2008 R2」を参照してください。

- 1) スタート画面で「コントロールパネル」をクリックします。



(2) LPRポートモニターの導入

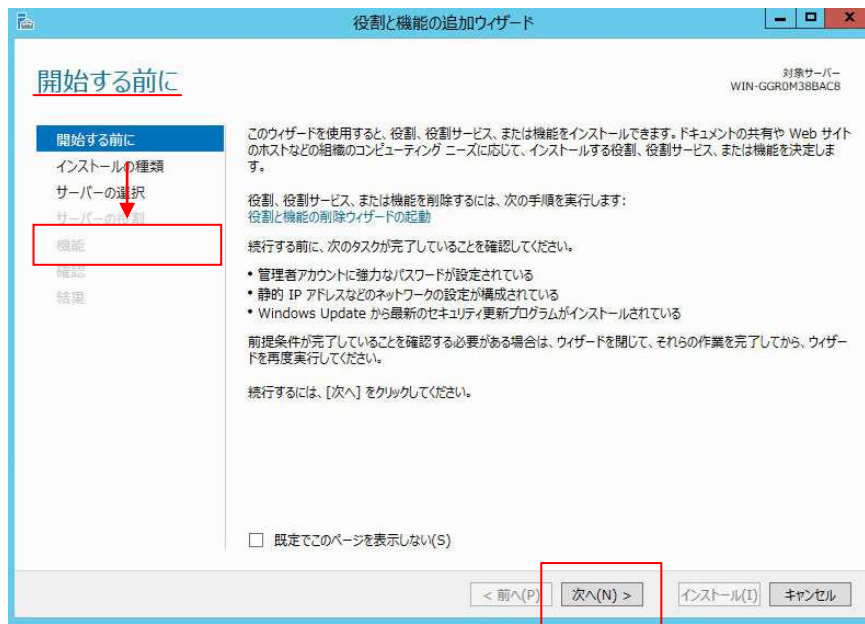
- 1) スタート画面で「サーバー マネージャー」をクリックします。



- 2) 「サーバー マネージャー」が立ち上がります。
「ダッシュボード」メニューの「役割と機能の追加」をクリックします。



- 3) 「役割と機能の追加ウィザード」が立ち上がり、「開始する前に」画面が表示されます。
 「次へ」ボタンをクリックして、左側のメニューを「機能」まで進めます。

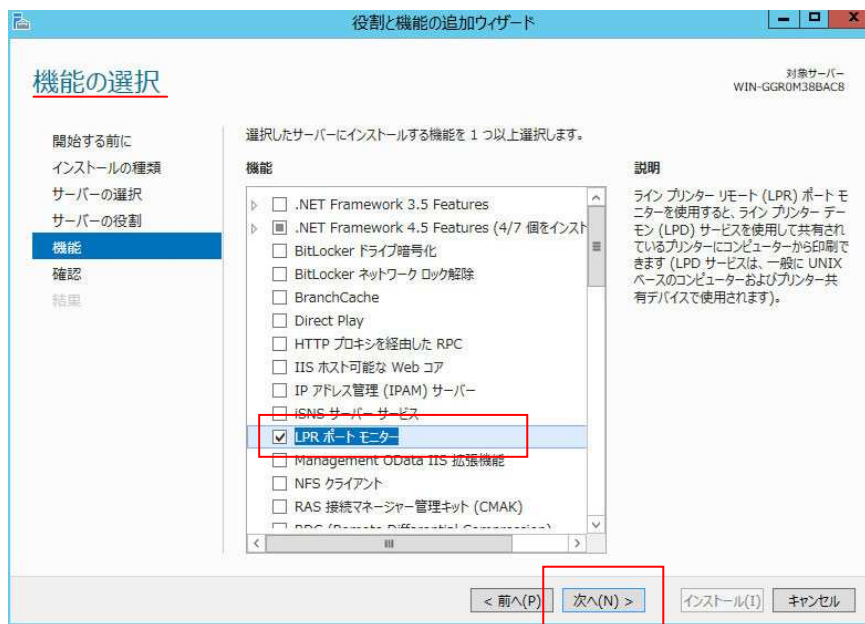


【注意】

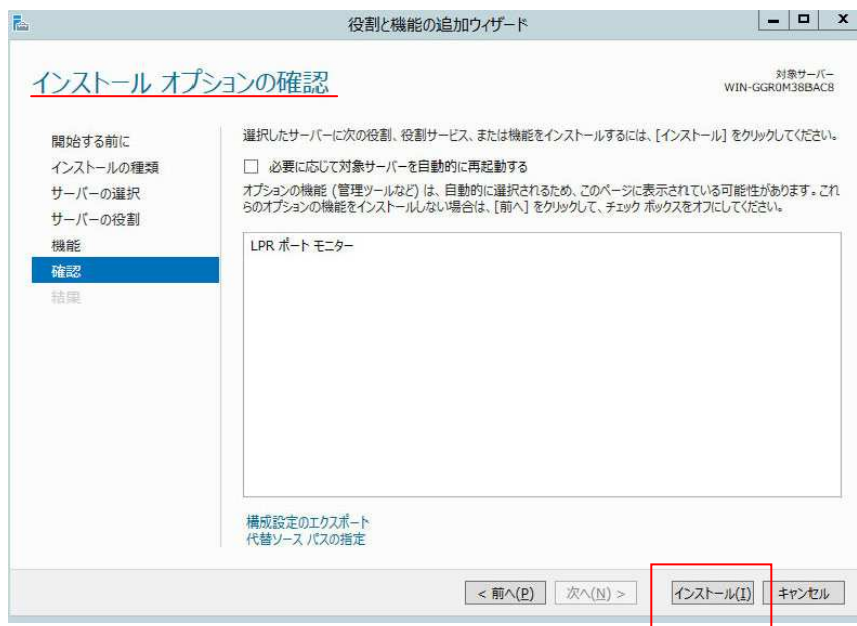
「役割と機能の追加ウィザード」の処理が終了するまで「サーバー マネージャー」を終了させないでください。

「役割と機能の追加ウィザード」は「サーバー マネージャー」と一緒に終了してしまいます。

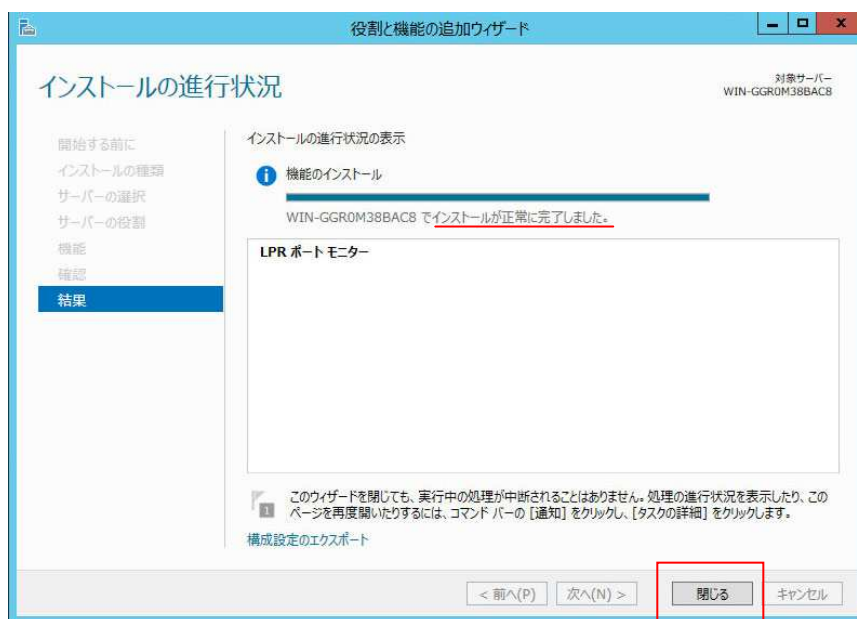
- 4) 「機能の選択」画面が表示されます。
 「LPRポートモニター」のチェックボックスをチェックして、「次へ」ボタンをクリックします。



- 5) 「インストールオプションの確認」画面が表示されます。
 内容を確認し、**インストール**ボタンをクリックして、インストールを開始します。



- 5) 「インストールの進行状況」画面が表示されます。
 インストールが完了したら、**閉じる**ボタンをクリックして「役割と機能追加のウィザード」を終了します。その後で「サーバー マネージャー」の右上**×**ボタンをクリックして「サーバー マネージャー」を終了します。



- 6) 以上でLPRポートモニターの導入は終了です。

CL65KM印刷装置 取扱説明書
2023年06月吉日 第7版

兼松エレクトロニクス株式会社
(C) KANEMATSU ELECTRONICS LTD.

- * 本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- * 本書の内容を無断で転載することを禁じます。

KEL

兼松エレクトロニクス株式会社